ひやり・ハットや事故等の危険とその回避のための準備・対応

担当業務	回答内容					
	1)危険	対応	2)危険	対応	3)危険	対応
A	中間保管において、積込み機器とトラックとの接触。	モニターを注視し、無線機使用で連絡を密にする。	特前の切断機付近で、弾かれたものが飛来する。	防護ネットを取付け、物理的に飛来を防止する。	運搬時において、施設出入口付近での他車両等との接触。	徐行を前提とするか、出入口付近での安全確認を徹底する。
	ホイルローダーのタイヤによる石跳ね。	路面を清掃して、石、ゴミを片付ける。	ワイヤーが切れ、鋼材が落下する。	作業前にワイヤーの状態を見ておく。	破損パレットにフォークが当たり、倒壊しそうになる。	パレットの使用開始前点検を実施する。
	重機同士の接触。	周囲の確認。	吊り荷作業で吊り荷が落ちる。	吊り荷の下に入らない。	高所作業時、墜落する。	足場を広く取る。
	重機の接触。	相手重機位置を確認。	人身事故。	ミーティング。	重機の転倒。	合図、見張をつける。
	重機に接触しそうになる。	重機の死角や周辺に近づかない。	構内を移動するときに構造物に接触して怪我をする。	構内は走らない、周りを確認しながら移動する。	ドラム缶を処理するときに、内容物が顔や体に付着する。	保護具を着用する、作業服の身だしなみに気を付ける。
	重量の重い吊り具を使う業務で、吊り具を足に落とす。	吊り具を使用する際、一人では作業しない。吊り具の代わりにパレットにて運搬する。	機器の保守点検の際の、挟まれ、巻き込まれ。	機器が停止したことを目視で確認後、キーを抜き作業する。	フォークリフト運転中、人や物に衝突する。	周囲の確認を徹底し、また構内は徐行運転で作業を行う。
	機器に巻き込まれる。	回転物に手を出さない。	重機等による人との接触。	重機の旋回範囲には入らない。	異臭、粉じんが目や口に入る、吸い込む。	保護具の着用徹底。
	特殊前処理において重機作業中に人との接触。	重機旋回範囲を作業員に周知、作業前に必ず KYK を実施する。	フォークリフト積込み作業時、荷物が倒れる。	フォークリフト爪に荷物が必ず入っているかを目視および指差し、呼称励行。	中間保管梱包クレーン操作時、誤動作による危険。	クレーン操作前、安全ロックが必ず入っていることを、運転員と補助運転員でダブルチェックを行う。
	非定常作業。	KYK シートを作成し活用している。	重機に近づいての作業。	作業前のミーティング、合図、または無線連絡を徹底。	各機器の点検および清掃作業時。	カギ等は必ず抜いておくこと。立ち入り禁止等を設置。
	重機に接触しそうになる。	重機の死角や周辺に近づかない。	構内を移動するときに構造物に接触して怪我をする。	構内は走らない、周りを確認しながら移動する。	ドラム缶を処理するときに、内容物が顔や体に付着する。	保護具を着用する、作業服の身だしなみに気を付ける。
	慌てて溝にひっかけ転ぶ。	日頃から重心を低くして歩く。	散水後、路面が滑りやすい。	なるべく濡れた路面を避け、通るときはゆっくり歩く。	目と口に粉じんが入りやすい。	防じんマスクを欠かさず着用する。隙間がないようにしっかり密着させる。
	非定常作業。	KY 活動、マニュアルの再確認。	異常停止（停電復帰など）	指差し呼称などをし、確認をして作業をする。	場内の車両運転。	構内は時速 30km 以内を守る。一時停止を守る。
	特別な危険個所ではなく、場内すべてが危険個所である。	頭上、足元への気配り、常に整理整頓を心掛ける。	人は必ず間違いを犯すものである。	操作作業時のマニュアル遵守、指差し確認を必ず行う。		
B	ダンプアップ時におけるロック解除忘れによる車両ヘッドの浮き上がり。	全乗務員に対し作業手順マニュアルの教育を徹底する。	ダンプトラックによる接触事故。	構内速度厳守の徹底および安全呼称の確実な実施。	海上輸送中、気象・海象により輸送船「太陽」が桟橋岸壁に衝突。	無理な海上運行を絶対しない。させない。
	他車両との事故。	スピードを落として、前方を指差し確認で確実に防ぐ。	廃棄物を積込み中、ガスを吸う。	マスクをして防ぐ。		
	車両昇降時、転落する。	3点支持で昇降する。	フェリー綱取り時、海へ落下する。	マリンポーチの着用。	車両接触事故。	指差し呼称で、確実に確認する。
	車輌運転中の接触事故。	スピードを出しすぎない。	天蓋の開け忘れ。	指差し呼称での確認。	綱取り中の転倒。	足元に注意する、ゆっくり作業を行う。
	接触事故。	100%安全運転、呼称。				
	故障。	運転前の点検。	事故。	事前に話し合い、段取りを組む。	欠員。	早めに不調の連絡をし対応する。

	ISM。	船長教育などで確認。	リスク評価。	3カ月ごとに実施。	船内安全衛生委員会。	月1回開催。
	特殊な船形のため、風、潮流の影響を思った以上に受ける。	無理をしない、余裕をもった操船。	車両誘導時、車歯止めの取り忘れによりタイヤで踏み弾き飛ばしそうになる。	指差し呼称確認。		
	狭い場所での作業で体勢を変える際、体をぶつけて怪我をする。	慌てず焦らず余裕をもって作業する。	床や階段で滑って転んで怪我をする。	床面に油 etc をこぼしたり、こぼれている場合は速やかにオイル吸着剤で清掃する。また階段昇降時は手摺を持つ。	配管やホースを外した際、内部のものが飛び散って怪我をする。	外す前に残圧を確認して、残圧がある場合は圧抜きを実施する。
	目に埃、灰、スラグ等が入る。	保護具の着用(ゴーグル)	詰り除去作業で手を打ちつける。	安全なスペースで作業できるように、治具を用意する。	回転している機械に巻き込まれる。	清掃や整備を行うときは機械を停止する。
	コンベアなどのつまり除去作業。	元電源切りの徹底、連絡合図の徹底。	トラブル発生時の現場での階段昇降。	足元確認、手すりを必ず持つ。	狭い場所での作業で周囲のハリや設備で体を打つ。	周囲の安全確認、保護具の着用。
	コンベヤーの巻き込まれ。	DCS、ブレイカ、現場でのスイッチ OFF にする。	シュートのつまり。	治具を使用する、ヘルメット、ゴーグル、手袋を使う。		
	場内の突起物に躓いて転倒しそうになる。	足元に注意して歩行する。	階段から転落しそうになる。	昇降時に3点支持の確保。	場内を走行する車両と接触する。	周囲の安全確認。
	灰、粉じんの飛散。	保護具の着用。	中央からの操作で機械を運転するとき。	機械の周辺に人がいるかいないかの確認、連絡合図の徹底。	フォークリフトの運転。	周囲の安全確認。
	電気炉による火傷。	防護手袋、ヘルメット面の着用。	薬品の飛散によるケガ。	保護メガネの着用、ゴム手袋の着用。	試薬等の吸引。	ドラフト内で作業を行う。
	火傷。	意識して気を付ける。	機械に手を挟む。	意識して気を付ける。	足に物を落とす。	安全靴を毎日チェック、意識して気を付ける。
C	回転体に巻き込まれる。	二人作業にて連絡、合図の徹底。	フォークリフト運転時、他の作業者と接触する。	周囲の安全確認の上、声掛け。	薬品が顔や体にかかる。	保護具の完全着用。
	巻き込まれ。	連絡合図の徹底、手元確認、安全カバーの実施。	墜落。	安全帯の着用。	衝突。	周囲の安全確認、場内徐行の厳守。
	挟まれ、巻き込まれ。	機器の元電源切り、札かけ。	高所よりの落下。	安全帯の使用。	感電事故。	元電源切り、札かけ。
	階段からの転倒。	昇降時には急がない、3点支持の励行。	コンベヤに巻き込まれ。	回転中は手を出さない、作業中はブレーカーオフ。	ダンプの誘導中に接触または轢かれる。	ダンプの死角および後方に立って誘導しない。
	フォークリフト運転時の事故。	速度は緩やかに、一時停止を確実にする。	上部構造物に頭をぶつける。	上部に気を付ける。		
	フォークリフトの運転。	急な操作をしない、周囲の安全確認。	粉じんが多いところでの作業により、目や口に入る。	保護具の着用の徹底。	階段の昇降中の転倒。	足元の確認。
	停止したコンベアに上る際、足を滑らせ転落しそうになった。	脚立足場の準備、および、埃が堆積して滑らぬように清掃する。	狭い機器内での清掃時、身体を梁等にぶつける。	進入口以外の外部点検口も開放して、光を取り入れて作業している。		
	機器への巻き込まれ、挟まれ。	RA-KYK の実施、設備の改善。	誤操作、作業方法の間違い。	作業手順書の作成と活用、RA-KYK の実施。	重機運転中の接触、衝突。	要所にミラーの設置、安全教育、安全パトロールでの指示。
	階段昇降時に転倒する。	3点支持で階段を昇降する。	回転物の巻き込み事故。	回転中のものには手を出さない。	スイッチの押し間違い。	KY してから作業する。

	配管等の詰りが多く、除去作業中に粉じんを吸う。	保護具の着用。				
	スラグブースを点検するときに、風にあおられて転落する恐れがある。	手すりをしっかり持って、ゆっくり移動する。	ボールミルの容器は小さい割に重いので、持つときに落としてしまう。	両手でしっかり持つ。	分析室の床が水でぬれていて転倒しそうになった。	ぬれていたらすぐに雑巾で拭く、水をこぼさない。
	投入 C/V に挟まれ。	手元確認、周囲確認。	重機同士の接触。	周囲と合図の確認徹底。	近接作業員、機械、重機との接触。	周囲の安全確認(作業手順確認)
	コンベア等回転体に巻き込まれる。	元電源切り、操作禁止を明示する札等の活用。	粉じん、有害な液体、薬品等が体に付着する。	保護具着用(マスク、ゴーグル、防護服、ゴム手袋等)		
	コンベアに巻き込まれる。	作業前にブレーカーOFF 等停止および動かさないための対応と、運転中は C/V に手や治具等を入れ巻き込まれないための対応。	粗・破砕機等、破砕室内での巻き込まれや転倒等の事故。	機器等を動かさないための対応と、作業等行動に対する対応。	場内清掃時によるつまづき、接触等による転倒、転落または負傷。	作業等に適した治具等を使用し、安全に対する行動を考える。
	転倒。	周囲の安全確認。	転落。	安全帯の着用。	つまづき。	整理整頓。
	回転体に巻き込まれる。	電源断、連絡合図の徹底。				
	埃を吸う。	防護具を使用する。	墜落する。	保護具を使用する。		
	爆発の危険がある。	DCS の確認、現場での周囲確認(音も含む)	コンテナの搬出作業。	周囲を良く確認する。		
	ゴミの発火。	カメラ設置。	掃除中に手袋をしても針金が指までくる。	厚革手袋の使用。	階段の踏み外し。	手すりを持つ。
	コンベア点検中、突然動き出す。	元電源を切り、使用禁止札を掛けて、セレクトスイッチを中央から現場に切り替える。	構内リフト作業中、作業員・車両との接触。	ライトの点灯、速度遵守、危険を想定した運転をする。	階段昇降時、つまづき転倒。	手すりを持つ。できるだけ身軽な服装にし、安全靴は現場に適合するものにする。
	階段と基礎との高さや、幅との大きさの違い。	慌てず、手すりを持ってゆっくり昇り降りをする。同じ高さ、大きさに修理する。				
	粉じん、ガス中毒。	保護具の着用。	高温部に触れ、火傷。	周囲の安全確認。	回転機械への巻き込まれ。	元電源切り。
	機器、回転体に巻き込まれる。	元電源を切り、操作禁止札を取り付ける。	墜落、転落の危険。	安全帯を使用する。	粉じんの吸い込みや、有害物との接触。	保護具の着用。
	トラックから降りるときに転倒する。	3点支持で降りる。				
	バンカー開の際に物が当たる。	少しずつ開ける。				
	トラックと人との接触。	気を付ける。				
	トラックと人との接触。	注意する。	他の車両との接触。	注意する。		
	運搬トラックと人との接触。	KY 実施、バックモニター取り付け。	ホイールローダと人との接触。	KY 実施。		
D	接触事故。	安全運転。				
	接触事故。	左右確認運転。				
	人、車との接触。	安全運転。				
	接触事故。	スピードの厳守。	昇降の際の転倒。	足元に注意する。	ベルトの巻き込まれ(洗浄作業の際)	ベルトを停止して洗浄する。
	交通事故。	気を付けて運転する。	施設への接触。	慌てず、ゆっくり。		

	廃棄物ダンプ時のウイリー事故。	定められた手順を守り、急がず、正確な作業を行う。	車両運転にまつわる事故。	スピード、一旦停止、信号を順守し安全運転を行う。	廃棄物ダンプ後の、車両後部の清掃不備。	急がず、丁寧な洗浄を行う。
	構内速度（船内場含む）	構内、船内速度厳守。	作業手順。	作業手順を確実・正確に行うこと。	接触事故の危険。	一旦停止。
	船の中でのトラック同士の事故。	船員さんの指示に従い、自分でも周囲を確認する。	ダンプの荷物の出し方。ダンプの仕方。	クボタの人の指示に従い、自分でも指差し確認をする。	工場内での事故。	指差し確認し、なおかつ現場の人と安全確認を行う。
	大型車両を運転するので後方の人や物と接触する。	車両にバックモニターを取り付けるとともに、常に後方確認するよう教育している。	交通事故。	時速 30km 以下の速度で運転するとともに、安全運転を心掛けるよう教育している。	廃棄物受入ホッパー内に転落する。	受入ホッパーにはむやみに近づかない。
	吊り荷作業。	吊り具のチェック、吊り荷の下に入らない。合図の徹底。	重機等の接触。	作業範囲に入らない。	作業場での転倒・転落。	足元、周囲の確認。
	交通事故。	左右確認、譲り合い。	場内での転倒。	足元注意。		
	作業道路における交通災害。	当日の他社の作業内容を全員に周知させ、道路の利用計画を立てる。	重機作業による重機災害。	稼働中の重機、車両の一定範囲には入らない。作業員、オペレーターの声出し確認をする。	吊り作業中による事故。	吊り荷の下には入らない。玉掛用具に異常がないか作業前に点検する。
	吊り荷作業中の事故。	吊り荷の下に入らない。玉掛用具の点検。	重機作業での接触。	事前のミーティング、安全確認。	作業道路における事故。	安全確認、制限速度厳守。
	重機と作業員の接触。	重機作業半径内に入らないことを周知。	ダンプと重機の接触事故。	運転手同士の合図の徹底。	作業員のつまづき転倒。	足元の確認、安全通路の確保。

資料３７・Ⅱ／７－２

平成２７年３月２１日

豊島廃棄物等処理事業に係る外部評価結果に基づく指摘及び留意点とそれに対する改善方針等

項目	指摘内容	留意点のポイント	改善方針等
① 豊島現地における水管理の継続 （香川県、請負業者）	・処理の進展とともに掘削現場においては、オープンスペースが増加している。これに昨今の異常気象等のため、短時間で大量の降雨が集中する事態の頻発も予想され、貯留トレンチの整備に続き、活性炭吸着塔の整備も進められた。 ・本年度の事業では、豊島現地が冠水するような事態は発生せず、水管理は安定した状態にある。 ・但し、今後、さらに掘削等が進み、また、異常気象の影響で大量の降雨が時期を問わず発生する懸念も残っている。さらに、今後、地下水対応は継続する。 ・以上の点を踏まえると、水管理は従来以上に重要になっている。	・処理の進展に伴い、掘削現場は、雨水の影響を受けやすくなっている。貯留トレンチを整備し、凝集膜分離装置に加えて活性炭吸着塔の整備も完了し、本年度は水管理については、大きな問題なく進められた。但し、今後、掘削はさらに進み、異常気象が頻発している昨今の状況を踏まえると、一定期間継続する大量の降雨への警戒は必要である。このような場合の対応など、幾つかのシナリオを想定した対応策の準備も重要であると考えられる。 ・さらに、今後、地下水対策については掘削運搬業務が終了後も継続するため、施設が継続的かつ適切に運営維持管理できる体制づくりが望まれる。	・豊島処分地における水の管理については、管理委員会の内部組織である排水・地下水等対策検討会や管理委員会でご審議いただき、その結果を踏まえ強化に努めている。 ・今後も引き続き、処分地の水対策については、廃棄物等の掘削・除去作業に支障をきたすことのないよう、万全を期して取り組んでまいります。 ・また、掘削運搬業務が終了した後の地下水対策については、今後、運営維持管理体制も検討してまいります。

項目	指摘内容	留意点のポイント	改善方針等
② 経験やノウハウを共有し、蓄積し続ける仕組みの構築 （香川県、請負業者）	・各種施設や設備が経年劣化していく一方、汚染土壌搬出のための豊島におけるベルトコンベアの新設、凝集膜分離装置や活性炭吸着塔等の新しい設備の導入など、古い設備への対応と新しい設備の稼働が併存している。 ・設備等が経年劣化することにより、これまで経験したこともないようなトラブル等が発生することは少なくなっており、多くの異常事態・緊急事態は、これまで経験したことの範囲内で対処可能になりつつある。 ・新しい設備については、比較的、順調に稼働している。 ・一方、ひやり・ハットやトラブル等は、新しく業務に参加した新規就業者等において発生し易くなっている。 ・業務量も膨大で、時間的にもそれほど余裕がない中での作業が続いており、いずれかのプロセスで故障やトラブル等が発生すると、その他のプロセスへの影響は大きく、処理の円滑な進行に悪影響を与えかねない。	・設備等の経年劣化に伴い、従来、経験したこともなかったトラブル等が発生する機会は減少しており、発生するトラブル等は過去に経験したことのあるものが多くなっている。 ・新しく導入した設備や施設については、現在までのところ、大きな問題なく稼働する状況が続いている。 ・残された期間、処理事業を停止させることなく、円滑に業務遂行を図っていくため、特に、新規就業者を含め、これまで蓄積されてきた経験やノウハウを共有するとともに、さらなる経験やノウハウが蓄積していく仕組み、特に、現場作業者の方々の負荷にならない仕組み（両島の関係者間でのコミュニケーションが以前よりも円滑化していることを踏まえた連携会議の開催など）を構築することが望まれる。	・過去のひやり・ハットやトラブル等の事例を新規就業者に周知徹底するなど新規就業者教育を強化してまいります。 ・また、引き続き、直島と豊島両島の関係者が集まる合同会議等の機会を利用して事業者間の情報共有により一層努めるとともに、職員研修等で作業員への周知徹底を図ってまいります。
③ 処理終了後を見据えた検討の実施 （香川県、請負業者）	・残された期間の中で豊島廃棄物等の処理を行った後も、各種施設の解体・撤去や地下水対策等を実施していく必要があると考えられる。 ・現在の処理対策を継続しつつ、その後の対応も含めたトータルな対応策の検討が必要な段階に至っているものと想定される。	・残された期間が少なくなってくる中、豊島廃棄物等の掘削・処理を進めるとともに、地下水対策や各種の施設の解体撤去など、関係者との連携協議が必要な事項も多いものと想定されることから、今後の対応策についてもその点を踏まえて検討を進めていくことが望まれる。	・地下水浄化について、処分地内の地下水汚染状況を把握するための調査等の手法に関する検討を始めるなど、今後を見据えた対策の検討を行っている。 ・今後とも、適切な時期に、管理委員会や排水・地下水等対策検討会などの専門家の指導、助言をいただくとともに、直島町と豊島住民の方々など関係者の理解と協力を得て、処理終了後を見据え、最後まで、安全と環境保全を第一に取り組んでまいります。

資料３７・Ⅱ／８－１
平成２７年３月２１日

環境計測及び周辺環境モニタリング結果について

１．環境計測

（１）豊島における環境計測（地下水調査）結果について･･･平成 26 年 11 月、12 月、平成 27 年 2 月調査

・観測井Ａ３、Ｂ５、Ｆ１西とも、これまでの調査結果と比較して特段の差異は見られなかった。

・Ｄ測線西側の新設観測井については、揚水井の設置時に環境基準値を満足していなかった、トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン及び 1,4-ジオキサンの項目についてモニタリングを平成 26 年 4 月から実施している。10 月以降、浅井戸においては全体的にやや改善傾向で安定してきているが、深井戸で濃度が高く、また、(C,2+10)深井戸においては、10 月以降も 1,2-ジクロロエチレンとトリクロロエチレンが増加傾向であった。

なお、揚水ポンプが故障したことから、この平成 26 年 12 月以降においては、揚水井はともに揚水されていない。

（２）中間処理施設における環境計測（排出ガス）結果について･･･････････平成 26 年 9 月～11 月調査

・全ての項目について、管理基準を満足していた。

（３）豊島における環境計測（沈砂池）結果について･･･････平成 26 年 11 月、12 月、平成 27 年 2 月調査

・検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

（４）豊島における環境計測（高度排水処理施設）結果について･･･････

･･･････平成 26 年 10 月、平成 27 年 2 月調査

・高度排水処理施設において処理した処理水は、全ての項目において管理基準を満足していた。

（５）豊島における環境計測（大気汚染、騒音、振動、悪臭調査）結果について･･･････

･･･････平成 26 年 11 月～12 月、平成 27 年 3 月調査

・事前環境モニタリングの調査結果と比較して、特段の差異は見られなかった。

・すべての項目について、環境基準値を満足していた。

２．周辺環境モニタリング

（１）豊島における周辺環境モニタリング（水質、底質）結果について･･･････

･･･････平成 26 年 8 月、11 月、平成 27 年 1 月調査

【周辺地先海域】

水質、底質ともに事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

【海岸感潮域】

水質、底質ともに事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

３．その他

廃棄物の掘削･移動に当たっての事前調査結果について･･･････････････････平成 26 年 12 月調査

・削孔を伴わない VOCs ガス調査を行った 35 地点全てで VOCs ガスは検知されなかった。

豊島における環境計測（地下水調査）結果について

地下水の環境計測は、工事の進捗に伴う水質の推移を把握することを目的としている。今回、平成26年11月及び平成27年2月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1　調査の概要

（1）調査日

平成26年11月25日（火）

平成27年2月16日(月)、17日(火)、18日(水)、25日(水)

（2）調査地点（調査地点図参照）

地下水観測井Ａ３、Ｂ５、Ｆ１西・・・平成26年11月調査

観測井　１１地点・・・平成27年2月調査

（Ａ３、Ｂ５、Ｃ１北、Ｃ１南、Ｃ３北、Ｃ３南、ＤＥ１、Ｆ１、Ｆ１西、Ｆ１東、ＨＩ１）

（3）検体採取機関及び分析機関

採取機関：県廃棄物対策課、県直島環境センター

分析機関：県直島環境センター、県環境保健研究センター

2　調査結果の概要（表１～３）

・　観測井１１地点全てにおいて、これまでの調査結果と比較して特段の差異は見られなかった。

・　それぞれの観測井において、次の項目が環境基準値を満足しなかった。

観測井ＤＥ１：トリクロロエチレン、ベンゼン

観測井Ｆ１西：砒素及びその化合物、トリクロロエチレン、ベンゼン（11月調査時は砒素及びその化合物のみ）

観測井Ａ３　：砒素及びその化合物、トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエタン、1,2-ジクロロエチレン

観測井Ｂ５　：ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン（11月調査時は加えてベンゼン）

観測井Ｃ１北：トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井Ｃ１南：トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

観測井Ｃ３北：ベンゼン、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井Ｃ３南：トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井Ｆ１　：砒素及びその化合物、ベンゼン、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井Ｆ１東：塩化ビニルモノマー、ベンゼン、セレン及びその化合物、ホウ素及びその化合物、1,4-ジオキサン

観測井ＨＩ１：トリクロロエチレン、ベンゼン、ホウ素及びその化合物

表1　地下水調査結果（A３地点の推移）

調査地点		A３																					地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H15.2.6	H16.2.5	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9	H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22	H25.7.29	H25.11.13	H26.3.17	H26.5.13		
一般項目	pH	7.0	7.1	6.9	7.1	7.0	6.8	7.0	7.2	6.9	6.8	6.7	6.7	6.9	6.6	6.8	6.9	6.9	6.8	6.8	6.6	9.8	11.4	－	－
	BOD	7.5	12	0.8	4.3	0.7	0.9	ND	1.4	1.0	ND	1.0	1.0	0.8	ND	ND	0.8	1.3	1.3	ND	ND	1.0	ND	－	0.5
	COD	32	70	17	18	10	21	3.1	3.7	5.7	5.6	3.7	5.1	3.8	7.0	5.0	4.1	3.4	7.9	3.5	4.2	8.4	7.2	－	0.5
	大腸菌群数	13	33	33	7.8	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	7.8	ND	ND	11	13	ND	350	2	7.8	ND	ND	－	－
	油分	0.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.7	1.1	0.6	－	0.5
健康項目	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003(注6)	0.0003
	全ｼｱﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.1
	鉛	ND	0.1	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.008	ND	ND	0.008	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価ｸﾛﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.56	0.73	0.40	1.1	0.42	0.59	0.31	1.6	1.2	0.26	0.55	0.50	0.70	1.0	0.54	0.27	0.13	0.090	0.21	0.56	0.49	0.26	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	ｱﾙｷﾙ水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0034	0.0063	0.0044	0.0090	0.0040	0.017	0.0023	0.0034	0.0035	0.0032	ND	ND	0.0022	0.002	0.0002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	0.21	0.018	0.029	0.018	0.0091	0.0082	0.0053	0.0019	0.0007	0.0066	0.010	0.0060	0.0032	0.0057	0.0079	0.0045	0.0036	0.0033	0.0037	0.0050	0.0020	0.0031	0.004	0.0004
	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.054	0.009	0.011	0.004	0.003	ND	ND	ND	0.005	0.007	0.011	0.004	0.002	0.003	0.002	0.004	ND	ND	0.002	0.002	ND	ND	0.1(注4)	0.002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(注5)	1.7	0.32	0.33	0.11	0.071	0.047	0.033	0.022	0.047	0.046	0.032	0.030	0.037	0.021	0.024	0.022	0.019	0.010	0.022	0.015	ND	0.022	0.04	0.004
	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	0.21	0.023	0.025	0.011	0.007	0.0036	0.0018	0.0011	0.0072	0.011	0.023	0.0096	0.0029	0.0039	0.0083	0.0025	0.0019	0.0011	0.0055	0.0049	ND	0.0021	1	0.0005
	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	0.0007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.15	0.010	0.017	0.022	0.019	0.011	0.006	0.007	0.042	0.043	0.066	0.027	0.016	0.021	0.033	0.0026	0.010	0.007	0.020	0.015	0.002	0.016	0.03	0.002
	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.022	0.011	0.034	0.0027	0.0012	0.0014	ND	0.0006	0.0007	0.0057	0.081	0.014	0.0007	0.0014	0.0013	0.0014	0.0007	ND	0.0006	0.0007	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	ﾁｳﾗﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	ｼﾏｼﾞﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.053	0.012	0.012	0.005	0.002	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.014	ND	ND	ND	0.059	ND	ND	ND	0.01	0.001
	ｾﾚﾝ	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	ﾌｯ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1.0	ND	0.8	0.8
	ﾎｳ素	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.5	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	ND	0.1	0.3	0.2	1	0.1
	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.005
その他の項目	全窒素	4	3	1.6	3	1	1	1	5	3	1	1	1	2	4	1	1	1	1	1	ND	ND	2	－	1
	全燐	0.5	ND	0.2	1.0	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	ND	0.2	ND	ND	0.1	0.2	ND	ND	ND	－	0.1
	塩化物イオン	68	39	28	23	37	29	24	28	21	25	31	30	32	20	33	31	33	41	38	40	48	57	－	1
	電気伝導率	51	40	32	30	15	16	16	15	16	33	30	28	31	31	32	30	30	32	30	31	32	87	－	0.1
	ﾆｯｹﾙ	ND	0.08	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.05
	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	ND	ND	0.016	ND	ND	0.008	0.026	0.022	ND	ND	0.028	0.030	0.038	0.022	ND	0.008	0.044	0.016	0.013	0.019	0.12	0.098	－	0.007
	ｱﾝﾁﾓﾝ	ND	0.002	0.005	0.002	0.002	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	ND	ND	0.001	ND	ND	0.001	ND	0.004	ND	－	0.001
	ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙﾍｷｼﾙ	ND	ND	ND	ND	ND	0.015	ND	ND	0.046	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。
(注2)ND：検出せず
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。
(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。）
(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。（平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。）
(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。）

表１　地下水調査結果（Ａ３地点の推移）

調査地点		Ａ３			地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H26.7.29	H26.11.25	H27.2.16		
一般項目	ｐＨ	7.0	7.0	7.0	－	－
	ＢＯＤ	ND	1.3	22	－	0.5
	ＣＯＤ	5.2	6.3	49	－	0.5
	大腸菌群数	280	11	ND	－	－
	油分	ND	0.8	ND	－	0.5
健康項目	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	ND	ND	ND	0.003(注6)	0.0003
	全ｼｱﾝ	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	－	0.1
	鉛	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価ｸﾛﾑ	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.16	0.22	0.68	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	ｱﾙｷﾙ水銀	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	0.0018	0.012	0.018	0.002	0.0002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	0.0010	0.016	0.0072	0.004	0.0004
	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.005	ND	0.008	0.1(注4)	0.002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(注5)	0.054	0.12	0.056	0.04	0.004
	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	0.016	0.041	0.011	1	0.0005
	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.033	0.098	0.058	0.03	0.002
	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.0020	0.0053	0.0059	0.01	0.0005
	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	ﾁｳﾗﾑ	ND	ND	ND	0.006	0.001
	ｼﾏｼﾞﾝ	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ND	ND	0.002	0.01	0.001
	ｾﾚﾝ	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	10	10
	ﾌｯ素	ND	ND	ND	0.8	0.8
	ﾎｳ素	0.3	0.2	0.3	1	0.1
	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	ND	0.005	ND	0.05	0.005
その他の項目	全窒素	1	ND	2	－	1
	全燐	ND	ND	0.4	－	0.1
	塩化物イオン	53	54	50	－	1
	電気伝導率	40.9	50.3	43.7	－	0.1
	ﾆｯｹﾙ	ND	ND	ND	－	0.05
	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	0.023	0.007	0.049	－	0.007
	ｱﾝﾁﾓﾝ	ND	ND	0.002	－	0.001
	ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙﾍｷｼﾙ	ND	ND	ND	－	0.006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導度(mS/m)を除いて、mg/Lである。
(注2)ND：検出せず
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。
(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。）
(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。（平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。）
(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。）

表２　地下水調査結果（Ｂ５地点の推移）

	調査地点	B５																						地下水の環境基準	検出下限値
	調査年月日	H12.12.4	H13.3.6	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9	H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22	H25.7.29	H25.11.13	H26.3.4	H26.5.13		
一般項目	ｐＨ	6.3	6.4	6.6	7.1	6.8	6.9	6.7	7.0	6.5	6.8	6.5	6.5	6.6	6.7	6.6	6.7	6.7	6.7	6.6	6.7	6.8	6.6	－	－
	ＢＯＤ	120	55	50	44	43	41	36	29	21	33	43	24	27	15	34	13	4.2	12	10	8	16	13	－	0.5
	ＣＯＤ	530	300	370	300	310	220	240	420	300	223	240	210	260	160	204	186	179	194	228	215	120	200	－	0.5
	大腸菌群数	3.5×10^2	2.4×10^2	ND	ND	17	ND	240	2.0	ND	2.0	ND	23	ND	ND	ND	49	ND	2.0	790	2.0	350	1700	－	－
	油分	2.9	4.1	8.9	5.6	4.5	5.5	5.2	4.3	6.1	8.2	5.8	5.4	4.6	4.6	5.2	4.2	3.4	7.0	10	8.6	11	7.6	－	0.5
健康項目	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0003	ND	0.0003	ND	ND	ND	0.003(注6)	0.0003
	全ｼｱﾝ	ND	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	－	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.1
	鉛	0.018	0.048	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価ｸﾛﾑ	ND	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.047	0.022	ND	0.008	0.013	0.012	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.017	ND	0.011	0.007	ND	ND	0.006	ND	0.006	0.01	0.005
	総水銀	ND	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	ｱﾙｷﾙ水銀	ND	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	0.085	0.039	0.018	0.006	0.003	0.002	0.003	ND	0.004	0.004	ND	0.004	0.005	0.004	0.003	0.003	0.002	0.002	0.002	ND	ND	0.007	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	0.0017	0.0014	ND	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	0.0004	0.0005	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1(注4)	0.002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.002
	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.0016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	ﾁｳﾗﾑ	ND	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	ｼﾏｼﾞﾝ	ND	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ND	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.22	0.19	0.042	0.014	0.003	0.002	0.006	0.002	0.025	0.020	0.025	0.020	0.022	0.016	0.015	0.013	0.009	0.010	0.013	0.004	0.10	0.030	0.01	0.001
	ｾﾚﾝ	ND	－	0.011	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.26	1.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	ﾌｯ素	ND	ND	4.2	5.0	3.6	3.0	2.0	1.3	ND	2.6	1.5	1.5	1.4	1.3	1.2	1.3	1.2	1.4	1.1	0.9	1.4	1.8	0.8	0.8
	ﾎｳ素	2.1	2.6	3.0	3.1	3.1	2.6	3.0	2.5	2.5	2.6	2.6	4.9	2.8	2.6	2.7	2.6	2.5	2.2	2.6	2.7	2.5	2.0	1	0.1
	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	—	—	—	—	—	—	—	—	5.3	5.1	5.6	5.1	5.2	3.5	4.5	4.1	3.5	3.5	4.1	3.1	3.3	3.6	0.05	0.005
その他の項目	全窒素	14	14	12	10	37	30	31	45	8	9	38	34	28	34	24	17	17	15	18	4	ND	12	－	1
	全燐	0.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.1
	塩化物イオン	2,300	1,840	2,000	1,520	1,550	1,330	1,470	1,400	1,400	1,400	1,480	1,390	1,330	1,180	1,120	1,080	944	943	1,020	690	704	901	－	1
	電気伝導率	635	462	694	542	478	314	274	280	560	502	517	523	502	432	467	399	413	400	354	339	320	403	－	0.1
	ﾆｯｹﾙ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.05
	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.018	0.009	ND	－	0.007
	ｱﾝﾁﾓﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.001
	ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙﾍｷｼﾙ	ND	0.020	ND	ND	ND	ND	0.010	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。
(注2)ND：検出せず
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。
(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。）
(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。（平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。）
(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。）

表２　地下水調査結果（Ｂ５地点の推移）

調査地点		Ｂ５			地下水の環境基準	検出下限値
調査年月日		H26.7.29	H26.11.25	H27.2.16		
一般項目	ｐＨ	6.7	6.6	6.9	－	－
	ＢＯＤ	3.2	6.2	17	－	0.5
	ＣＯＤ	100	130	100	－	0.5
	大腸菌群数	33	49	59	－	－
	油分	6.2	8.9	4.7	－	0.5
健康項目	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	ND	ND	ND	0.003(注6)	0.0003
	全ｼｱﾝ	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	－	0.1
	鉛	ND	0.006	ND	0.01	0.005
	六価ｸﾛﾑ	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	ND	ND	ND	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	ｱﾙｷﾙ水銀	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	0.1(注4)	0.002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(注5)	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	0.03	0.002
	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	ﾁｳﾗﾑ	ND	ND	ND	0.006	0.001
	ｼﾏｼﾞﾝ	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.014	0.018	0.007	0.01	0.001
	ｾﾚﾝ	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	10	10
	ﾌｯ素	0.8	0.8	ND	0.8	0.8
	ﾎｳ素	2.3	2.0	2.0	1	0.1
	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	2.3	2.3	1.6	0.05	0.005
その他の項目	全窒素	3	8	3	－	1
	全燐	ND	ND	ND	－	0.1
	塩化物イオン	603	967	585	－	1
	電気伝導率	272	336	249	－	0.1
	ﾆｯｹﾙ	ND	ND	ND	－	0.05
	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	ND	ND	ND	－	0.007
	ｱﾝﾁﾓﾝ	ND	ND	ND	－	0.001
	ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙﾍｷｼﾙ	ND	ND	ND	－	0.006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。
(注2)ND：検出せず
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。
(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。）
(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。（平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。）
(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。）

表３　地下水調査結果（Ｆ１西地点の推移）

調査地点		Ｆ１西																						地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H15.2.6	H16.2.5	H17.2.7	H18.2.28	H19.2.1	H20.2.13	H21.2.17	H22.2.16	H23.2.9	H23.6.14	H23.8.3	H23.11.22	H24.2.1	H24.5.16	H24.8.1	H24.11.19	H25.2.5	H25.5.22	H25.7.22	H25.11.13	H26.2.17	H26.5.13		
一般項目	ｐＨ	7.0	7.0	7.0	6.9	7.3	6.9	7.2	7.7	6.8	6.9	6.9	7.2	6.9	6.8	6.8	7.1	7.1	6.7	6.7	7.1	6.9	7.1	－	－
	ＢＯＤ	3.9	6.6	1.0	2.7	0.5	1.6	1.7	1.1	0.9	ND	ND	0.7	0.6	ND	ND	ND	2.1	1.7	0.5	0.6	ND	ND	－	0.5
	ＣＯＤ	5.4	7.9	1.7	2.4	2.4	2.7	2.3	0.9	1.8	2.8	1.9	1.9	1.9	2.0	3.0	2.2	0.9	7.8	6.1	1.7	5.0	2.6	－	0.5
	大腸菌群数	22	4.5	2.0	22	33	3.7	7.8	2.0	ND	13	22	540	7.8	11	11	70	ND	69	33	ND	7.8	ND	－	－
	油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	ND	－	0.5
健康項目	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0004	0.003(注6)	0.0003
	全ｼｱﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.1
	鉛	0.024	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価ｸﾛﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.016	0.016	ND	0.013	ND	0.010	ND	0.008	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	0.012	0.008	ND	ND	0.008	ND	0.016	0.009	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	ｱﾙｷﾙ水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	ND	ND	ND	ND	0.0013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0006	0.002	0.0002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1(注4)	0.002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(注5)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	0.03	0.002
	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	ﾁｳﾗﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.001
	ｼﾏｼﾞﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	0.001	ND	0.010	0.012	0.01	0.001
	ｾﾚﾝ	ND	ND	0.010	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	ﾌｯ素	ND	ND	ND	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.8
	ﾎｳ素	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.9	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	0.5	0.3	0.4	1	0.1
	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	—	—	—	—	—	—	—	—	ND	0.008	ND	ND	0.006	ND	0.010	0.010	0.010	0.020	0.023	ND	0.017	0.027	0.05	0.005
その他の項目	全窒素	1	4	ND	ND	1	ND	ND	ND	ND	ND	1.6	1.2	1.2	4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	1
	全燐	ND	ND	ND	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.1
	塩化物イオン	230	230	220	216	223	274	241	250	270	360	248	252	285	331	342	328	338	436	426	280	314	309	－	1
	電気伝導率	98.6	94	94.6	90.0	83.7	53.4	47.3	49	110	136	102	109	115	130	133	118	133	168	176	100	127	117	－	0.1
	ﾆｯｹﾙ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.05
	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.007
	ｱﾝﾁﾓﾝ	ND	0.001	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.001
	ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙﾍｷｼﾙ	ND	ND	0.033	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。
(注2)ND：検出せず
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。
(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。）
(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。・(平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。)
(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。）

表３　地下水調査結果（Ｆ１西地点の推移）

調査地点		Ｆ１西			地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H26.7.22	H26.11.25	H27.2.16		
一般項目	ｐＨ	6.7	6.7	6.7	－	－
	ＢＯＤ	ND	0.6	1.3	－	0.5
	ＣＯＤ	8.0	10	5.8	－	0.5
	大腸菌群数	ND	7.8	ND	－	1
	油分	ND	0.5	ND	－	0.5
健康項目	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	ND	ND	ND	0.003(注6)	0.0003
	全ｼｱﾝ	ND	ND	ND	ND	0.1
	有機燐	ND	ND	ND	－	0.1
	鉛	ND	ND	ND	0.01	0.005
	六価ｸﾛﾑ	ND	ND	ND	0.05	0.05
	砒素	0.019	0.011	0.011	0.01	0.005
	総水銀	ND	ND	ND	0.0005	0.0005
	ｱﾙｷﾙ水銀	ND	ND	ND	ND	0.0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	0.0005
	ｼﾞｸﾛﾒﾀﾝ	ND	ND	ND	0.02	0.002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	0.0003	ND	ND	0.002	0.0002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	0.004	0.0004
	1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	0.1(注4)	0.002
	1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(注5)	0.006	ND	0.011	0.04	0.004
	1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	1	0.0005
	1,1,2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	0.006	0.0006
	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.033	0.006	0.031	0.03	0.002
	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	0.01	0.0005
	1,3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ND	ND	ND	0.002	0.0002
	ﾁｳﾗﾑ	ND	ND	ND	0.006	0.001
	ｼﾏｼﾞﾝ	ND	ND	ND	0.003	0.0003
	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ND	ND	ND	0.02	0.002
	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0.007	0.006	0.012	0.01	0.001
	ｾﾚﾝ	ND	ND	ND	0.01	0.005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	10	10
	ﾌｯ素	ND	ND	ND	0.8	0.8
	ﾎｳ素	0.5	0.3	0.5	1	0.1
	1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	0.045	0.025	0.026	0.05	0.005
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	－	1
	全燐	ND	ND	ND	－	0.1
	塩化物イオン	539	456	522	－	1
	電気伝導率	207	174	193	－	0.1
	ﾆｯｹﾙ	ND	ND	ND	－	0.05
	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	ND	ND	ND	－	0.007
	ｱﾝﾁﾓﾝ	ND	ND	ND	－	0.001
	ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙﾍｷｼﾙ	ND	ND	ND	－	0.006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。
(注2)ND：検出せず
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。
(注4)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。）
(注5)環境省通知に基づき、シス体及びトランス体を合わせて1つの地下水環境基準項目となったため、名称を変更した。（平成22年1月調査までは、シス体のみ調査を実施した。）
(注6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。）

表４　地下水調査結果

調査地点		Ｃ１北				Ｃ１南				Ｃ３北				Ｃ３南				地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H25. 7. 24	H26. 2. 18	H26. 7. 22	H27. 2. 25	H25. 7. 24	H26. 2. 18	H26. 7. 22	H27. 2. 25	H25. 7. 24	H26. 2. 19	H26. 7. 7	H27. 2. 18	H25. 7. 24	H26. 2. 19	H26. 7. 7	H27. 2. 18		
一般項目	ｐＨ	6. 9	6. 7	6. 9	6. 9	5. 5	5. 2	4. 7	5. 5	6. 6	6. 6	6. 7	6. 6	6. 3	6. 1	6. 1	6. 2	－	－
	ＢＯＤ	6. 6	4. 7	13	4. 5	ND	ND	ND	ND	12	18	5. 0	3. 0	11	9. 3	1. 0	1. 4	－	0. 5
	ＣＯＤ	159	132	130	130	7. 1	7. 7	5. 8	5. 5	205	142	110	67	84	68	36	39	－	0. 5
	大腸菌群数	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2. 0	31	2. 0	11	4. 5	ND	ND	4. 5	－	－
	油分	1. 5	2. 4	1. 8	1. 8	ND	0. 7	ND	ND	7. 6	10	3. 8	4. 1	4. 0	4. 3	2. 6	2. 6	－	0. 5
健康項目	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	0. 0012	0. 0008	ND	ND	0. 0011	0. 0009	0. 0028	0. 0007	0. 0004	0. 0004	ND	ND	0. 0008	0. 0004	ND	ND	0. 003	0. 0003
	全ｼｱﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0. 1
	鉛	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 01	0. 005
	六価ｸﾛﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 05	0. 05
	砒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 01	0. 005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 0005	0. 0005
	ｱﾙｷﾙ水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 0005
	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 002	ND	0. 002	0. 002	0. 002	ND	0. 02	0. 002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 002	0. 0002
	塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	0. 0003	ND	0. 0003	0. 0045	ND	0. 010	0. 0036	0. 011	0. 035	0. 0008	0. 0089	0. 0017	0. 12	0. 15	0. 24	0. 035	0. 002	0. 0002
	1, 2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 0014	ND	0. 0005	ND	0. 0024	0. 0030	0. 0042	ND	0. 004	0. 0004
	1, 1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 002	ND	ND	0. 1	0. 002
	1, 2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	0. 004	0. 005	0. 095	0. 088	0. 088	0. 041	0. 12	0. 033	ND	0. 009	0. 007	0. 67	0. 65	0. 23	0. 12	0. 04	0. 004
	1, 1, 1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 011	ND	ND	ND	0. 0007	ND	ND	1	0. 0005
	1, 1, 2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	0. 0015	0. 0007	0. 0009	0. 0009	ND	ND	0. 0006	ND	0. 0024	0. 0023	0. 0022	ND	0. 006	0. 0006
	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	0. 009	0. 017	0. 093	0. 25	0. 28	0. 13	0. 33	0. 025	ND	0. 065	0. 022	0. 46	0. 54	0. 37	0. 32	0. 03	0. 002
	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 01	0. 0005
	1, 3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 002	0. 0002
	ﾁｳﾗﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	0. 001
	ｼﾏｼﾞﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 003	0. 0003
	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 02	0. 002
	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0. 099	0. 10	0. 085	0. 14	0. 023	0. 024	0. 019	0. 049	9. 2	0. 26	0. 33	0. 032	0. 56	0. 13	0. 021	0. 018	0. 01	0. 001
	ｾﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 01	0. 005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	ﾌｯ素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 8	0. 8
	ﾎｳ素	7. 2	6. 5	7. 3	7. 1	0. 1	0. 2	0. 1	0. 2	3. 0	1. 4	2. 0	2. 5	2. 9	2. 4	2. 0	2. 5	1	0. 1
	1, 4-ｼﾞｵｷｻﾝ	0. 73	0. 99	0. 78	0. 69	0. 13	0. 20	0. 13	0. 16	1. 3	0. 48	2. 7	0. 72	1. 3	1. 1	1. 3	0. 65	0. 05	0. 005
その他の項目	全窒素	23	18	11	12	ND	ND	ND	ND	11	7	19	27	9	6	6	4	－	1
	全燐	0. 3	0. 2	0. 3	0. 2	ND	ND	ND	ND	ND	0. 4	0. 1	0. 2	ND	ND	ND	ND	－	0. 1
	塩化物イオン	1850	1880	1690	1630	4890	5340	5350	5320	322	295	343	240	1260	1440	1670	1670	－	1
	電気伝導率	727	719	714	677	1361	1441	1460	1510	590	330	377	273	506	536	597	586	－	0. 1
	ﾆｯｹﾙ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0. 05
	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 009	0. 011	ND	ND	ND	ND	－	0. 007
	ｱﾝﾁﾓﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0. 001
	ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙﾍｷｼﾙ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0. 006

（注1）単位は、pH(－)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

（注2）ND：検出せず

（注3）下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

調査地点		ＤＥ１				Ｆ１				Ｆ１東				Ｈ１１				地下水の環境基準	検出下限
調査年月日		H25. 7. 22	H26. 2. 19	H26. 7. 22	H27. 2. 17	H25. 7. 29	H26. 2. 17	H26. 7. 22	H27. 2. 17	H25. 7. 22	H26. 2. 17	H26. 7. 22	H27. 2. 17	H25. 7. 22	H26. 2. 18	H26. 7. 22	H27. 2. 17		
一般項目	ｐＨ	5. 9	6. 1	6. 3	6. 3	7. 1	7. 2	7. 3	7. 3	6. 2	6. 3	6. 3	6. 4	7. 7	7. 2	7. 4	7. 4	－	－
	ＢＯＤ	ND	ND	ND	ND	16	17	2. 4	12	9. 3	10	3. 7	14	2. 9	7. 9	2. 6	1. 7	－	0. 5
	ＣＯＤ	2. 5	4. 3	4. 8	2. 8	415	428	330	260	136	96	72	73	11	13	13	6. 6	－	0. 5
	大腸菌群数	ND	ND	22	ND	ND	7. 8	ND	13	ND	ND	ND	ND	ND	23	ND	4. 5	－	－
	油分	ND	ND	ND	ND	4. 6	4. 3	3. 3	2. 5	4. 4	2. 3	1. 6	2. 2	ND	0. 6	0. 7	ND	－	0. 5
健康項目	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	0. 0026	0. 044	0. 022	0. 0004	0. 0023	0. 0008	ND	ND	0. 0011	0. 0008	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 003	0. 0003
	全ｼｱﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 1
	有機燐	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0. 1
	鉛	0. 005	0. 084	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 009	ND	ND	ND	ND	0. 01	0. 005
	六価ｸﾛﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 05	0. 05
	砒素	ND	0. 009	0. 008	ND	0. 009	0. 027	0. 026	0. 015	ND	ND	ND	ND	ND	0. 005	ND	0. 006	0. 01	0. 005
	総水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 0005	0. 0005
	ｱﾙｷﾙ水銀	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 0005
	PCB	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 0005
	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 02	0. 002
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 002	0. 0002
	塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	ND	ND	0. 0004	0. 0006	ND	ND	ND	ND	0. 0017	0. 0045	0. 0039	0. 0041	ND	ND	0. 0004	0. 0002	0. 002	0. 0002
	1, 2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 0009	0. 0009	0. 0015	0. 0009	ND	ND	ND	ND	0. 004	0. 0004
	1, 1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 002	ND	ND	ND	ND	ND	0. 1	0. 002
	1, 2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	0. 012	0. 027	ND	ND	0. 014	0. 004	ND	ND	0. 016	0. 011	ND	ND	0. 009	0. 010	0. 04	0. 004
	1, 1, 1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0. 0005
	1, 1, 2-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 0022	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	0. 0006
	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	0. 056	0. 041	0. 002	ND	0. 053	0. 017	0. 002	ND	0. 064	0. 022	ND	ND	0. 062	0. 032	0. 03	0. 002
	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 01	0. 0005
	1, 3-ｼﾞｸﾛﾛﾌﾟﾛﾍﾟﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 002	0. 0002
	ﾁｳﾗﾑ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 006	0. 001
	ｼﾏｼﾞﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 003	0. 0003
	ﾁｵﾍﾞﾝｶﾙﾌﾞ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 02	0. 002
	ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0. 003	0. 007	0. 014	0. 023	0. 75	0. 48	0. 29	0. 32	0. 017	0. 051	0. 020	0. 016	0. 005	0. 007	0. 015	0. 011	0. 01	0. 001
	ｾﾚﾝ	ND	0. 006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 016	ND	ND	ND	ND	0. 01	0. 005
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	10
	ﾌｯ素	ND	ND	ND	ND	ND	1. 3	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 8	0. 8
	ﾎｳ素	0. 8	0. 6	0. 9	0. 9	28	27	26	27	9. 4	6. 5	6. 6	6. 3	1. 2	1. 7	2. 0	1. 7	1	0. 1
	1, 4-ｼﾞｵｷｻﾝ	ND	ND	ND	ND	0. 55	0. 64	0. 52	0. 34	0. 72	0. 71	0. 75	0. 66	ND	ND	ND	0. 006	0. 05	0. 005
その他の項目	全窒素	ND	ND	ND	ND	45	40	28	27	4	5	5	4	13	15	13	15	－	1
	全燐	ND	ND	ND	ND	0. 2	0. 1	0. 1	0. 2	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0. 1
	塩化物イオン	9650	10200	9830	10000	1790	1500	1600	1240	1230	1270	1310	1310	20	39	59	23	－	1
	電気伝導率	2650	2580	2560	2700	860	401	771	682	524	524	537	545	96. 0	145	125	96. 2	－	0. 1
	ﾆｯｹﾙ	ND	ND	0. 05	ND	ND	0. 05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0. 05
	ﾓﾘﾌﾞﾃﾞﾝ	0. 008	0. 008	ND	0. 011	0. 023	0. 049	0. 23	0. 099	ND	0. 007	0. 017	0. 028	0. 052	0. 033	0. 11	0. 093	－	0. 007
	ｱﾝﾁﾓﾝ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0. 001
	ﾌﾀﾙ酸ｼﾞｴﾁﾙﾍｷｼﾙ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0. 007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0. 006

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(MPN/100ml)、電気伝導率(mS/m)を除いて、mg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

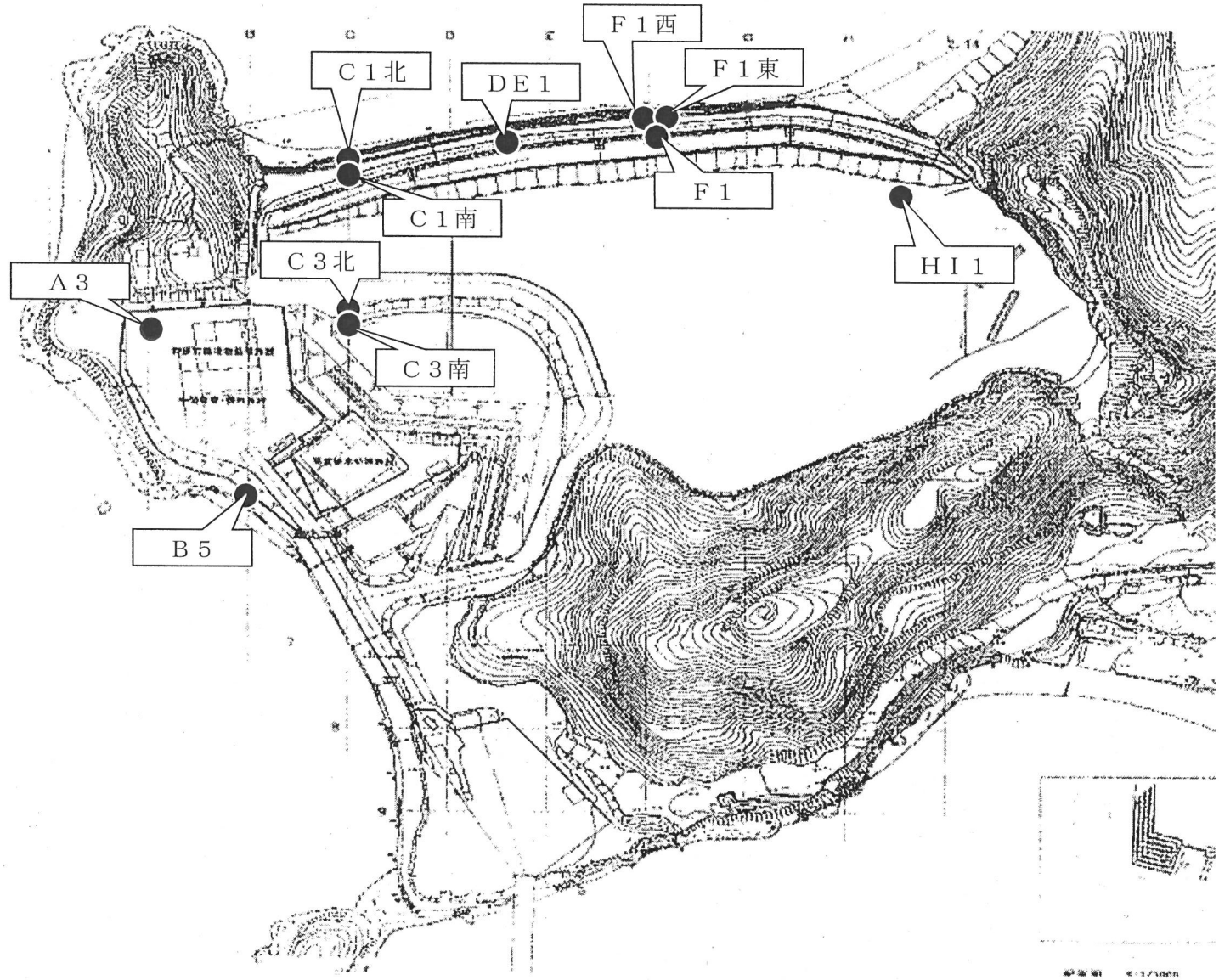


図　豊島における環境計測（地下水調査）調査地点

豊島における環境計測（地下水調査）結果について

地下水の環境計測は、工事の進捗に伴う水質の推移を把握することを目的としている。今回、平成26年12月及び平成27年2月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1　調査の概要

（1）調査日

平成26年12月10日（水）、平成27年2月18日（水）

（2）調査地点（調査地点図参照）

観測井 5地点

・(B+40，2+10）付近　2地点（浅井戸、深井戸）

・(C，2+40）付近　　3地点（浅井戸、中間井戸、深井戸）

（3）検体採取機関及び分析機関

採取機関：県廃棄物対策課、県直島環境センター

分析機関：県環境保健研究センター

2　調査結果の概要（表1～5）

・　各観測井において、次の項目が環境基準値を満足しなかった。下線部については、2月調査時は環境基準値を満足していた。

(B+40，2+10）浅井戸：

塩化ビニルモノマー、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(B+40，2+10）深井戸：

トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C，2+40）浅井戸：

トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C，2+40）中間井戸：

トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、ベンゼン、1,4-ジオキサン

(C，2+40）深井戸：

トリクロロエチレン、塩化ビニルモノマー、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン、1,4-ジオキサン

表１　地下水調査結果（B+40, 2+10)付近浅井戸の推移

調査地点	(B+40, 2+10)付近浅井戸						地下水の環境基準	検出下限
調査年月日	H26. 4. 10	H26. 6. 17	H26. 8. 25	H26. 10. 22	H26. 12. 10	H27. 2. 18		
塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	0. 0077	0. 022	0. 0046	0. 0028	0. 0024	0. 0014	0. 002	0. 0002
1, 2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0. 056	0. 28	0. 012	0. 017	0. 008	0. 006	0. 04	0. 004
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0. 080	1. 1	0. 018	0. 030	0. 021	0. 029	0. 03	0. 002
ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0. 73	0. 79	0. 75	0. 32	0. 22	0. 28	0. 01	0. 001
1, 4-ｼﾞｵｷｻﾝ	1. 6	2. 9	1. 4	0. 34	0. 54	0. 58	0. 05	0. 005
水位	－	0. 83	1. 54	1. 24	0. 87	0. 61	－	－

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。
(注2)ND：検出せず
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

表２　地下水調査結果（B+40, 2+10)付近深井戸の推移

調査地点	(B+40, 2+10)付近深井戸						地下水の環境基準	検出下限
調査年月日	H26. 4. 10	H26. 6. 17	H26. 8. 25	H26. 10. 22	H26. 12. 10	H27. 2. 18		
塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	0. 016	5. 8	0. 70	0. 63	0. 81	0. 47	0. 002	0. 0002
1, 2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	3. 0	2. 6	2. 7	3. 3	3. 1	2. 1	0. 04	0. 004
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	3. 4	4. 1	2. 6	3. 9	3. 6	1. 8	0. 03	0. 002
ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	1. 3	1. 3	1. 3	1. 7	1. 7	1. 0	0. 01	0. 001
1, 4-ｼﾞｵｷｻﾝ	4. 1	7. 2	4. 3	3. 4	3. 8	3. 4	0. 05	0. 005
水位	－	0. 86	1. 51	1. 02	0. 87	0. 61	－	－

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。
(注2)ND：検出せず
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

表３　地下水調査結果（C, 2+40)付近浅井戸の推移

調査地点	(C, 2+40)付近浅井戸						地下水の環境基準	検出下限
調査年月日	H26. 4. 10	H26. 6. 17	H26. 8. 25	H26. 10. 22	H26. 12. 10	H27. 2. 18		
塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	0. 26	0. 023	0. 025	0. 0033	0. 0037	0. 0034	0. 002	0. 0002
1, 2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0. 042	0. 037	0. 063	0. 019	0. 016	0. 012	0. 04	0. 004
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0. 028	0. 040	0. 16	0. 023	0. 042	0. 041	0. 03	0. 002
ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	0. 61	0. 82	0. 49	0. 47	0. 15	0. 23	0. 01	0. 001
1, 4-ｼﾞｵｷｻﾝ	5. 2	0. 94	0. 42	0. 27	0. 12	0. 26	0. 05	0. 005
水位	－	0. 90	1. 60	1. 38	0. 94	0. 61	－	－

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。
(注2)ND：検出せず
(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

表４　地下水調査結果（C,2+40)付近中間井戸の推移

調査地点	(C,2+40)付近中間井戸						地下水の環境基準	検出下限
調査年月日	H26.4.10	H26.6.17	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18		
塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	0.45	0.011	0.31	0.020	0.0051	0.0033	0.002	0.0002
1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.13	0.090	0.49	0.045	0.026	0.018	0.04	0.004
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.030	0.46	0.14	0.034	0.051	0.047	0.03	0.002
ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	3.8	8.5	4.7	4.9	4.2	2.1	0.01	0.001
1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	4.8	11	4.0	3.8	3.7	2.2	0.05	0.005
水位	－	0.91	1.58	1.35	0.95	0.74	－	－

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。

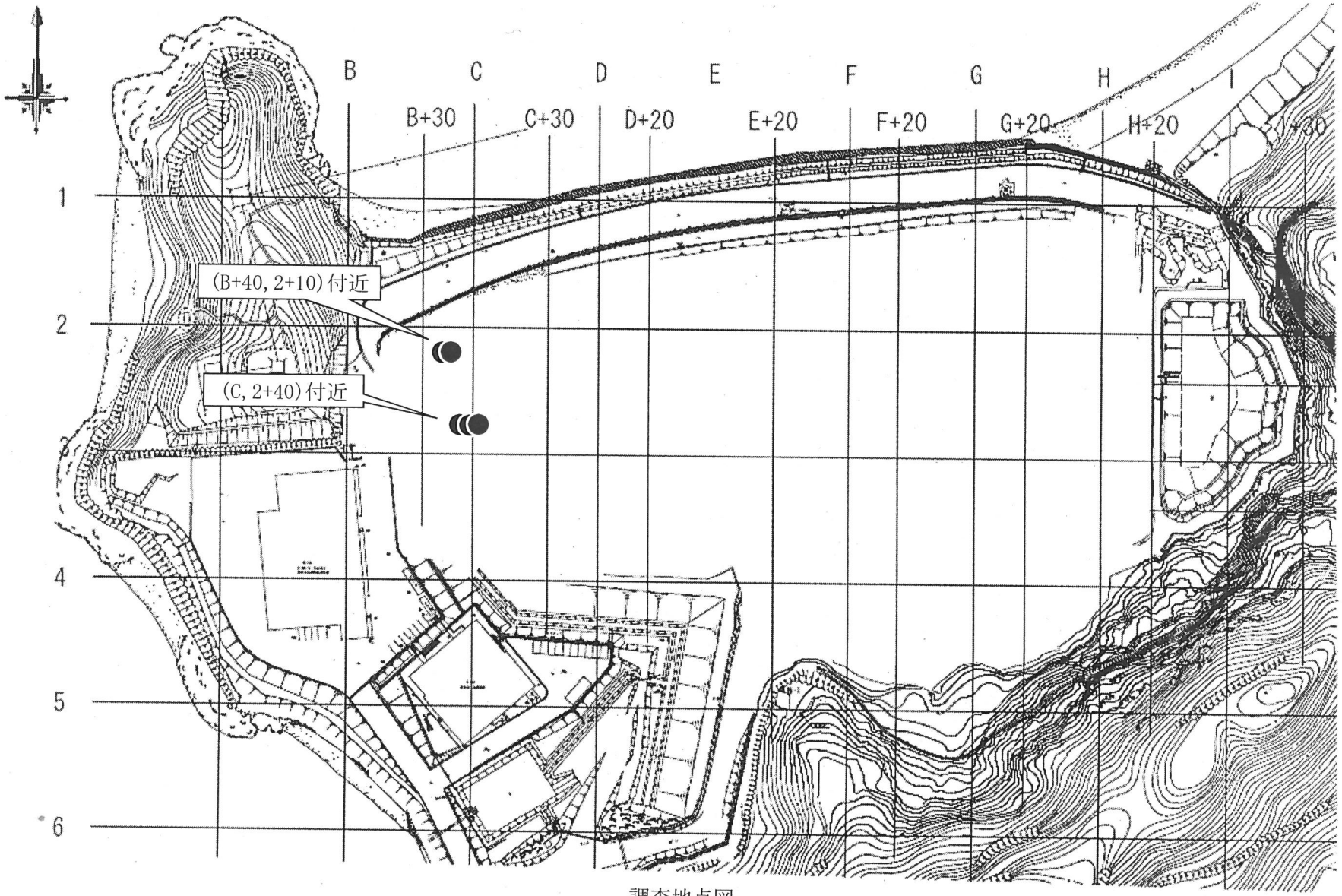
表５　地下水調査結果（C,2+40)付近深井戸の推移

調査地点	(C,2+40)付近深井戸						地下水の環境基準	検出下限
調査年月日	H26.4.10	H26.6.17	H26.8.25	H26.10.22	H26.12.10	H27.2.18		
塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ	0.0037	2.0	0.52	0.31	1.9	3.6	0.002	0.0002
1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	2.0	20	5.8	3.0	15	21	0.04	0.004
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	3.1	30	4.9	3.0	16	11	0.03	0.002
ﾍﾞﾝｾﾞﾝ	3.3	4.6	4.2	4.1	3.6	4.0	0.01	0.001
1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ	5.4	7.0	4.1	3.5	4.7	3.0	0.05	0.005
水位	－	0.91	1.58	1.38	0.96	0.66	－	－

(注1)単位は、水位はm、その他についてはmg/Lである。

(注2)ND：検出せず

(注3)下線は地下水の環境基準を超過しているもの。


B
C
D
E
F
G
H
I
B+30
C+30
D+20
E+20
F+20
G+20
H+20
I+30
1
2
3
4
5
6
(B+40, 2+10)付近
(C, 2+40)付近

調査地点図

中間処理施設における環境計測（排出ガス）結果について

中間処理施設における環境計測は、中間処理施設の運転期間中に廃棄物等の処理を行うことによる環境面を把握することを目的としている。今回、平成26年9月～11月に実施した排出ガスの調査結果を取りまとめた。

1　調査の概要

（1）調査日

平成26年9月26日（金）（1号炉・2号炉）

平成26年11月26日（水）（1号炉・2号炉）

平成26年10月17日（金）（ロータリーキルン炉）

（2）調査地点

中間処理施設（1号炉・2号炉）及びロータリーキルン炉の煙突

（3）検体採取機関及び分析機関

検体採取機関：直島環境センター、県環境保健研究センター

分 析 機 関：県環境保健研究センター

2　結果の概要（表1、表2、表3）

・全ての項目について、管理基準を満足していた。

表１　中間処理施設における環境計測結果（１号炉）

検査項目	単位	１号炉																		管理基準値
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	
ばいじん	g/m³N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.002	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
窒素酸化物	ppm	29	38	35	35	57	47	37	53	46	23	48	41	41	58	48	42	59	50	100
塩化水素	ppm	2.1	3.5	2.6	2.1	22	8.1	3.5	21.5	10.3	10.5	23.6	14.2	1.0	10.9	7.6	6.9	15.0	10.3	40
カドミウム	mg/m³N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.2
鉛	mg/m³N	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	5
水銀	mg/m³N	0.14	0.18	0.15	<0.12	0.18	0.15	<0.12	0.18	0.15	<0.12	0.18	<0.12	<0.12	0.17	0.14	<0.12	0.20	0.16	4
砒素	mg/m³N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/m³N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/m³N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.0016	0.0016	0.0016	0.0011	0.049	0.017	0.042	0.099	0.071	0.02	0.026	0.02	0.021	0.027	0.024	0.00045	0.0054	0.0029	0.1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	24,000	26,900	25,700	24,300	30,200	27,200	26,600	34,900	30,100	29,400	32,900	31,167	28,100	35,900	31,733	23,400	32,700	28,000	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	18,500	21,800	20,000	17,900	24,700	21,200	20,600	27,400	23,300	22,800	25,800	23,717	21,600	29,600	25,550	18,900	25,300	22,300	-
酸素濃度	%	6.1	7.5	7.0	5.7	8.6	7.1	5.5	6.7	6.1	5.2	8.2	6.8	6.6	10.5	8.3	6.2	8.2	7.3	-
排ガス温度	℃	182	189	186	177	203	191	185	209	195	192	205	199	180	193	188	181	192	187	-

（注１）数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

（注２）平成15年度：H15.10.22、H15.11.27、H16.1.20実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類はH15.11.27実施）

平成16年度：H16.4.15、H16.5.14、H16.6.11、H16.7.23、H16.8.10、H16.9.14、H16.10.15、H16.11.25、H16.12.14、H17.1.13、H17.2.15、H17.3.3実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H16.4.15、H16.7.23、H16.10.15、H17.1.13実施）

平成17年度：H17.4.12、H17.6.14、H17.8.11、H17.11.10、H17.12.8、H18.2.23実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H17.4.12、H17.11.10実施）

平成18年度：H18.4.25、H18.6.20、H18.8.10、H18.10.24、H18.12.6、H19.3.2実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H18.4.25、H18.10.24実施）

平成19年度：H19.4.19、H19.6.27、H19.8.7、H19.10.17、H19.12.20、H20.2.19実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H19.4.19、H19.10.17実施）

平成20年度：H20.5.27、H20.7.30、H20.8.21、H20.10.16、H21.1.27、H21.2.12実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H20.7.30、H21.1.27実施）

表1　中間処理施設における環境計測結果（1号炉）

検査項目	単位	1号炉																			管理基準値
		平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度				
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H26.5.27	H26.7.30	H26.9.26	H26.11.26	
ばいじん	g/m³N	<0.001	0.005	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	1.1	0.7	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	1.1	0.7	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	3.3	1.7	2.8	<0.6	<0.6	<0.6	20
窒素酸化物	ppm	40	57	50	51	72	58	31	58	50	61	79	71	58	83	68	61	58	25	29	100
塩化水素	ppm	1.4	12.0	7.0	3.7	13	6.6	<1.2	6.8	3.0	2.0	7.1	3.6	1.0	7.7	3.5	6.2	2.0	4.2	1.8	40
カドミウム	mg/m³N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.2
鉛	mg/m³N	<0.15	0.65	0.23	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	5
水銀	mg/m³N	<0.12	0.20	0.16	<0.12	0.20	0.14	<0.12	0.22	0.14	0.15	0.18	0.14	<0.12	0.13	0.12	<0.12	<0.12	<0.12	<0.12	4
砒素	mg/m³N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/m³N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/m³N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.0035	0.0037	0.0036	0.0023	0.0110	0.0067	0.0037	0.0059	0.0048	0.0010	0.0026	0.0018	0.00038	0.0019	0.0011	-	0.00017	-	-	0.1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	27,800	35,600	31,700	30,000	39,500	33,600	29,100	51,400	38,300	30,400	37,200	33,100	30,500	35,400	32,033	33,200	32,300	33,600	30,300	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	19,000	28,500	23,200	21,500	27,300	23,900	19,400	36,500	26500	21,200	26,000	23,900	20,600	39,200	25,250	19,900	22,600	24,500	22,000	-
酸素濃度	%	7.0	11.8	8.5	5.5	8.7	8.0	8.2	10.5	9.1	7.7	10.6	9.0	7.4	9.6	8.5	8.1	9.2	8.6	8.7	-
排ガス温度	℃	173	191	182	176	179	178	165	177	172	167	176	172	158	178	172	177	176	181	171	-

(注1)数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

(注2)平成21年度：H21.6.3、H21.8.7、H21.8.28、H21.10.21、H22.1.26、H22.2.15実施　(ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H21.8.7、H22.1.26実施)

平成22年度：H22.5.27、H22.7.28、H22.8.11、H22.10.27、H23.2.22、H23.3.10実施　(ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H22.7.28、H23.2.22実施)

平成23年度：H23.5.19、H23.7.28、H23.8.17、H23.11.30、H24.2.17、H24.3.6実施　(ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H23.7.28、H24.2.17実施)

平成24年度：H24.5.29、H24.7.27、H24.8.10、H24.10.23、H25.2.22、H25.3.12実施　(ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H24.7.27、H25.2.22実施)

平成25年度：H25.5.29、H25.7.25、H25.8.13、H25.10.24、H26.2.28、H26.3.11実施　(ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H25.7.25、H26.2.28実施)

表２　中間処理施設における環境計測結果（２号炉）

検査項目	単位	２号炉																		管理基準値
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度			平成19年度			平成20年度			
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	
ばいじん	g/m³N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.007	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.009	0.002	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
窒素酸化物	ppm	38	46	42	43	54	48	40	50	46	38	61	46	35	55	44	36	52	42	100
塩化水素	ppm	2.6	4.1	3.4	1.8	9.0	4.1	4.7	9.1	7.8	3.5	17.6	9.2	5.3	15.0	9.9	10.0	14.0	11.7	40
カドミウム	mg/m³N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.02	0.008	0.2
鉛	mg/m³N	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	0.37	0.19	5
水銀	mg/m³N	0.14	0.25	0.20	<0.12	0.19	0.15	<0.12	0.19	0.15	<0.12	0.14	<0.12	<0.12	0.17	0.13	<0.12	0.2	0.15	4
砒素	mg/m³N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/m³N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/m³N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.0030	0.0030	0.0030	0.00026	0.016	0.010	0.00093	0.018	0.0095	0.0021	0.06	0.04	0.0096	0.015	0.012	0.0040	0.0065	0.0053	0.1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	25,800	26,500	26,200	24,700	32,000	27,500	29,000	34,900	30,300	28,400	34,900	30,800	29,400	33,600	31,017	28,700	34,000	30,400	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	19,600	21,300	20,500	19,400	24,900	21,400	21,700	27,000	23,700	21,100	25,900	23,133	22,900	26,100	24,317	21,800	24,200	23,200	-
酸素濃度	%	5.8	9.0	7.4	6.1	8.4	7.1	6.0	7.0	6	5.2	9.0	6.3	6.5	9.3	7.8	6.3	7.9	7.0	-
排ガス温度	℃	186	188	187	179	201	189	187	199	193	190	209	197	175	200	190	180	196	187	-

(注１)数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

(注２)平成15年度：H15.10.22、H16.1.20実施（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類はH16.1.20実施）

平成16年度：H16.4.15、H16.5.14、H16.6.11、H16.7.23、H16.8.10、H16.9.14、H16.10.15、H16.11.25、H16.12.14、H17.1.13、H17.2.15、H17.3.3実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H16.5.14、H16.8.10、H16.11.25、H17.2.15実施）

平成17年度：H17.4.12、H17.6.14、H17.8.11、H17.11.10、H17.12.8、H18.2.23実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H17.8.11、H18.2.23実施）

平成18年度：H18.4.25、H18.6.20、H18.8.10、H18.10.24、H18.12.6、H19.3.2実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H18.8.10、H19.3.2実施）

平成19年度：H19.4.19、H19.6.27、H19.8.7、H19.10.17、H19.12.20、H20.2.19実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H19.8.7、H19.2.19実施）

平成20年度：H20.5.27、H20.7.30、H20.8.21、H20.10.16、H21.1.27、H21.2.12実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H20.8.21、H21.2.12実施）

表２　中間処理施設における環境計測結果（２号炉）

検査項目	単位	２号炉																		管理基準値
		平成21年度			平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度				
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H26.5.27	H26.7.30	H26.9.26	H26.11.26	
ばいじん	g/m³N	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	0.6	0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	7.1	2.7	1.7	0.7	0.7	1.8	20
窒素酸化物	ppm	41	51	46	40	58	48	45	56	48	26	75	52	57	70	62	59	46	23	25	100
塩化水素	ppm	2.6	6.3	5.3	1.8	14	7.0	<1.2	7.0	3.1	1.5	3.5	2.6	1.0	6.3	3.2	4.1	2.6	2.4	2.5	40
カドミウム	mg/m³N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.2
鉛	mg/m³N	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	5
水銀	mg/m³N	0.08	0.34	0.17	0.16	0.25	0.20	<0.12	0.19	0.15	<0.12	0.14	0.13	<0.12	<0.12	<0.12	0.19	<0.12	<0.12	<0.12	4
砒素	mg/m³N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/m³N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/m³N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.031	0.057	0.044	0.0035	0.0083	0.0059	0.0056	0.0120	0.0090	0.00015	0.013	0.0066	0.0010	0.0011	0.0011	-	-	0.0032	-	0.1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	27,900	35,400	31,900	30,500	36,500	34,000	29,500	59,600	37,300	26,700	40,600	34,600	35,100	40,300	37,633	27,600	34,100	36,000	35,700	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	20,500	28,800	23,500	20,800	28,700	23,800	18,600	37,300	25,000	19,500	28,500	24,700	18,500	29,200	25,533	18,100	22,800	27,000	27,000	-
酸素濃度	%	7.4	9.2	8.5	6.3	8.4	7.5	6.8	8.8	8.0	7.9	8.8	8.4	8.0	10.0	8.9	8.9	9.5	9.7	10.3	-
排ガス温度	℃	179	187	182	174	182	177	176	180	178	170	178	173	145	178	169	173	171	168	162	-

（注１）数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

（注２）平成21年度：H21.6.12、H21.8.7、H21.8.28、H21.10.21、H22.2.15、H22.3.9実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H21.8.28、H22.3.9実施）

平成22年度：H22.5.27、H22.7.28、H22.8.11、H22.10.27、H23.1.31、H23.2.22実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H22.8.11、H23.1.31実施）

平成23年度：H23.5.19、H23.7.28、H23.8.17、H23.11.30、H24.2.17、H24.3.6実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H23.8.17、H24.3.6実施）

平成24年度：H24.5.29、H24.7.27、H24.8.10、H24.10.23、H25.2.22、H25.3.12実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H24.8.10、H25.3.12実施）

平成25年度：H25.5.29、H25.7.25、H25.8.13、H25.10.24、H26.2.28、H26.3.11実施　（ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類は、H25.8.13、H26.3.11実施）

表3　ロータリーキルン炉の排出ガス調査結果

検査項目	単位	ロータリーキルン炉											管理基準値
		H16.12.15	H17.12.6	H18.12.12	H19.12.26	H20.4.18	H21.10.13	H22.10.22	H23.11.18	H24.10.31	H25.10.16	H26.10.17	
ばいじん	g/m³N	<0.001	<0.001	0.002	0.005	0.003	0.001	0.004	0.002	<0.001	<0.001	0.005	0.02
硫黄酸化物	ppm	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	1.8	1.3	3.7	2.2	20
窒素酸化物	ppm	46	62	72	51	75	68	81	66	98	50	58	100
塩化水素	ppm	2.1	12.4	8.7	7.1	3.8	8.0	1.3	3.1	2.3	2.4	1.2	40
カドミウム	mg/m³N	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	0.2
鉛	mg/m³N	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	<0.15	5
水銀	mg/m³N	<0.12	<0.12	<0.12	<0.12	<0.12	<0.12	<0.12	<0.12	<0.12	<0.12	<0.12	4
砒素	mg/m³N	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	<0.0075	0.25
ニッケル	mg/m³N	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	<0.075	2.5
全クロム	mg/m³N	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	<0.6	20
ダイオキシン類	ng-TEQ/m³N	0.0015	0.0082	0.0033	0.026	0.0055	0.0064	0.00093	0.031	0.0051	0.0015	0.0010	0.1
湿り排出ガス量	m³N/Hr	6,600	5,300	6,700	8,500	8,800	8,400	8,700	12,200	6,900	6,300	6,000	-
乾き排出ガス量	m³N/Hr	5,100	4,000	5,300	5,400	5,900	5,700	5,900	8,300	4,900	4,500	4,300	-
酸素濃度	%	13.0	13.6	13.5	14.6	17.1	16.3	14.0	14.4	14.0	14.8	13.8	-
排ガス温度	℃	189	197	182	182	176	168	169	166	166	167	168	-

(注)数値は、残存酸素濃度12%補正値である。

豊島における環境計測（沈砂池）結果について

豊島の沈砂池の環境計測は、放流による環境面を把握することを目的としている。今回、平成26年11月、12月及び平成27年2月に実施した沈砂池1の水質調査結果をとりまとめた。

1　調査の概要

（1）調査日

平成26年11月13日（木）

平成26年12月10日（水）

平成27年2月3日（水）

（2）調査地点（調査地点図参照）

沈砂池1

（3）検体採取機関及び分析機関

県直島環境センター、県環境保健研究センター

2　結果の概要（表1）

・検査を行った全ての項目について、管理基準を満足していた。

表１　豊島における環境計測結果（沈砂池１）

	検査項目	沈砂池１																	管理基準値	検出下限
		H16.5.17	H16.7.5	H16.10.5	H18.5.30	H18.6.30	H18.7.28	H18.9.14	H19.6.5	H19.7.19	H19.10.4	H20.2.12	H20.4.4	H20.5.1	H20.6.5	H20.9.10	H20.10.29	H21.3.24	H21.5.12	
生活環境項目	水素イオン濃度（ｐＨ）	8.2	9.4	7.0	8.9	8.1	8.5	8.2	9.1[1)]	7.9	8.8	7.2	8.1	9.1[1)]	7.5	8.8	8.7	8.0	8.9	5.0～9.0	－
	生物化学的酸素要求量（ＢＯＤ）	3.1	2.8	2.3	1.2	1.5	1.0	0.6	1.9	1.9	1.0	2.2	0.5	1.1	0.9	1.3	0.8	0.6	0.7	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（ＣＯＤ）	4.2	12	5.3	6.5	3.0	2.4	3.1	14	4.3	6.8	4	2.6	3.2	5.2	5.8	4.3	4.7	5.0	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（ＳＳ）	9	16	8	2	2	4	2	2	2	1	2	2	1	1	ND	1	2	3	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	0	4	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	19	－	－	－	－	（日間平均3000）	－
	油分（ｎ-ヘキサン抽出物質）	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	35	0.5
	フェノール類	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	ND	0.30	ND	0.20	0.20	0.11	ND	0.05	ND	0.1	0.16	0.10	0.10	ND	ND	0.08	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	2	0.2
	窒素含有量	1	ND	1.7	3	2	ND	ND	1	ND	1	1	1	ND	ND	ND	ND	1	1	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	シアン化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	1	0.1
	六価クロム化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	検出されないこと	0.0005
	ＰＣＢ	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.2	0.02
	ｼｽ-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	ND	0.2	0.1	－	－	－	－	0.2	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	15	0.8
	ｱﾝﾓﾆｱ、ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ND	ND	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.07
	全マンガン	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	0.4
	ウラン	－	－	－	－	－	－	－	0.0001	－	－	－	－	－	0.0003	－	－	－	－	－	0.0001
	ダイオキシン類	3.2	3.3	15	0.20	1.4	1.2	0.33	0.40	1.6	0.081	1.8	8.3	1.3	0.41	0.060	0.012	1.1	4.2	10	－

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。

(注2)ＮＤ：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

1）植物プランクトン由来の影響によりpH9.1となったが、第6回豊島処分地排水対策検討会で藻類の影響を受けている場合pH9.5まで放流できることとなっている。

表１　豊島における環境計測結果（沈砂池１）

	検査項目	沈砂池１																	管理基準値	検出下限
		H21.7.16	H21.7.29	H21.8.19	H21.12.9	H22.4.8	H22.6.2	H22.7.6	H22.10.14	H23.3.17	H23.5.19	H23.6.3	H23.6.23	H23.7.14	H23.7.25	H23.9.8	H23.9.18	H23.9.26	H23.10.18	
生活環境項目	水素イオン濃度（ｐＨ）	9.0	8.0	8.4	7.7	7.9	8.7	8.5	7.4	6.8	7.7	6.9	7.4	7.5	7.6	7.6	7.7	7.1	7.3	5.0～9.0	－
	生物化学的酸素要求量（ＢＯＤ）	0.8	0.7	0.5	1.1	ND	2.2	0.7	1.2	0.9	1.0	ND	0.5	ND	ND	0.5	0.9	0.8	ND	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（ＣＯＤ）	5.6	4.8	3.6	4.1	4.4	5.5	4.6	5.8	5.5	7.2	4.3	8.0	9.8	12	8.0	7.2	6.2	12	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（ＳＳ）	2	ND	ND	ND	ND	ND	3	1	ND	ND	3	3	3	3	3	3	4	4	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	－	－	0	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	2	－	－	－	－	（日間平均3000）	－
	油分（ｎ－ヘキサン抽出物質）	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	35	0.5
	フェノール類	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	5	0.02
	銅含有量	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	ND	0.07	0.08	0.16	0.20	0.15	0.15	0.13	ND	0.15	ND	0.29	0.10	0.20	0.16	0.16	0.29	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	10	0.4
	クロム含有量	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	2	0.2
	窒素含有量	ND	ND	ND	ND	5	ND	1	5	1	2	1	3	5	7	3	1	2	7	120（日間平均60）	1
	燐含有量	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	シアン化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	1	0.1
	六価クロム化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	検出されないこと	0.0005
	ＰＣＢ	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	ジクロロメタン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.2	0.02
	四塩化炭素	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.2	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.02	0.002
	チウラム	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.06	0.006
	シマジン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.03	0.003
	チオベンカルブ	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.2	0.02
	ベンゼン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	0.9	－	－	－	－	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	15	0.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	100	10
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.07
	全マンガン	－	－	ND	－	－	ND	－	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	－	0.4
	ウラン	－	－	0.0002	－	－	0.0002	－	－	－	－	－	－	－	0.0016	－	－	－	－	－	0.0001
	ダイオキシン類	0.14	2.2	0.15	0.57	0.58	1.0	0.41	0.70	0.22	2.9	2.1	5.1	0.69	0.083	0.19	3.8	0.58	2.8	10	－

(注1)単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。

(注2)ＮＤ：検出せず

(注3)下線：管理基準を満足していない項目

(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

表１　豊島における環境計測結果（沈砂池１）

	検査項目	沈砂池１																	管理基準値	検出下限
		H23.10.31	H23.11.24	H24.6.4	H24.6.22	H24.7.10	H24.10.1	H25.1.24	H25.3.21	H25.6.3	H25.7.8	H25.9.10	H25.9.20	H25.10.28	H26.1.14	H26.3.17	H26.4.8	H26.5.22	H26.7.14		
生活環境項目	水素イオン濃度（ｐＨ）	7.6	8.1	8.3	8.0	8.0	8.2	7.4	8.2	8.7	8.1	7.6	7.6	7.8	8.0	8.1	8.4	8.4	8.0	5.0～9.0	－
	生物化学的酸素要求量（ＢＯＤ）	ND	0.9	ND	ND	ND	ND	1.1	ND	0.7	0.5	ND	1.3	ND	0.7	ND	1.3	ND	0.5	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（ＣＯＤ）	11.0	11	18	9.7	8.6	5.8	4.2	7.6	8.4	5.8	6.8	18	12	8.5	8.7	7.1	9.4	7.4	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（ＳＳ）	1	ND	4	3	1	ND	ND	ND	ND	1	3	ND	3	ND	ND	ND	3	1	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	－	0	－	－	－	－	0	－	－	－	－	0	1	－	－	－	－	－	（日間平均3000）	－
	油分（ｎ－ヘキサン抽出物質）	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	35	0.5
	フェノール類	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	0.06	－	－	－	－	－	5	0.02
	銅含有量	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	0.28	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	ND	ND	0.5	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	0.47	1.8	ND	0.20	0.13	ND	ND	0.11	0.10	ND	ND	ND	0.15	0.05	0.18	0.05	0.05	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.5	0.7	－	－	－	－	－	10	0.4
	クロム含有量	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	2	0.2
	窒素含有量	7	7	5	4	4	ND	1	3	2	2	2	10	6	5	4	2	2	1	120（日間平均60）	1
	燐含有量	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.03	0.003
	シアン化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	1	0.1
	六価クロム化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	検出されないこと	0.0005
	ＰＣＢ	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.1	0.01
	ジクロロメタン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.2	0.02
	四塩化炭素	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.02	0.002
	1,2－ジクロロエタン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.04	0.004
	1,1－ジクロロエチレン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	1	0.02
	シス－1,2－ジクロロエチレン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.4	0.04
	1,1,1－トリクロロエタン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	3	0.3
	1,1,2－トリクロロエタン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.06	0.006
	1,3－ジクロロプロペン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.02	0.002
	チウラム	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.06	0.006
	シマジン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.03	0.003
	チオベンカルブ	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.2	0.02
	ベンゼン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	－	1.9	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	1.5	0.8	－	－	－	－	－	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	15	0.8
	ｱﾝﾓﾆｱ、ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	100	10
	1,4－ジオキサン	－	－	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	ND	ND	－	－	－	－	－	0.5	0.05
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.07
	全マンガン	－	ND	－	－	－	－	ND	－	－	－	－	0.5	0.8	－	－	－	－	－	－	0.4
	ウラン	－	－	－	－	－	－	0.0002	－	－	－	－	－	0.0019	－	－	－	－	－	－	0.0001
	ダイオキシン類	2.4	6.0	0.70	10	5.8	4.6	6.1	7.9	0.29	0.68	9.5	8.5	0.43	1.2	6.0	0.79	9.9	1.5	10	－

(注1)単位は、pH(－)、大腸菌群数(個/cm²)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。
(注2)ＮＤ：検出せず
(注3)下線：管理基準を満足していない項目
(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。

表１　豊島における環境計測結果

	検査項目	沈砂池１						管理基準値	検出下限
		H26.8.19	H26.9.8	H26.10.23	H26.11.13	H26.12.10	H27.2.3		
生活環境項目	水素イオン濃度（ｐＨ）	7.8	8.2	7.9	8.3	8.0	8.1	5.0～9.0	－
	生物化学的酸素要求量（ＢＯＤ）	ND	ND	ND	ND	0.7	ND	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（ＣＯＤ）	5.9	6.4	5.8	6.4	6.2	4.9	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（ＳＳ）	1	2	ND	ND	2	ND	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	－	－	－	0	－	－	（日間平均3000）	－
	油分（ｎ－ヘキサン抽出物質）	－	－	－	ND	－	－	35	0.5
	フェノール類	－	－	－	ND	－	－	5	0.02
	銅含有量	－	－	－	ND	－	－	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	溶解性鉄含有量	ND	ND	ND	ND	0.07	0.07	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	－	－	－	ND	－	－	10	0.4
	クロム含有量	－	－	－	ND	－	－	2	0.2
	窒素含有量	2	2	2	2	2	2	120（日間平均60）	1
	燐含有量	－	－	－	ND	－	－	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	－	－	－	ND	－	－	0.03	0.003
	シアン化合物	－	－	－	ND	－	－	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	－	－	－	ND	－	－	1	0.1
	六価クロム化合物	－	－	－	ND	－	－	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	－	－	－	ND	－	－	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物	－	－	－	ND	－	－	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	－	－	－	ND	－	－	検出されないこと	0.0005
	ＰＣＢ	－	－	－	ND	－	－	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	－	－	－	ND	－	－	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	－	－	－	ND	－	－	0.1	0.01
	ジクロロメタン	－	－	－	ND	－	－	0.2	0.02
	四塩化炭素	－	－	－	ND	－	－	0.02	0.002
	1,2－ジクロロエタン	－	－	－	ND	－	－	0.04	0.004
	1,1－ジクロロエチレン	－	－	－	ND	－	－	1	0.02
	シス－1,2－ジクロロエチレン	－	－	－	ND	－	－	0.4	0.04
	1,1,1－トリクロロエタン	－	－	－	ND	－	－	3	0.3
	1,1,2－トリクロロエタン	－	－	－	ND	－	－	0.06	0.006
	1,3－ジクロロプロペン	－	－	－	ND	－	－	0.02	0.002
	チウラム	－	－	－	ND	－	－	0.06	0.006
	シマジン	－	－	－	ND	－	－	0.03	0.003
	チオベンカルブ	－	－	－	ND	－	－	0.2	0.02
	ベンゼン	－	－	－	ND	－	－	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	－	－	－	ND	－	－	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	－	－	－	0.5	－	－	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	－	－	－	ND	－	－	15	0.8
	ｱﾝﾓﾆｱ、ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	－	－	－	ND	－	－	100	10
	1,4－ジオキサン	－	－	－	ND	－	－	0.5	0.05
その他	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.07
	全マンガン	－	－	－	ND	－	－	－	0.4
	ウラン	－	－	－	0.0010	－	－	－	0.0001
	ダイオキシン類	0.041	0.12	0.44	0.95	2.1	0.97	10	－

(注1)単位は、pH(－)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。
(注2)ＮＤ：検出せず
(注3)下線：管理基準を満足していない項目
(注4)平成18年度より項目、頻度などの見直しを行い、環境計測を実施している。



調査地点図

豊島における環境計測（高度排水処理施設、北揚水井及び西揚水井）結果について

高度排水処理施設の環境計測は、高度排水処理施設の運転期間中に地下水・浸出水の処理を行うことによる環境面を把握することを目的としている。なお、高度排水処理施設は、北揚水井と西揚水井からの揚水を原水として、地下水・浸出水の浄化を行っている。

今回、平成26年10月に実施した高度排水処理施設の処理水並びに平成26年10月及び平成27年2月に実施した高度排水処理施設の原水である北揚水井、西揚水井の水質調査結果についてとりまとめた。

１．調査の概要

（１）調査日

平成26年10月16日（木）

平成27年2月16日（月）（北揚水井及び西揚水井のみ）

（２）調査地点（調査地点図参照）

高度排水処理施設の排出口

高度排水処理施設の原水流入槽（北揚水井）

西揚水井

（３）検体採取機関及び分析機関

採取機関：県直島環境センター

分析機関：県直島環境センター、県環境保健研究センター

２．結果の概要

・高度排水処理施設（表１）、北揚水井（表２）、西揚水井（表３）

高度排水処理施設において処理した処理水は、全ての項目において管理基準を満足していた。

表１　豊島における環境計測結果（高度排水処理施設）

	検査項目	高度排水処理施設																	管理基準値	検出下限
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H18.10.12	H19.10.25	H20.10.21	H21.10.27	H22.10.20	H23.10.20	H24.11.1	H25.11.18	H26.11.16		
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	6.6	7.2	6.8	7.0	7.1	7.1	6.6	7.1	6.9	6.7	6.6	6.4	7.0	6.8	6.7	6.8	6.9	7.2	5.0～9.0	－
	生物化学的酸素要求量（BOD）	3.0	3.6	3.4	1.3	3.1	2.4	0.5	1.6	0.9	0.6	1.0	0.5	ND	ND	0.8	0.8	0.7	2.7	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	4.7	13	9.2	1.1	10	4.4	2.4	7.8	4.9	0.7	12	4.0	12	4.6	3.9	4.0	4.2	12	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（ＳＳ）	ND	1	1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	ND	ND	ND	1	ND	2	ND	ND	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	24	8	0	2	1	0	28	8	0	0	0	0	2	0	0	0	0	（日間平均3000）	－
	油分（ノルマルヘキサン抽出物質含有量）	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	35	0.5
	フェノール類含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5
	溶解性鉄含有量	ND	ND	ND	ND	0.13	0.07	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	窒素含有量	6.7	45	23	4	20	10	2	22	13	3	33	17	18	36	27	7.7	ND	18	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01
	シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	ＰＣＢ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	7.4	15	11	10	18	15	10	15	13	6.3	12	8.8	11	10	9.3	4.9	4.0	8.9	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	0.8	1.0	0.9	ND	ND	ND	ND	1.1	0.9	ND	1.0	ND	0.9	0.8	ND	ND	ND	ND	15	0.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	ND	41.0	17	ND	18.0	12.0	11.0	20.0	14.0	ND	24.0	17.0	10.0	21.0	26.0	ND	ND	ND	100	10
	1,4-ジオキサン																ND	ND	ND	0.5	0.05
その他	ニッケル	ND	0.05	0.05	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.07
	全マンガン	－	－	－	－	－	－	－	－	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.4
	ウラン	－	－	－	－	－	－	－	－	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	－	0.0001
	ダイオキシン類	0	0.014	0.0047	0.00012	0.019	0.0050	0.00062	9.1	2.3	0.00013	0.00060	0.00035	0.00037	0	0.00081	0.0026	0	0	10	－

（注1）単位は、pH(－)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。

（注2）ＮＤ：検出せず

平成15年度：H15.7.22、H15.10.16、H16.2.5実施

平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施

平成17年度：H17.5.10、H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施

表２　豊島における環境計測結果（北揚水井）

	検査項目	北海岸浸出水																				管理基準値（参考）	検出下限
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度					
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H18.10.12	H19.10.25	H20.10.21	H21.10.27	H22.10.20	H23.10.20	H24.11.1	H25.11.18	H26.5.13	H26.7.29	H26.10.16	H27.2.16		
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	7.4	7.4	7.4	7.2	7.5	7.3	7.2	7.4	7.3	7.0	7.2	7.2	7.4	7.1	7.8	7.2	7.2	7.3	7.4	7.4	7.5	5.0～9.0	－
	生物化学的酸素要求量（BOD）	56	93	75	32	120	66	28	41	32	17	96	41	66	63	37	ND	4.1	8.0	14	18	31	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	170	340	255	170	270	208	110	320	185	110	370	252	350	220	77	104	41	63	78	170	150	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（ＳＳ）	4.4	15	9.7	7	17	11	5	7	6	7	7	10	10	4	20	3	7	1	8	14	14	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	0	0	4	80	41	2	276	125	17	44	176	20	20	1	0	0	0	1	3	84	（日間平均3000）	－
	油分（ノルマルヘキサン抽出物質含有量）	8.7	13	11	4.2	9.0	5.6	1.7	3.5	2.6	1.5	3.1	2.5	1.8	3.9	0.8	0.9	1.8	ND	ND	2.4	1.5	35	0.5
	フェノール類含有量	ND	0.7	0.36	0.11	1.9	1.0	0.57	3.5	2.2	0.14	0.10	0.02	ND	0.02	0.14	0.13	0.02	0.04	0.02	0.08	0.09	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	0.65	0.39	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	0.8	0.6	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5
	溶解性鉄含有量	4.5	5.0	4.8	0.55	1.5	0.88	0.20	4.4	2.3	0.64	1.2	ND	0.35	0.46	0.19	0.26	0.10	0.17	0.15	0.21	0.32	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	0.48	0.80	0.64	ND	1.5	1.0	ND	0.7	0.6	0.6	0.8	0.7	0.5	0.5	0.7	0.6	ND	1.7	1.2	0.5	0.68	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	窒素含有量	150	150	150	98	150	114	83	180	123	80	220	138	140	230	27	23	16	38	32	14	12	120（日間平均60）	1
	燐含有量	0.2	0.4	0.3	0.2	0.5	0.3	0.1	0.6	0.4	0.4	0.6	0.5	0.6	0.8	0.3	0.6	ND	0.2	0.2	ND	1.1	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01
	シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	0.01	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND *	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	0.013	0.012	ND	0.012	0.011	ND	0.03	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	ＰＣＢ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02
	シス-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	0.19	1.3	0.75	0.13	0.66	0.34	0.08	1.4	0.49	0.14	0.99	0.73	0.49	0.67	ND	0.89	0.02	0.17	0.09	0.27	0.02	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	16	22	19	13	21	16	12	23	15	10	22	17	17	16	10	9.4	3.8	4.4	7.4	11	12	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	0.9	1.0	1.0	ND	2.3	1.2	0.9	1.3	1.0	1.1	1.1	ND	1.0	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	40	57	49	40	55	44	30	68	44	71	85	99	110	140	ND	23	ND	20	10	ND	ND	100	10
	1,4-ジオキサン																0.07	ND	0.11	0.15	0.46	0.45	0.5	0.05
その他	ニッケル	0.01	0.17	0.09	0.06	0.30	0.17	0.06	0.08	0.07	0.05	0.06	ND	0.05	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05
	モリブデン	ND	ND	ND	ND	0.10	0.08	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	－	0.07
	全マンガン	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.6	0.8	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	ND	－	－	0.6	－	－	0.4
	ウラン	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0.0008	0.0008	0.0008	0.0012	0.0008	0.0006	0.0003	0.0017	－	－	0.0013	－	－	0.0001
	ダイオキシン類	0.7	1.9	1.3	0.29	1.8	1.0	0.58	2.8	1.4	1.4	0.25	0.068	0.058	0.63	23	0.57	4.7	3.0	4.3	6.6	3.4	10	－

（注1）単位は、pH(－)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。

（注2）ＮＤ：検出せず

平成13年度：H13.7.11、H14.2.1実施

平成14年度：H14.10.21、H15.3.24実施

平成15年度：H15.10.16、H16.2.5実施

平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施

平成17年度：H17.5.10、H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施

表３　豊島における環境計測結果（西揚水井）

	検査項目	西海岸浸出水																					管理基準値（参考）	検出下限
		平成15年度			平成16年度			平成17年度			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度					
		最小	最大	平均	最小	最大	平均	最小	最大	平均	H18.10.12	H19.10.25	H20.10.21	H21.11.27	H22.10.20	H23.10.20	H24.11.1	H25.11.18	H26.5.13	H26.7.29	H26.10.16	H27.2.16		
生活環境項目	水素イオン濃度（pH）	7.1	7.2	7.1	6.7	7.3	6.9	6.9	7.2	7.0	6.7	6.8	6.9	7.1	6.7	6.6	7.2	6.8	6.9	8.9	6.8	7.0	5.0～9.0	-
	生物化学的酸素要求量（BOD）	10	51	26	5.7	9.3	7.7	7.3	15	13	8.2	1.7	0.9	3.9	0.8	1.3	3.5	0.8	ND	0.8	ND	0.7	30（日間平均20）	0.5
	化学的酸素要求量（COD）	42	68	56	20	71	39	35	82	63	77	25	21	35	21	19	34	32	8.0	16	6.1	5.3	30（日間平均20）	0.5
	浮遊物質（ＳＳ）	6	35	19	2	16	8	5	37	25	31	17	13	4	5	26	18	4	1	2	ND	3	50（日間平均40）	1
	大腸菌群数	0	27	9	0	0	0	0	38	11	13	0	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	（日間平均3000）	-
	油分（ﾉﾙﾏﾙﾍｷｻﾝ抽出物質含有量）	1.0	2.5	1.8	1.1	5.2	2.6	0.9	2.4	1.6	0.7	0.9	0.7	0.9	1.0	1.1	1.2	1.9	ND	ND	ND	ND	35	0.5
	フェノール類含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.71	0.03	0.06	0.06	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	0.02
	銅含有量	ND	ND	ND	ND	0.66	0.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	亜鉛含有量	ND	ND	ND	ND	1.8	0.9	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.5
	溶解性鉄含有量	0.05	20	8.0	ND	0.8	0.3	0.08	15	4.1	ND	0.75	ND	1.2	0.67	ND	0.15	5.4	1.1	ND	ND	ND	10	0.05
	溶解性マンガン含有量	3.6	12.0	6.9	0.6	4.7	3.1	3.1	9.4	5.5	2.1	4.0	2.7	3.4	2.2	2.0	2.4	0.9	2.3	2.7	1.0	1.5	10	0.4
	クロム含有量	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.2
	窒素含有量	37	52	43	14	52	28	24	55	41	43	13	13	15	8	8	5	17	5	5	4	2	120（日間平均60）	1
	燐含有量	ND	0.1	0.1	ND	ND	ND	ND	0.3	0.2	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	ND	ND	ND	ND	ND	16（日間平均8）	0.1
健康項目	カドミウム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.01
	シアン化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	鉛及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	有機燐化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.1
	六価クロム及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
	砒素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.01	0.02	0.04	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	0.0005
	アルキル水銀化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	検出されないこと	0.0005
	ＰＣＢ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	0.0005
	トリクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.3	0.03
	テトラクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ジクロロメタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	四塩化炭素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	1,2-ジクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.004
	1,1-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	1	0.02
	ｼｽ-1,2-ジクロロエチレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.4	0.04
	1,1,1-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	3	0.3
	1,1,2-トリクロロエタン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	1,3-ジクロロプロペン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
	チウラム	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	0.006
	シマジン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.003
	チオベンカルブ	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.2	0.02
	ベンゼン	0.01	0.04	0.02	ND	0.01	0.01	0.02	0.05	0.04	0.04	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	セレン及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	0.01
	ほう素及びその化合物	3.6	5.6	4.9	1.7	8.0	4.0	3.4	6.5	5.3	5.0	2.3	2.1	2.6	1.6	1.6	3.5	1.8	0.9	1.1	0.8	0.7	230	0.1
	ふっ素及びその化合物	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15	0.8
	ｱﾝﾓﾆｱ、ｱﾝﾓﾆｳﾑ化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	13.0	22.0	16.3	ND	20.0	13.0	8.8	21.0	14.7	40.0	12.0	10.0	10	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	100	10
	1,4ジオキサン																0.12	0.07	ND	ND	ND	ND	0.5	0.05
その他	ニッケル	0.01	0.06	0.04	ND	0.12	0.07	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	0.1	0.05
	モリブデン	ND	0.12	0.095	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	0.07
	全マンガン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	4.0	2.7	4.0	1.8	2.1	2.8	0.8	-	-	1.1	-	-	0.4
	ウラン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0046	0.0013	0.0016	0.0028	0.0012	0.0024	0.0016	0.0057	-	-	0.0007	-	-	0.0001
	ダイオキシン類	0.19	1.1	0.67	0.24	1.8	1.0	0.17	1.4	0.52	0.24	0.32	0.013	0.17	0.17	0.25	0.046	0.0033	0.40	1.4	0.016	0.51	10	-

（注1）単位は、pH(-)、大腸菌群数(個/cm³)、ダイオキシン類（pg-TEQ/ℓ）を除いて、mg/ℓである。

（注2）ＮＤ：検出せず

（注3）下線は管理基準を超過しているもの。

平成15年度：H15.6.23、H15.10.16、H16.2.5実施

平成16年度：H16.5.17、H16.7.5、H16.10.4、H17.1.25実施

平成17年度：H17.5.10、H17.7.12、H17.10.4、H18.1.12実施

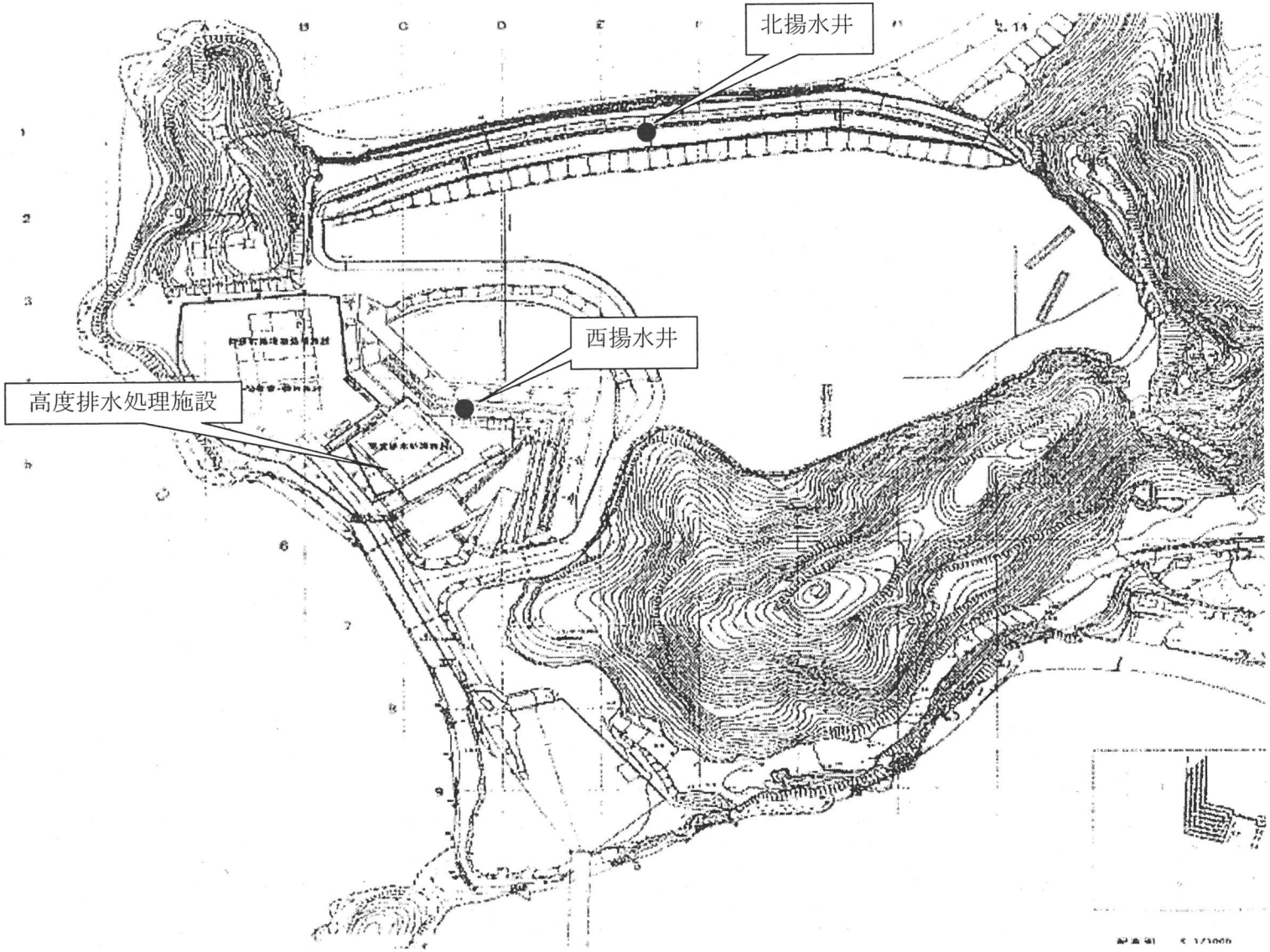


図　豊島における環境計測（高度排水処理施設）調査地点

豊島における環境計測（大気汚染、騒音、振動、悪臭調査）結果について

豊島における環境計測は、廃棄物等の掘削・運搬開始後において、発生源としての環境面を把握することを目的としている。これまで、バックグラウンドを確認する事前環境モニタリング、廃棄物等の掘削・運搬開始後の環境計測を実施しており、今回、平成 26 年 11 月から 12 月及び平成 27 年 3 月に実施した調査結果をとりまとめた。

1．調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事との関連
既に報告済	事前環境モニタリング	平成 10 年 12 月～ 平成 11 年 12 月 （4 回実施）	暫定工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
	掘削・運搬開始後	平成 15 年 5 月 7 日（水） ～5 月 21 日（水） （大気汚染）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 16 年 1 月 20 日（火） ～2 月 3 日（火） （大気汚染、騒音、振動、悪臭）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 16 年 4 月 5 日（月） ～4 月 19 日（月） （大気汚染）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 16 年 7 月 6 日（火） ～7 月 20 日（火） （大気汚染、騒音、振動、悪臭）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 16 年 11 月 11 日（木） ～11 月 25 日（木） （大気汚染、騒音、振動、悪臭）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 17 年 1 月 11 日（月） ～1 月 31 日（月） （大気汚染）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 17 年 10 月 17 日（月） ～10 月 31 日（月） （大気汚染、騒音、振動、悪臭）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 18 年 10 月 17 日（火） ～10 月 31 日（火） （大気汚染、騒音、振動、悪臭）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
		平成 19 年 10 月 10 日（水） ～10 月 25 日（木） （大気汚染、騒音、振動、悪臭）	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。

	調査区分	調査期間	工事との関連
既に報告済	掘削・運搬開始後	平成20年10月30日(木) ～11月21日（金） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
	掘削・運搬開始後	平成21年10月28日(水) ～11月13日（金） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
	掘削・運搬開始後	平成22年10月28日(水) ～11月13日（金） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
	掘削・運搬開始後	平成22年10月19日(火) ～12月20日（月） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
	掘削・運搬開始後	平成23年10月18日(火) ～11月10日（木） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
	掘削・運搬開始後	平成24年10月25日(木) ～11月12日（月） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
	掘削・運搬開始後	平成26年1月7日（火） ～1月22日（水） (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。
今回報告	掘削・運搬開始後	平成26年11月13日(木) ～12月4日（木） 平成27年3月11日(水) ～3月12日(木) (大気汚染、騒音、振動、悪臭)	掘削現場においては廃棄物の掘削作業中であり、中間保管梱包施設、高度排水処理施設は稼動中であった。

2．調査の概要

（1）調査地点（調査地点図参照）

敷地境界

（2）調査、分析機関

県環境保健研究センター

3．調査結果の概要

（1）大気汚染（表1～2）

・事前環境モニタリングの調査結果と比較して、特段の差異は見られなかった。

・すべての項目について、環境基準値を満足していた。

（2）騒音（表3－1、3－2）

・管理基準値を満足していた。

（3）振動（表4）

・管理基準値を満足していた。

（4）悪臭（表5）

・ノルマル酪酸が検出されたが、管理基準値を満足していた。

・その他の項目については、全て検出されず、管理基準値を満足していた。

表1　大気汚染調査結果

区分	調査期間		二酸化硫黄 (ppm)	一酸化窒素 (ppm)	二酸化窒素 (ppm)	窒素酸化物 (ppm)	浮遊粒子状物質 (mg/m³)	一酸化炭素 (ppm)	光化学オキシダント (ppm)
1時間値の最高値	平成26年度	H26.11.13～H26.12.4(注2)	0.011	0.010	0.057	0.057	0.083	0.9	0.052
	平成25年度	H26.1.7～H26.1.22	0.029	0.025	0.029	0.052	0.066	0.9	0.050
	平成24年度	H24.10.25～H24.11.14	0.011	0.008	0.024	0.026	0.062	0.7	0.067
	平成23年度	H23.10.28～H23.11.10	0.010	0.014	0.024	0.037	0.063	0.3	0.064
	平成22年度	H22.12.3～H22.12.20	0.016	0.017	0.031	0.036	0.060	0.9	0.041
	平成21年度	H21.10.28～H21.11.13	0.022	0.013	0.081	0.086	0.077	0.7	0.059
	平成20年度	H20.11.5～H20.11.21	0.018	0.020	0.023	0.037	0.066	0.7	0.040
	平成19年度	H19.10.10～H19.10.25	0.022	0.014	0.023	0.031	0.056	0.6	0.063
	平成18年度	H18.10.17～H18.10.30	0.034	0.020	0.056	0.068	0.091	0.7	0.072
	平成17年度	H17.10.18～H17.10.31	0.027	0.016	0.034	0.043	0.083	1.0	0.054
	平成16年度	最小	0.026	0.031	0.045	0.072	0.060	0.8	0.049
		最大	0.053	0.114	0.076	0.183	0.199	1.3	0.079
		平均	0.036	0.074	0.058	0.117	0.124	1.1	0.064
	平成15年度	最小	0.028	0.034	0.051	0.075	0.067	0.8	0.055
		最大	0.029	0.188	0.074	0.248	0.075	1.1	0.093
		平均	0.029	0.111	0.063	0.162	0.071	1.0	0.074
	事前環境モニタリング 最低～最高		0.025～0.035	0.036～0.093	0.045～0.089	0.082～0.135	0.057～0.092	0.39～0.90	0.047～0.073
1日平均値の最高値	平成26年度	H26.11.13～H26.12.4(注2)	0.005	0.002	0.022	0.024	0.028	0.4	0.042
	平成25年度	H26.1.7～H26.1.22	0.007	0.004	0.019	0.022	0.028	0.4	0.040
	平成24年度	H24.10.25～H24.11.14	0.006	0.001	0.011	0.012	0.033	0.4	0.045
	平成23年度	H23.10.28～H23.11.10	0.004	0.003	0.019	0.022	0.035	0.3	0.043
	平成22年度	H22.12.3～H22.12.20	0.006	0.007	0.020	0.027	0.032	0.4	0.036
	平成21年度	H21.10.28～H21.11.13	0.009	0.003	0.033	0.035	0.059	0.5	0.029
	平成20年度	H20.11.5～H20.11.21	0.007	0.013	0.014	0.027	0.040	0.4	0.027
	平成19年度	H19.10.10～H19.10.25	0.010	0.008	0.013	0.021	0.031	0.3	0.048
	平成18年度	H18.10.17～H18.10.30	0.014	0.006	0.025	0.030	0.070	0.5	0.041
	平成17年度	H17.10.18～H17.10.31	0.014	0.005	0.022	0.027	0.044	0.8	0.044
	平成16年度	最小	0.013	0.009	0.024	0.040	0.032	0.6	0.039
		最大	0.022	0.027	0.049	0.072	0.055	1.0	0.050
		平均	0.016	0.019	0.035	0.052	0.047	0.8	0.043
	平成15年度	最小	0.010	0.013	0.031	0.043	0.044	0.5	0.047
		最大	0.015	0.025	0.042	0.055	0.053	0.8	0.057
		平均	0.013	0.019	0.037	0.049	0.049	0.7	0.052
	事前環境モニタリング 最低～最高		0.0109～0.182	0.0120～0.0238	0.0239～0.0380	0.0325～0.0615	0.0334～0.0702	0.20～0.47	0.0321～0.0460
1時間値の期間平均値	平成26年度	H26.11.13～H26.12.4(注2)	0.003	0.001	0.011	0.011	0.015	0.3	0.029
	平成25年度	H26.1.7～H26.1.22	0.004	0.001	0.009	0.010	0.016	0.3	0.030
	平成24年度	H24.10.25～H24.11.14	0.002	0.001	0.006	0.007	0.020	0.2	0.037
	平成23年度	H23.10.28～H23.11.10	0.002	0.001	0.009	0.010	0.018	0.2	0.033
	平成22年度	H22.12.3～H22.12.20	0.003	0.002	0.011	0.013	0.016	0.3	0.024
	平成21年度	H21.10.28～H21.11.13	0.003	0.001	0.012	0.014	0.025	0.3	0.014
	平成20年度	H20.11.5～H20.11.21	0.002	0.011	0.006	0.017	0.018	0.2	0.020
	平成19年度	H19.10.10～H19.10.25	0.004	0.007	0.005	0.012	0.018	0.2	0.041
	平成18年度	H18.10.17～H18.10.30	0.009	0.003	0.014	0.018	0.031	0.3	0.035
	平成17年度	H17.10.18～H17.10.31	0.008	0.002	0.009	0.011	0.021	0.6	0.036
	平成16年度	最小	0.007	0.004	0.014	0.017	0.018	0.5	0.027
		最大	0.014	0.010	0.029	0.039	0.034	0.7	0.034
		平均	0.009	0.007	0.019	0.026	0.029	0.6	0.030
	平成15年度	最小	0.007	0.005	0.014	0.019	0.018	0.4	0.037
		最大	0.008	0.007	0.017	0.024	0.035	0.6	0.045
		平均	0.008	0.006	0.016	0.022	0.027	0.5	0.041
	事前環境モニタリング 最低～最高		0.0058～0.0095	0.0051～0.0074	0.0125～0.0188	0.0181～0.0262	0.0191～0.0372	0.10～0.26	0.0204～0.0304
環境基準			1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	－	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。	－	1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m³以下であること。	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。	1時間値が0.06ppm以下であること。

注）事前環境モニタリング：H11.1.6～1.20、H11.6.14～6.9、H11.9.7～9.21、H11.11.9～11.24実施
平成15年度：H15.5.7～5.21、H16.1.20～2.3実施
平成16年度：H16.4.5～4.19、H16.7.6～7.20、H16.11.12～11.25、H17.1.18～1.31実施

注2）浮遊粒子状物質の計測期間はH26.11.13～11.21及びH26.11.27～H26.12.4である。その他の項目の計測期間はH26.11.13～12.4である。

表2　大気中の重金属等の濃度

調査項目	単位	敷地境界																	環境基準
		平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度			平成15年度			事前環境モニタリング	
		H26.11.13～H26.11.27	H26.1.7～H26.1.22	H24.10.25～H24.11.12[注3]	H23.10.18～H23.11.10	H22.10.19～H22.11.11	H21.10.28～H21.11.13	H20.10.30～H20.11.13	H19.10.10～H19.10.25	H18.10.17～H18.10.31	H17.10.17～H17.10.31	最小	最大	平均	最小	最大	平均		
ベンゼン	μg/m³	1.1	1.6	1.6	0.47	1.0	3.4	1.6	0.7	2.0	0.9	1.4	2.1	1.8	0.93	1.5	1.2	1.8 (1.0～3.2)	年平均値3
トリクロロエチレン	μg/m³	0.11	0.20	0.42	0.05	0.25	0.17	0.17	0.07	0.25	0.27	0.09	0.56	0.27	0.10	0.11	0.11	0.13 (<0.10～0.28)	年平均値200
テトラクロロエチレン	μg/m³	0.08	0.33	0.18	0.05	0.15	0.10	0.14	0.06	0.11	0.11	0.07	0.32	0.15	0.09	0.10	0.10	0.075 (<0.10～0.15)	年平均値200
ジクロロメタン	μg/m³	0.49	1.4	0.89	0.46	1.9	3.9	0.8	1.7	1.2	2.3	1.4	2.9	2.1	1.1	2.8	2.0	－	年平均値150
ダイオキシン類	pg-TEQ/m³	0.028	0.24	0.015	0.042	0.041	0.043	0.050	0.014	0.035	0.015	0.021	0.045	0.033	0.010	0.019	0.015	0.056 (0.035～0.080)	0.6
カドミウム及びその化合物	ng/m³	<0.2	1.4	0.9	0.5	1.7	0.8	3.0	2.8	3.0	3.7	4.5	8.5	6.4	1.5	7.1	4.3	3.2 (1.7～4.8)	－
鉛及びその化合物	ng/m³	12	21	15	5.2	13	12	30	36	31	26	23	50	40	17	47	32	38 (27～50)	－
ひ素及びその化合物	ng/m³	0.30	6.8	1.8	1.1	0.82	2.2	8.3	4.3	2.6	5.0	1.3	4.7	3.5	0.8	3.2	2.0	5.3 (0.9～13)	－
ニッケル及びその化合物	ng/m³	12	4.3	3.2	2.0	1.3	14	6.6	5.1	8.4	3.9	3.3	19	8.8	3.2	10	6.6	7.5 (5.4～9.5)	－
クロム及びその化合物	ng/m³	6.0	2.0	2.4	1.4	2.9	3.2	5.1	3.5	6.5	2.7	1.5	5.5	3.2	2.5	4.3	3.4	2.9 (1.0～4.7)	－
水銀及びその化合物	ng/m³	2.3	0.99	2.2	1.7	2.6	2.9	1.7	1.1	1.5	1.2	1.1	2.5	1.9	1.9	2.0	2.0	2.3 (0.5～3.5)	－

注1）VOCs、水銀及びその化合物はサンプリング期間のうちの1日のみ、ダイオキシン類は1週間のみである。

注2）事前環境モニタリング：H11.1.6～1.20、H11.6.14～6.29、H11.9.7～9.21、H11.11.9～11.24実施

平成15年度：H15.5.7～5.21、H16.1.20～2.3実施

平成16年度：H16.4.5～4.19、H16.7.6～7.20、H16.11.12～11.26、H17.1.11～1.26実施

注3）VOCsのｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ期間はH24.10.25～10.26である。水銀及びその化合物のｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ期間はH24.11.6～11.7である。重金属類のｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ期間はH24.10.25～11.12である。ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類のｻﾝﾌﾟﾘﾝｸﾞ期間はH24.10.25～11.6である。

表３-１　騒音調査結果(L50、L5)

（単位：ｄＢ(A)）

時刻	時間の区分	L50 平成26年度 H26.11.13～H26.11.14		平成25年度 H26.1.7～H26.1.8		平成24年度 H24.10.29～H24.10.30		平成23年度 H23.10.19～H23.10.20		平成22年度 H22.10.21～H22.10.22		平成21年度 H21.10.28～H21.10.29		平成20年度 H20.10.30～H20.10.31		平成19年度 H19.10.11～H19.10.12		平成18年度 H18.10.19～H18.10.20		平成17年度 H17.10.19～H17.10.20		平成16年度 最小	最大	平均	平成15年度	事前環境モニタリング H10.12～H11.12
10時																46		41								
11時																46		41								
12時																45		40		45						
13時																45		41		45						
14時	昼	42		47		46		41				42		40		45	46	41	43	45						
15時		42		47		46		41				38		40		45		41		45	45	44	47	46	46	
16時		41	41	48	48	46	45	43	42	46		40	41	41	42	46		43		48						38～47
17時		40		48		45		44		46	46	43		42		46		43		47						
18時		39		48		44		48		47		44		43		49		51		46						
19時		39		48		43		51		48		44		45		53		54		46						
20時	夕	39	39	48	48	44	44	52	52	50	49	44	44	45	45	55	54	54	54	47	47	47	47	47	44	35～60
21時		39		47		44		53		49		44		44		55		53		47						
22時		39		47		43		55		49		44		44		56		53		46						
23時		39		47		44		51		50		44		43		55		53		46						
0時		39		47		44		48		47		43		43		55		52		46						
1時	夜	39	39	47	47	43	43	45	47	47	47	43	43	43	43	54	52	52	50	46	46	47	47	47	47	37～57
2時		39		47		43		45		46		42		43		52		51		45						
3時		39		47		43		44		46		41		44		48		49		45						
4時		39		48		42		43		46		41		43		48		44		45						
5時		42		49		43		43		46		42		43		47		43		45						
6時	朝	44	43	49	49	42	42	43	43	47	47	42	43	43	43	47	47	43	43	45	45	44	47	46	47	36～47
7時		42		48		42		43		47		43		42		47		44		45						
8時		41		49		45		43		47		43		42		46		44		45						
9時		42		48		45		42		46		42		43		46		43		45						
10時		42		48		44		40		46		41		44						44						
11時	昼	41		48		43		40		46		40		45						44						
12時		42		48		46		39		46		39		45												
13時		43		50		47		41		46		39		42												
14時										45																
15時										45																

時刻	時間の区分	L5 平成26年度 H26.11.13～H26.11.14		平成25年度 H26.1.7～H26.1.8		平成24年度 H24.10.29～H24.10.30		平成23年度 H23.10.19～H23.10.20		平成22年度 H22.10.21～H22.10.22		平成21年度 H21.10.28～H21.10.29		平成20年度 H20.10.30～H20.10.31		平成19年度 H19.10.11～H19.10.12		平成18年度 H18.10.19～H18.10.20		平成17年度 H17.10.19～H17.10.20		平成16年度 最小	最大	平均	平成15年度	事前環境モニタリング H10.12～H11.12
10時																47		46								
11時																48		44								
12時																48		45		47						
13時																48		47		47						
14時	昼	45		49		51		48				52		48		49	49	45	47	47						
15時		46		48		51		45				45		47		48		45		46	48	49	50	50	50	
16時		44	47	49	50	52	51	47	47	53		47	48	48	49	49		47		52						44～50
17時		41		49		52		45		49	50	47		49		50		48		50						
18時		41		48		47		53		49		49		51		52		54		48						
19時		40		48		45		58		54		49		51		57		57		49						
20時	夕	40	40	48	48	46	46	58	58	54	54	50	50	50	52	59	58	57	56	50	50	48	49	49	46	41～62
21時		40		48		46		58		53		50		55		59		56		50						
22時		40		48		45		60		54		50		52		59		57		49						
23時		40		48		46		58		54		49		49		59		57		49						
0時		40		48		46		57		52		49		50		58		56		48						
1時	夜	40	41	48	48	45	45	49	51	50	50	50	48	47	48	57	55	56	53	48	47	47	49	48	49	41～58
2時		40		48		46		48		49		48		49		56		55		47						
3時		40		48		44		45		47		44		46		51		55		46						
4時		40		49		44		44		48		49		45		48		46		47						
5時		48		50		44		44		47		47		45		48		45		47						
6時	朝	54	53	50	50	45	48	46	48	49	49	45	48	46	47	48	49	46	48	48	49	48	52	50	51	43～49
7時		51		50		51		49		49		50		48		50		50		50						
8時		50		50		50		48		52		50		49		49		50		48						
9時		50		51		53		49		50		47		48		49		52		49						
10時		52		50		48		46		49		50		48						47						
11時	昼	53		50		50		43		48		44		48						45						
12時		50		51		52		43		51		48		49												
13時		50		51		52		47		48		47		49												
14時										47																
15時										50																

表3-2　騒音結果(L95、Leq)

（単位：ｄＢ(Ａ)）

時刻	時間の区分	L95 平成26年度 H26.11.13～H26.11.14	L95 平成25年度 H26.1.7～H26.1.8	L95 平成24年度 H24.10.29～H24.10.30	L95 平成23年度 H23.10.19～H23.10.20	L95 平成22年度 H21.10.28～H21.10.29	L95 平成21年度 H21.10.28～H21.10.29	L95 平成20年度 H20.10.30～H20.10.31	L95 平成19年度 H19.10.11～H19.10.12	L95 平成18年度 H18.10.19～H18.10.20	L95 平成17年度 H17.10.19～H17.10.20	L95 平成16年度 最小	L95 平成16年度 最大	L95 平成16年度 平均	L95 平成15年度	L95 事前環境モニタリング H10.12～H11.12
10時	昼								45	41						
11時									45	40						
12時									44	40	44					
13時									44	40	44					
14時		41	46	43	39		38	39	44	40	44					
15時		40	46	43	39		37	39	45	40	44					
16時		40	47	42	41	45	39	39	45	41	46					36～46
17時		39	47	42	43	45	41	40	46	41	45					
18時		39	47	42	44	47	43	41	46	49	45					
19時	夕	39	47	41	48	47	42	42	50	52	45					
20時		39	47	42	49	48	42	41	53	51	46					30～59
21時		39	47	42	50	47	42	40	53	51	45					
22時	夜	39	47	41	50	47	42	41	53	51	45					
23時		39	47	41	48	47	41	41	52	51	45					
0時		39	47	42	45	46	41	41	52	50	45					
1時		39	47	41	44	46	41	41	51	49	45					
2時		39	47	41	43	46	41	41	49	49	45					
3時		39	47	41	43	46	41	42	48	45	44					
4時		39	47	41	42	46	41	42	47	43	44					
5時		40	48	41	42	46	41	41	48	43	45					
6時	朝	41	48	41	42	46	41	41	46	42	44					
7時		40	47	41	42	46	41	41	46	42	44					
8時	昼	40	48	43	42	46	41	42	45	42	44					
9時		40	48	42	41	45	41	41	45	42	44					
10時		40	48	42	39	45	40	41			44					
11時		40	48	42	39	45	39	43			43					
12時		41	47	44	38	45	37	43								
13時		41	49	45	40	45	38	41								
14時						45										
15時						44										

時間の区分	Leq 平成26年度 H26.11.13～H26.11.14	Leq 平成25年度 H26.1.7～H26.1.8	Leq 平成24年度 H24.10.29～H24.10.30	Leq 平成23年度 H23.10.19～H23.10.20	Leq 平成22年度 H22.10.21～H22.10.22	Leq 平成21年度 H21.10.28～H21.10.29	Leq 平成20年度 H20.10.30～H20.10.31	Leq 平成19年度 H19.10.11～H19.10.12	Leq 平成18年度 H18.10.19～H18.10.20	Leq 平成17年度 H17.10.19～H17.10.20	Leq 平成16年度 最小	Leq 平成16年度 最大	Leq 平成16年度 平均	Leq 平成15年度	Leq 事前環境モニタリング H10.12～H11.12
昼	43	49	47	45		46	43	46	43						
	43	47	48	44		41	42	46	42	46					
	42	48	48	45	48	43	43	47	42	45					
	40	48	48	44	47	44	44	47	43	46					
	40	48	45	50	48	44	45	47	43	46					
	39	48	43	54	49	46	46	54	45	47					41～54
	39	48	44	54	51	46	46	56	54	47					
	39	47	44	54	50	46	49	56	54	47					
夜	39	47	43	56	51	46	47	56	54	47					
	39	47	44	54	51	45	45	56	54	47					
	39	47	44	51	48	45	45	56	53	46					
	40	48	43	46	48	45	45	54	53	46					
	39	48	43	45	47	43	46	53	52	46					
	40	47	43	44	46	42	44	49	50	45					
	39	48	42	43	47	44	43	48	48	44					
	48	49	42	43	46	43	43	47	44	46					39～58
昼	50	49	43	43	47	43	44	47	45	46					
	49	48	48	48	47	48	45	47	46	46					
	49	49	48	47	48	49	46	47	46	46					
	46	49	48	44	48	44	45	49	47	49					
	49	49	45	43	47	41	46	48	47	45					
	46	50	49	42	47	42	46	47	47	46					
	48	51	48	43	48	42	45	47	46	46					
					46					44					
					47					45					

L50:騒音レベルの中央値、L5，L95：90%レンジ値、Leq：等価騒音レベル

注）事前環境モニタリング：H10.12～H11.12実施、平成15年度：H16.1.21～1.22実施、平成16年度：H16.7.7～H16.7.8、H16.11.12～H16.11.13実施

（参考）

項　目	管理基準値※1	騒音規制法の規制基準※2
昼間（8:00～19:00）	65	65
朝（ 6:00～ 8:00） 夕（19:00～22:00）	60	60
夜間（22:00～6:00）	50	50

※1　技術検討委員会で決定

※2　第二種区域の規制基準

表4　振動調査結果

| 時刻 | 時間の区分 | L50 | | |

表５　悪臭調査結果

単位：ppm（v/v）

調査日 / 悪臭物質	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	平成19年度	平成18年度	平成17年度	平成16年度			平成15年度	事前環境モニタリング	管理基準値	報告下限
	H26.11.13	H26.1.7	H24.10.25	H23.10.18	H22.10.19	H21.10.28	H20.10.30	H19.10.10	H18.10.17	H17.10.17	最小	最大	平均				
アンモニア	ND	ND	ND	0.4	ND	ND	ND	ND	0.1	ND	ND	ND	ND	ND	ND	2	0.1
メチルメルカプタン	ND	0.0003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0003
硫化水素	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.06	0.001
硫化メチル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	0.0003
二硫化メチル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.0003
トリメチルアミン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	0.001	ND	ND	0.02	0.001
アセトアルデヒド	ND	ND	0.0029	0.0043	0.0014	0.003	0.005	0.008	0.0051	0.0079	0.0028	0.0163	0.0096	ND	0.0017	0.1	0.0005
プロピオンアルデヒド	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0015	ND	ND	0.0012	0.0009	ND	ND	0.1	0.0005
ノルマルブチルアルデヒド	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.0006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	0.0005
イソブチルアルデヒド	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	0.0005
ノルマルバレルアルデヒド	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.002
イソバレルアルデヒド	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	0.002
イソブタノール	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.02	0.02	0.02	0.02	4	0.01
酢酸エチル	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.01	ND	0.01	0.01	ND	0.03	7	0.01
メチルイソブチルケトン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	0.01	0.01	ND	0.01	3	0.01
トルエン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	30	0.01
スチレン	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.8	0.01
キシレン	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	2	0.01
プロピオン酸	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	0.003
ノルマル酪酸	0.0001	ND	ND	ND	0.0001	ND	ND	ND	0.0005	0.0014	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0001
ノルマル吉草酸	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.002	0.0001
イソ吉草酸	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.004	0.0001

注）事前環境モニタリング：H10.12～H11.12実施

平成15年度：H16.1.20実施、平成16年度：H16.7.6、H16.11.11実施

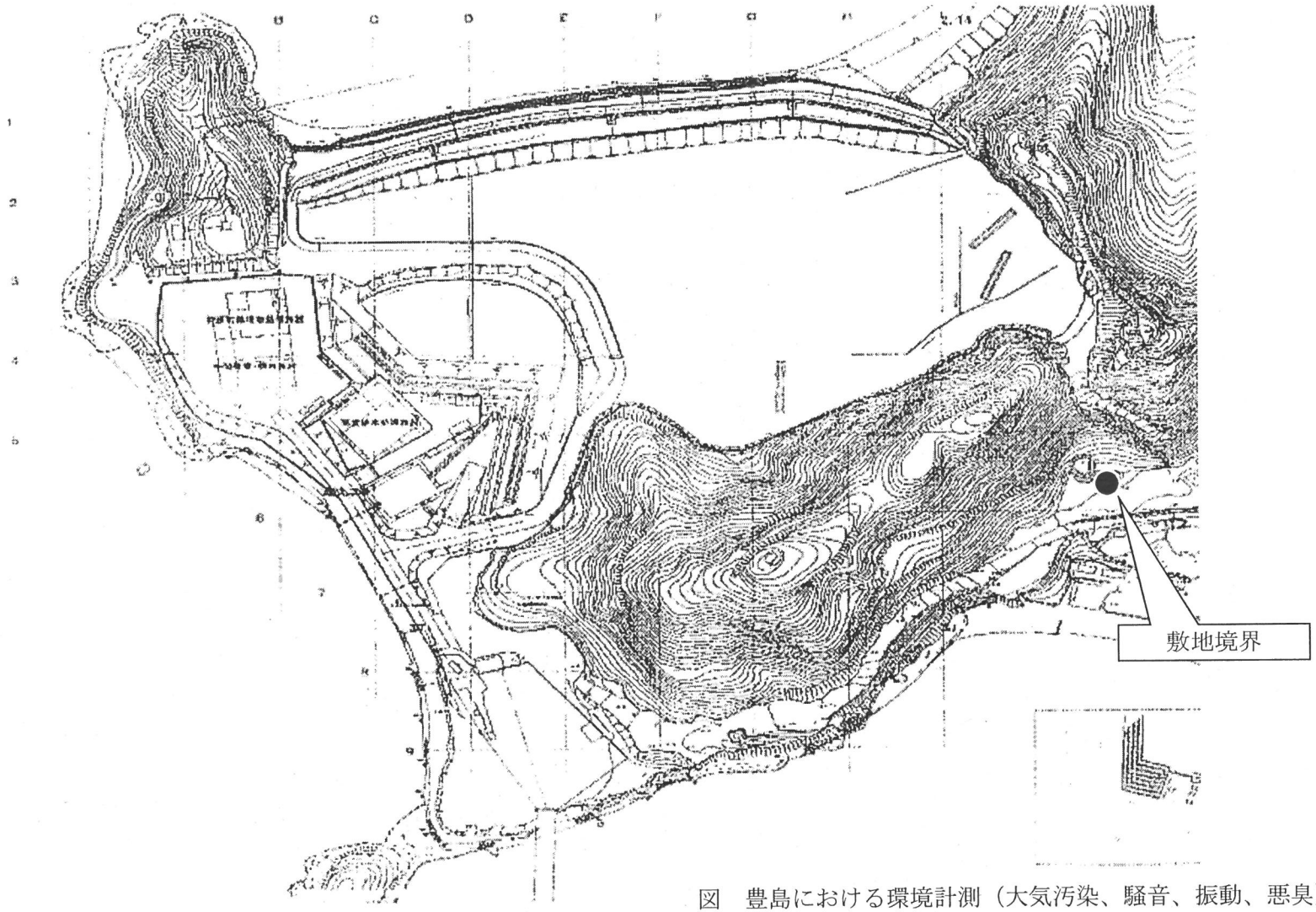


図　豊島における環境計測（大気汚染、騒音、振動、悪臭）調査地点

豊島における周辺環境モニタリング（水質・底質）結果について

豊島における周辺環境モニタリングは、暫定的な環境保全措置の実施、高度排水処理施設等の建設・運転時、廃棄物等の掘削・運搬の開始後のそれぞれの段階において、周辺環境への影響を把握することを目的としており、これまで、バックグラウンドを確認する事前環境モニタリング、工事前及び工事中、掘削･運搬の開始後の周辺地先海域及び海岸感潮域における調査を順次実施してきた。

今回、平成26年8月に実施した水質及び底質調査結果並びに平成26年11月及び平成27年1月に実施した水質調査結果をとりまとめた。

1　調査の経緯

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	事前環境モニタリング	平成10年12月～平成11年12月（４回実施）	暫定工事の開始前に、バックグラウンドを確認するため実施した。
	暫定的な環境保全措置工事前	平成12年7月27日（木）	事前環境モニタリング終了後、暫定工事開始前に実施した。
	暫定的な環境保全措置工事中	平成13年7月18日（水）	北海岸では本矢板の打設が終了しており、東側のドレーン工を実施していた。また、東側雨水排水路、透気遮水シートの施工中であり、西海岸においては掘削作業を実施していた。
		平成14年2月1日（金）	西海岸では埋め戻し施工中、西海岸北東部では透気遮水シート、水路の施工中であった。
	中間保管梱包施設、高度排水処理施設建設工事中	平成14年7月23日（火）	中間保管梱包施設のピット部の基礎工事、高度排水処理施設の水槽部の基礎工事を実施していた。
		平成15年2月6日（木）	中間保管梱包施設の内部仕上げ及び外構工事、高度排水処理施設の無負荷運転を実施していた。
	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成15年5月15日（木）（水質調査）	中間処理施設試運転のため、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成15年7月14日（月）（水質調査、底質調査）	
		平成15年10月24日（金）（水質調査、底質調査）	中間処理施設本格稼動後、廃棄物等の掘削・運搬作業及び高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年2月10日（火）（水質調査）	掘削現場の場内整備、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年6月1日（火）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年7月29日（木）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成16年11月2日（火）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年1月14日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年5月23日（月）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年7月21日（木）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成17年11月7日（月）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年1月18日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削･運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成18年5月26日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年8月8日（金）（水質調査、底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成18年11月27日（月）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年1月24日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年6月14日（木）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年8月27日（月）（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成19年11月15日（木）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年1月25日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年5月21日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年8月27日（水）（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成20年11月17日（月）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年1月28日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年5月21日（木）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年8月19日（水） 平成21年8月20日（木）（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成21年11月6日（金）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年1月20日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年5月27日（木）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年8月30日（月）（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成22年11月11日（木）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成23年1月24日（月） 平成23年1月25日（火）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成23年6月29日（水）（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。

	調査区分	調査期間	工事、運転等との関連
報告済	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成23年8月26日(金)（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成23年11月17日(木)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年1月27日(金)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年5月16日(水)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年8月2日(木)（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成24年11月19日(月)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年1月17日(木)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年5月22日(水)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年8月19日(月)（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成25年11月8日(金)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年1月22日(水)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年5月26日(水)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
今回報告	廃棄物等の掘削・運搬中、高度排水処理施設等の運転中	平成26年8月7日(木)（水質調査・底質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成26年11月12日(水)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。
		平成27年1月26日(月)（水質調査）	廃棄物等の掘削・運搬作業、高度排水処理施設等の運転を実施していた。

2　調査の概要

1）調査地点（調査地点図参照）　ただし底質調査は8月のみ

①周辺地先海域

○水質調査

St-3（西海岸沖）、St-4（北海岸沖）及びSt-8（北海岸沖）

○底質調査

St-3（西海岸沖）及びSt-4（北海岸沖）

②海岸感潮域

○水質調査及び底質調査

St-A（西海岸）、St-B（北海岸）及びSt-E（北海岸）

（2）検体採取機関及び分析機関

①検体採取機関：県廃棄物対策課、県直島環境センター、県環境保健研究センター

②分　析　機　関：県直島環境センター、県環境保健研究センター、四国計測工業(株)

3　調査結果の概要

（1）周辺地先海域

①水質（表1）

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目（生活環境保全上の基準：8項目）

・8 月調査時に全ての地点において、溶存酸素量（DO）及び全リンが環境基準を満足しなかった。また、11 月及び1月の調査時には全窒素についても満足していなかった。

・それ以外の項目については、全ての地点において、環境基準を満足していた。

○健康項目（人の健康を保護する上での基準：２６項目）

・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が全ての地点において検出されたが、環境基準を満足していた。

・それ以外の項目については、全ての地点において検出されず、環境基準を満足していた。

○その他の項目（4項目）

・ニッケル、アンチモンについては、全て検出されなかった。

・モリブデンが、全ての地点において検出された。

○ダイオキシン類

・全ての地点において環境基準を満足していた。

②底質（表2）

・事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

・総水銀が全ての地点において検出されたが、暫定除去基準を満足していた。

・ＰＣＢは全ての地点で検出されず、暫定除去基準を満足していた。

・ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。

（2）海岸感潮域

①水質（表3）

事前環境モニタリングをはじめとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

○一般項目（7項目）

・全ての項目及び地点で、管理基準値を満足していた。

○健康項目（26 項目）

・8 月調査時に硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が全ての地点において検出されたが、管理基準値を満足していた。また、11 月及び1月調査時では北海岸 St-B の地点においては検出されなかった。

・1 月調査時に 1,4-ジオキサンが北海岸 St-E の地点において検出されたが、管理基準値を満足していた。

・それ以外の項目については、全ての地点において検出されず、管理基準値を満足していた。

○その他の項目(4 項目)

・8 月調査時にはモリブデンが全ての地点において、検出されたが、11 月調査時には西海岸 St-A の地点においてのみ検出された。

・8 月調査時にアンチモンが西海岸 St-A において検出されたが、11 月調査時には全ての地点で検出されなかった。

・ニッケルについては、全ての地点で検出されなかった。

○ダイオキシン類

・全ての地点において、管理基準値を満足していた。

②底質（表４）

事前環境モニタリングを初めとするこれまでの調査結果と比べて、特段の差異はみられなかった。

・総水銀及びＰＣＢは、全ての地点において、検出されなかった。

・ダイオキシン類は、ダイオキシン類対策特別措置法の底質環境基準を満足していた。

表１　豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域水質）

（大腸菌群数の単位：MPN/100ml、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類：pg-TEQ/L、ｐＨを除く単位：mg/L）

測定場所＼測定項目	調査日		ｐH	COD	DO	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	ｱﾙｷﾙ水銀	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	六価クロム	ひ 素	全ｼｱﾝ	ＰＣＢ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ
南海岸沖　St-1	H13.7.18		7.7	1.3	6.9	ND	2.0	0.12	0.021	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H12.7.27		8.0	1.5	6.2	ND	ND	0.57	0.027	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
西海岸沖　St-3	平成26年度	H27.1.26	7.9	1.9	9.5	ND	ND	0.52	0.020	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H26.11.12	8.0	1.4	7.4	ND	2.0	0.49	0.043	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H26.8.7	7.8	1.6	6.1	ND	23	0.27	0.040	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H26.5.26	8.1	1.4	7.8	ND	ND	0.36	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.6	ND	ND	0.15	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.6	9.6	ND	13	0.36	0.038	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.3	ND	3.8	0.23	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	8.0	0.7	6.8	ND	ND	0.13	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.3	9.6	ND	7.8	0.35	0.031	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.4	ND	3.4	0.26	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	1.7	5.8	ND	ND	0.21	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.9	9.8	ND	ND	0.58	0.045	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.4	7.8	ND	ND	0.32	0.030	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.2	8.2	ND	ND	0.19	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.5	9.0	ND	ND	0.25	0.040	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.4	8.7	ND	ND	0.22	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.1	1.1	7.2	ND	ND	0.14	0.019	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.8	9.7	ND	33	0.28	0.038	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.2	ND	15	0.21	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.5	ND	ND	0.11	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	9.3	ND	2.0	0.26	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.8	ND	1.9	0.18	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.7	ND	ND	0.10	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.6	8.5	ND	13	0.19	0.042	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.5	ND	5.3	0.15	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.2	1.0	7.6	ND	ND	0.16	0.024	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	1.8	8.7	ND	4.5	0.27	0.033	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.3	1.4	8.1	ND	ND	0.22	0.027	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.1	1.5	7.1	ND	1.8	0.10	0.019	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.9	9.4	ND	220	0.27	0.049	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.1	8.0	ND	57	0.18	0.030	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	ND	0.12	0.018	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.7	ND	23	0.30	0.046	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	1.9	7.9	ND	7.1	0.19	0.031	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.7	1.1	6.7	ND	ND	0.11	0.014	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	1.8	8.6	ND	40	0.40	0.045	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	7.6	ND	11	0.22	0.029	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		7.9～8.1	1.6～2.1	6.6～9.2	ND	ND	0.10～0.63	0.022～0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		7.9～8.0	1.4～1.6	7.0～9.1	ND	ND	0.12～0.13	0.020～0.021	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成12年度		8.0	1.6	6.2	ND	ND	0.42	0.025	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 （平均値）		8.0～8.1 (8.0)	1.4～2.0 (1.7)	6.3～8.9 (7.5)	ND	－	0.13～0.28 (0.22)	0.027～0.044 (0.036)	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
北海岸沖　St-4	平成26年度	H27.1.26	8.0	1.5	9.7	ND	2.0	0.47	0.022	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H26.11.12	8.0	1.5	7.2	ND	ND	0.57	0.043	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H26.8.7	7.9	1.8	5.7	ND	23	0.28	0.040	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H26.5.26	8.1	1.0	8.0	ND	ND	0.15	0.016	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.8	ND	ND	0.18	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	11	ND	13	0.34	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.6	ND	3.8	0.24	0.025	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	2.1	6.3	ND	ND	0.17	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.4	9.9	ND	2.0	0.35	0.050	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.3	8.1	ND	1.9	0.27	0.032	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.0	7.1	ND	ND	0.15	0.006	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.2	9.2	ND	4.5	0.40	0.043	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.4	ND	2.6	0.25	0.022	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.0	1.3	7.4	ND	ND	0.13	0.017	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.8	9.8	ND	7.8	0.25	0.042	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.2	ND	4.8	0.22	0.031	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	0.9	6.6	ND	ND	0.15	0.014	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.1	9.7	ND	4.5	0.25	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.1	ND	2.6	0.19	0.020	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.0	6.9	ND	ND	0.12	0.024	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.8	ND	23	0.29	0.044	0.006	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.8	7.7	ND	8.6	0.22	0.031	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	1.2	8.0	ND	ND	0.19	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.5	8.6	ND	1.8	0.26	0.038	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.4	ND	ND	0.21	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.0	1.9	7.4	ND	ND	0.14	0.021	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.1	9.4	ND	2.0	0.30	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.3	8.2	ND	1.9	0.19	0.028	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.7	6.5	ND	2.0	0.14	0.016	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.4	8.5	ND	540	0.27	0.049	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	2.0	7.5	ND	140	0.21	0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	7.9	1.1	6.8	ND	ND	0.11	0.015	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	2.0	8.9	ND	17	0.28	0.048	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	7.9	ND	6.2	0.21	0.031	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		8.0～8.3	1.4～2.0	7.0～9.4	ND	ND	0.11～0.19	0.019～0.027	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		7.9～8.1	1.4～1.7	7.0～9.1	ND	ND	0.13～0.14	0.020～0.022	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成12年度		8.0	1.9	6.7	ND	ND	0.17	0.025	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 （平均値）		8.0～8.1 (8.1)	1.5～2.2 (1.9)	6.5～8.9 (7.6)	ND	－	0.12～0.38 (0.23)	0.026～0.044 (0.034)	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
北海岸沖　St-8	平成26年度	H27.1.26	8.0	1.3	10	ND	ND	0.40	0.020	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H26.11.12	8.0	1.6	7.1	ND	ND	0.43	0.041	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H26.8.7	7.9	1.8	5.6	ND	23	0.25	0.040	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		H26.5.26	8.1	2.1	7.9	ND	ND	0.69	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成25年度	最小	8.1	1.1	6.9	ND	ND	0.19	0.018	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	1.9	10	ND	7.8	0.35	0.034	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.5	8.6	ND	2.0	0.24	0.026	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成24年度	最小	7.9	2.3	6.3	ND	ND	0.20	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.9	ND	2.0	0.51	0.050	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.5	8.1	ND	1.9	0.30	0.034	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成23年度	最小	7.9	2.3	6.3	ND	ND	0.20	0.023	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.6	9.9	ND	2.0	0.51	0.050	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.0	2.5	8.1	ND	1.9	0.30	0.034	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成22年度	最小	8.1	1.4	8.1	ND	ND	0.19	0.006	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.1	2.0	9.1	ND	2.0	0.24	0.036	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.7	8.6	ND	ND	0.22	0.014	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成21年度	最小	8.1	1.4	7.3	ND	ND	0.11	0.015	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.6	9.8	ND	23	0.24	0.046	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.6	8.3	ND	8.2	0.20	0.030	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成20年度	最小	8.0	1.0	6.6	ND	ND	0.17	0.013	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	1.8	9.4	ND	2.0	0.27	0.028	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.1	ND	1.9	0.20	0.021	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成19年度	最小	8.0	1.1	7.0	ND	ND	0.09	0.023	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.6	8.7	ND	11	0.37	0.043	0.007	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.1	7.7	ND	4.2	0.20	0.031	0.005	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成18年度	最小	8.1	0.5	8.1	ND	ND	0.17	0.023	0.002	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	2.8	8.5	ND	4.5	0.27	0.037	0.004	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	1.7	8.3	ND	2.0	0.22	0.029	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成17年度	最小	8.1	1.9	7.2	ND	ND	0.11	0.019	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.3	3.0	9.3	ND	2.0	0.27	0.044	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.2	2.2	8.0	ND	1.9	0.18	0.030	0.003	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成16年度	最小	8.0	1.6	6.4	ND	ND	0.14	0.018	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.2	2.3	8.5	ND	130	0.28	0.046	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.9	7.5	ND	34	0.20	0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成15年度	最小	8.0	1.4	6.9	ND	ND	0.14	0.014	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		最大	8.4	1.8	9.6	ND	25	0.31	0.047	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
		平均	8.1	1.6	8.0	ND	7.7	0.23	0.030	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成14年度		8.0～8.2	1.3～2.0	6.8～9.5	ND	ND	0.10～0.20	0.019～0.026	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成13年度		8.1	1.7	9.0	ND	ND	0.14	0.020	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	平成12年度		8.0	2.1	7.3	ND	2.0	0.15	0.023	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 （平均値）		8.0～8.1 (8.0)	1.5～2.1 (1.8)	6.5～9.0 (7.6)	ND	ND～2.0 (ND)	0.12～0.28 (0.21)	0.027～0.044 (0.035)	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
家浦港沖　St-5	H13.7.18		8.0	2.1	7.3	ND	2.0	0.15	0.023	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	H12.7.27		8.0	1.7	6.7	ND	1.8	0.19	0.029	－	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
環境基準 （海域A・Ⅱ類型）			7.8～8.3	≦2	≧7.5	ND	≦1000	≦0.3	≦0.03	≦0.01[4]	ND	≦0.0005	≦0.003 [8]	≦0.01	≦0.05	≦0.01	ND	ND	≦0.03	≦0.01	≦0.02
検出下限値 （ND）			－	<0.5	<0.5	<0.5	<1.8	<0.05	<0.003	<0.002	<0.0005	<0.0005	<0.0003 [7]	<0.005	<0.02	<0.005	<0.1	<0.0005	<0.002	<0.0005	<0.002

測定項目 / 測定場所	調査日		四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類[2]
南海岸沖　St-1	H13.7.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300	0.078
	H12.7.27		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,500	0.086
西海岸沖　St-3	平成26年度	H27.1.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	—	—	—	17,400	—
		H26.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.081
		H26.8.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.090
		H26.5.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	—	—	—	17,900	—
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.29
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,575	0.18
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.016	ND	18,000	0.21
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	0.014	ND	17,500	0.14
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.009	ND	17,300	0.084
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	17,900	0.10
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	ND	0.010	ND	17,700	0.092
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,000	0.054
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,800	0.10
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,200	0.063
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	19,000	0.094
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	18,500	0.079
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,500	0.071
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,700	0.074
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	18,600	0.073
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	18,000	0.068
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	19,100	0.17
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	18,500	0.12
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	17,700	0.072
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,900	0.095
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	ND	18,275	0.084
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	18,000	0.076
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	19,000	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	—	ND	ND	ND	18,700	0.077
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	18,200	0.079
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	0.010	ND	19,200	0.32
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	—	ND	0.009	ND	18,500	0.20
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	17,400	0.091
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	18,800	0.12
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	ND	0.001	17,775	0.11
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	17,900～19,200	0.077～0.087
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,300～18,800	0.079～0.25
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,500	0.075
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,300	0.086
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	0.008～0.012（0.009）	ND	17,200～18,600（17,900）	0.065
北海岸沖　St-4	平成26年度	H27.1.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	—	—	—	17,200	—
		H26.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.009	ND	16,700	0.13
		H26.8.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.009	ND	17,700	0.080
		H26.5.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	17,900	—
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	16,700	0.051
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	18,100	0.062
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,600	0.057
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	17,100	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.013	ND	17,900	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.012	ND	17,500	0.077
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,300	0.081
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	ND	ND	17,800	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	ND	ND	ND	ND	17,600	0.084
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	18,500	0.056
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	ND	ND	ND	ND	18,900	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	18,600	0.073
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,100	0.064
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,900	0.090
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	18,600	0.077
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,500	0.073
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	—	ND	ND	ND	18,900	0.074
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,700	0.074
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	17,800	0.067
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	19,300	0.086
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	18,500	0.077
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	17,500	0.095
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	—	ND	ND	ND	18,500	0.097
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	18,200	0.096
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	17,500	0.075
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	—	ND	ND	ND	18,700	0.089
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,000	0.082
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,800	0.078
		最大	ND	ND	ND*	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	—	ND	0.007	ND	18,800	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	0.007	ND	18,300	0.081
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	17,000	0.086
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	ND	ND	19,000	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	17,700	0.12
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900～19,300	0.077～0.08
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,200～18,800	0.081～0.14
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,300	0.086
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	0.008～0.012（0.009）	ND	17,200～18,600（17,900）	0.065
北海岸沖　St-8	平成26年度	H27.1.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	—	—	—	17,200	—
		H26.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	ND	ND	0.010	ND	16,600	0.078
		H26.8.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.009	ND	17,600	0.065
		H26.5.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	—	—	—	17,700	—
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.010	ND	17,000	0.054
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.013	ND	18,000	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	ND	ND	0.012	ND	17,675	0.19
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.008	ND	17,100	0.070
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.015	ND	17,900	0.071
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.012	ND	17,500	0.071
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	0.008	ND	17,300	0.068
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	0.010	ND	17,800	0.073
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	ND	0.009	ND	17,600	0.071
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	18,000	0.055
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	ND	ND	18,800	0.080
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	18,500	0.068
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	18,200	0.058
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	18,800	0.10
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,500	0.079
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	18,500	0.074
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	—	ND	ND	ND	18,900	0.087
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	18,700	0.081
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	17,700	0.061
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	ND	ND	19,000	0.11
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	18,500	0.086
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	18,000	0.082
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.14	—	ND	ND	ND	18,800	0.094
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	ND	18,325	0.088
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	17,300	0.088
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	ND	18,700	0.095
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	18,000	0.092
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	0.008	ND	17,400	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	—	ND	0.008	ND	19,600	0.55
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	0.008	ND	18,400	0.31
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	16,600	0.080
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	0.007	0.004	19,000	0.18
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	0.007	0.002	17,600	0.14
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900～19,300	0.077～0.079
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,700	0.079
	事前環境モニタリング 最小値～最大値（平均値）		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	0.008～0.010（0.009）	ND	17,300～18,500（17,900）	0.065
家浦港沖　St-5	H13.7.18		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,900	0.41
	H12.7.27		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.007	0.001	18,200	0.084
環境基準（海域A・Ⅱ類型）			≦0.002	≦0.004	≦0.1[6]	≦0.04	≦1	≦0.006	≦0.002	≦0.01	≦0.006	≦0.003	≦0.02	≦0.01	—	≦10	≦0.05	—	0.07[3]	0.02[3]	—	≦1
検出下限値（ND）			<0.0002	<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006[5]	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—

1)事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施　平成12年度：H12.7.27実施（St-3、St-4）　平成13年度：H13.7.18（St-3、St-4）、H14.2.1実施　平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施　平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施　平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施　平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施
平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施　平成20年度：H20.5.21、H20.8.27、H20.11.17、H21.1.28実施　平成21年度：H21.5.21、H21.8.19、H21.11.6、H22.1.20実施　平成22年度：H22.5.27、H22.8.30、H22.11.11、H23.1.25実施
平成23年度：H23.6.29、H23.8.26、H23.11.17、H24.1.27実施　平成24年度：H24.5.16、H24.8.2、H24.11.19、H25.1.17実施　平成25年度：H25.5.22、H25.8.19、H25.11.8、H26.1.22実施
2)ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類（ｺﾌﾟﾗﾅｰPCBを含む）は、事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞについては1回分（H11.11.29）の測定ﾃﾞｰﾀである。
3)要監視項目指針値
4)生物特Ａ類型（生物Ａ類型の水域のうち、水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域）の基準値
5)環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。（平成17年7月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。）
6)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成22年1月調査までの環境基準値は0.02mg/Lである。）
7)環境庁通知に基づき、検出下限を変更した。（平成24年1月調査までの検出下限値は0.001mg/Lである。）
8)環境省通知に基づき、環境基準を変更した。（平成24年1月調査までの環境基準値は0.01mg/Lである。）
9)赤字は海域の環境基準を超過したものを示す。

表2　豊島における周辺環境モニタリング（周辺地先海域底質）

（強熱減量　；%、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類；pg-TEQ/g・dry、COD，硫化物，油分等；mg/g・dry、ｐＨを除く単位；　mg/kg・dry）

測定場所＼測定項目	調査日		pH	COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	ひ素	全ｼｱﾝ	PCB	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	銅	亜鉛	ﾆｯｹﾙ	総ｸﾛﾑ	総鉄	総ﾏﾝｶﾞﾝ	有機リン	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類
南海岸沖　St-1	H13.7.18		7.5	9.2	0.060	5.1	0.12	0.09	0.1	21	5.3	ND	ND	ND	ND	26	120	21	52	21,000	540	ND	4.6
	H12.7.27		7.8	4.8	0.006	3.8	ND	0.08	0.1	23	5.1	ND	ND	ND	ND	27	100	18	51	16,000	540	ND	2.8
西海岸沖　St-3	平成26年度	H26.8.7	7.5	4.9	0.13	5.5	0.4	0.11	0.1	21	3.4	ND	ND	ND	ND	26	100	15	56	22,000	710	ND	5.2
	平成25年度	H25.8.19	7.4	3.7	0.26	3.2	0.3	0.06	0.1	14	4.3	ND	ND	ND	ND	21	79	12	39	17,000	480	ND	6.1
	平成24年度	H24.8.2	7.6	5.7	0.25	6.4	0.7	0.08	0.1	26	5.2	ND	ND	ND	ND	35	131	30	49	25,000	910	ND	6.9
	平成23年度	H23.8.26	7.5	4.1	0.20	4.5	0.2	0.05	0.1	24	4.1	ND	ND	ND	ND	17	84	17	31	17,000	650	ND	5.0
	平成22年度	H22.8.30	7.7	5.8	0.04	3.5	0.2	0.05	0.1	9.5	1.4	ND	ND	ND	ND	16	55	6.9	7.8	9,900	390	ND	2.9
	平成21年度	H21.8.19	8.3	4.3	0.03	3.0	0.1	0.03	0.2	9.8	2.0	ND	ND	ND	ND	19	66	9.1	11	12,000	440	ND	2.4
	平成20年度	H20.8.27	7.7	1.6	0.01	3.7	ND	0.01	ND	3.3	1.6	ND	ND	ND	ND	3.8	35	3.0	5.3	4,400	330	ND	1.4
	平成19年度	H19.8.27	8.2	4.8	0.04	3.4	0.3	0.03	0.1	12	4.6	ND	ND	ND	ND	19	61	7.7	49	12,000	380	ND	4.4
	平成18年度	H18.8.8	7.6	5.2	0.03	3.6	0.2	0.02	ND	9.4	3.2	ND	ND	ND	ND	16	41	4.8	48	13,000	530	ND	5.8
	平成17年度	H17.7.21	7.5	4.6	0.05	4.0	0.2	0.03	0.1	16	5.2	ND	ND	ND	ND	25	83	15	60	13,000	450	ND	13
	平成16年度	最小	7.5	7.5	0.19	3.1	0.1	0.08	ND	17	6.1	ND	ND	ND	ND	29	80	19	48	18,000	520	ND	5.5
		最大	7.7	11	0.22	3.9	0.2	0.10	ND	20	7.0	ND	ND	ND	ND	33	89	31	63	20,000	550	ND	7.8
		平均	7.6	9.3	0.21	3.5	0.2	0.09	ND	19	6.6	ND	ND	ND	ND	31	85	25	56	19,000	540	ND	6.7
	平成15年度	最小	7.5	7.1	0.082	4.3	ND	0.03	ND	13	4.6	ND	ND	ND	ND	19	92	20	35	16,000	570	ND	4.0
		最大	7.9	7.4	0.1	5.1	0.13	0.1	ND	15	6.1	ND	ND	ND	ND	22	99	28	66	18,000	620	ND	5.3
		平均	7.7	7.3	0.09	4.7	0.12	0.07	ND	14	5.4	ND	ND	ND	ND	21	96	24	51	17,000	595	ND	4.7
	平成14年度		7.6～7.6	9.8～9.9	0.040～0.11	4.1～5.1	ND～0.12	0.06～0.12	0.1～0.1	18～19	5.4～6.1	ND	ND	ND	ND	23～25	85～100	13～15	48～50	20,000～20,000	530～620	ND	4.7～4.7
	平成13年度		7.6～7.6	9.0～9.3	0.10～0.12	4.1～4.2	0.15～0.15	0.07～0.08	ND	17～21	5.0～5.5	ND	ND	ND	ND	21～30	93～110	16～18	42～47	14,000～19,000	540～550	ND	4.5～5.7
	平成12年度		7.8	8.7	0.010	5.1	0.12	0.09	0.1	27	6.2	ND	ND	ND	ND	35	120	20	53	21,000	810	ND	5.3
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ最小値～最大値（平均値）		7.6～7.8 [7.7]	4.1～8.7 [6.2]	0.059～0.084 [0.070]	3.0～4.6 [3.7]	0.10～0.24 [0.15]	0.08～0.09 [0.09]	ND～0.1 [0.1]	16～24 [19]	4.6～7.4 [6.0]	ND	ND	ND	ND	23～98 [47]	85～110 [95]	13～91 [34]	42～54 [46]	16,000～20,000 [18,000]	480～710 [620]	ND	5.8
北海岸沖　St-4	平成26年度	H26.8.7	7.4	4.5	0.16	4.5	0.5	0.13	ND	15	3.3	ND	ND	ND	ND	17	87	12	50	19,000	650	ND	2.3
	平成25年度	H25.8.19	7.5	5.2	0.12	3.2	0.2	0.06	ND	12	4.0	ND	ND	ND	ND	13	78	9.7	29	17,000	560	ND	4.0
	平成24年度	H24.8.2	7.6	5.4	0.38	4.2	0.5	0.07	0.1	17	4.4	ND	ND	ND	ND	16	84	17	38	16,000	580	ND	3.7
	平成23年度	H23.8.26	7.5	3.7	0.14	3.3	0.1	0.04	ND	14	3.2	ND	ND	ND	ND	13	77	13	27	15,000	520	ND	1.6
	平成22年度	H22.8.30	7.6	6.6	0.06	4.6	0.5	0.06	ND	11	1.3	ND	ND	ND	ND	16	65	8.0	9.5	12,000	580	ND	4.1
	平成21年度	H21.8.19	8.1	7.3	0.01	3.5	0.2	0.05	0.1	16	1.8	ND	ND	ND	ND	23	95	12	17	18,000	740	ND	2.9
	平成20年度	H20.8.27	7.7	4.2	0.07	3.9	ND	0.06	ND	14	3.7	ND	ND	ND	ND	23	73	9.5	34	14,000	640	ND	5.3
	平成19年度	H19.8.27	8.3	4.1	0.02	3.2	0.2	0.06	0.1	12	5.8	ND	ND	ND	ND	16	74	6.0	39	13,000	530	ND	3.5
	平成18年度	H18.8.8	7.7	7.3	0.06	5.2	0.3	0.05	0.1	24	4.6	ND	ND	ND	ND	23	100	12	60	17,000	770	ND	5.8
	平成17年度	H17.7.21	7.6	5.1	0.07	4.0	0.2	0.05	0.1	11	5.7	ND	ND	ND	ND	17	85	12	51	13,000	500	ND	4.6
	平成16年度	最小	7.5	5.4	0.09	4.2	0.1	0.04	ND	17	3.4	ND	ND	ND	ND	19	86	9.1	36	15,000	550	ND	3.5
		最大	7.6	6.3	0.19	4.7	0.1	0.10	ND	17	5.0	ND	ND	ND	ND	19	90	32	56	20,000	620	ND	7.1
		平均	7.6	5.9	0.14	4.5	0.1	0.07	ND	17	4.2	ND	ND	ND	ND	19	88	21	46	18,000	590	ND	5.3
	平成15年度	最小	7.7	7.4	0.028	4.4	ND	0.028	ND	12	4.3	ND	ND	ND	ND	14	94	27	46	18,000	530	ND	2.6
		最大	7.9	8.9	0.04	6.2	ND	0.06	0.1	14	6.6	ND	ND	ND	ND	15	98	27	82	21,000	720	ND	3.1
		平均	7.8	8.2	0.034	5.3	ND	0.04	0.1	13	5.5	ND	ND	ND	ND	15	96	27	64	19,500	625	ND	2.9
	平成14年度		7.6～7.6	11～11	0.011～0.090	5.2～5.5	ND～0.11	0.06～0.10	ND～0.1	18～21	5.5～6.2	ND	ND	ND	ND	21～27	100～110	15～19	52～53	18,000～21,000	560～620	ND	3.3～5.2
	平成13年度		7.6～7.7	8.0～11	0.008～0.14	4.3～4.8	ND～0.14	0.08～0.08	0.1～0.1	18～20	5.1～5.7	ND	ND	ND	ND	20～26	100～110	18～28	51～74	19,000～19,000	620～710	ND	3.1～4.4
	平成12年度		7.8	9.3	0.018	5.4	0.11	0.13	0.1	31	5.8	ND	ND	ND	ND	41	140	19	67	24,000	700	ND	3.8
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ最小値～最大値（平均値）		7.0～7.9 [7.6]	7.0～9.6 [7.8	0.064～0.45 [0.19]	3.4～6.3 [4.7]	0.1～0.48 [0.27]	0.09～0.11 [0.10]	0.1～0.1 [0.1]	20～27 [24]	4.7～7.9 [6.3]	ND	ND	ND	ND	24～43 [30]	86～120 [110]	15～22 [19]	52～55 [54]	20,000～23,000 [22,000]	670～840 [750]	ND	6.5
家浦港沖　St-5	H13.7.18		7.6	4.6	0.044	2.5	ND	0.07	ND	21	4.7	ND	ND	ND	ND	15	81	19	51	14,000	330	ND	1.9
	H12.7.27		7.8	4.4	0.032	3.2	ND	0.09	ND	22	6.4	ND	ND	ND	ND	21	93	12	56	16,000	370	ND	1.8
県内底質[3]	平均値		7.6	6.6	0.176	3.7	0.387	0.44	0.2	25	5.3	ND	ND	－	－	－	－	－	32	－	－	ND	4.2
	最小～最大		6.6～8.2	0.32～23	ND～1.5	1.0～11	ND～1.4	0.01～5.1	ND ～1.1	5.3～120	0.97～12	ND～0.2	ND	－	－	－	－	－	4.6～65	－	－	ND	0.52～9.4
環境基準、暫定除去基準			－	－	－	－	－	12	－	－	－	－	10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	150
検出下限値(ND)			<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.5	<0.2	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.5	<5	<0.5	<5	<5	<5	<0.1	－

1)事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施　平成12年度：H12.7.27実施　平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施　平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.7.14、H15.10.24実施　平成16年度：H16.7.29、H16.11.2実施

2)ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類（ｺﾌﾟﾗﾅｰPCBを含む）は、事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞについては1回分（H11.11.29）の測定ﾃﾞｰﾀである。

3)県及び市町が平成８年度から平成10年度までに行った県内における底質の結果をまとめたものである。但し、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類については環境庁実施「平成11年度公共用水質等のﾀﾞｲｵｷｼﾝ類調査」における県内の公共用水域底質調査結果である。

表３　豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域間隙水水質）

（大腸菌群数の単位：MPN/100ml、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類：pg-TEQ/L、ｐＨを除く単位：mg/L）

測定場所＼測定項目	調査日		ｐＨ	ＣＯＤ	油分等	大腸菌群数	全窒素	全リン	全亜鉛	ｱﾙｷﾙ水銀	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	六価ｸﾛﾑ	ひ素	全ｼｱﾝ	ＰＣＢ	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ｼﾞｸﾛﾛﾒﾀﾝ	四塩化炭素
西海岸St-A	平成26年度	H27.1.26	8.0	2.6	ＮＤ	ＮＤ	0.24	0.030	0.005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H26.11.12	7.9	1.2	ＮＤ	ＮＤ	0.31	0.033	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H26.8.7	7.7	0.8	ＮＤ	2.0	0.47	0.031	0.085	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H26.5.26	8.0	1.1	ＮＤ	ＮＤ	0.28	0.027	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成25年度	最小	7.6	1.2	ＮＤ	ＮＤ	0.24	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.9	2.1	ＮＤ	4.5	0.48	0.88	0.016	ＮＤ	ＮＤ	0.001	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.8	1.7	ＮＤ	ＮＤ	0.35	0.45	0.008	ＮＤ	ＮＤ	0.0003	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成24年度	最小	7.8	1.0	ＮＤ	ＮＤ	0.15	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.0	1.7	ＮＤ	ＮＤ	0.39	0.073	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.9	1.5	ＮＤ	ＮＤ	0.25	0.036	0.013	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成23年度	最小	7.6	1.1	ＮＤ	ＮＤ	0.17	0.024	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.0	11	ＮＤ	2.0	0.48	0.032	0.040	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.7	3.7	ＮＤ	1.9	0.34	0.028	0.022	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成22年度	最小	7.5	0.5	ＮＤ	ＮＤ	0.25	0.025	0.005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.8	1.8	ＮＤ	ＮＤ	0.31	0.036	0.036	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.7	0.9	ＮＤ	ＮＤ	0.27	0.032	0.018	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成21年度	最小	7.5	0.7	ＮＤ	ＮＤ	0.15	0.024	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.7	1.7	ＮＤ	2.0	1.5	0.042	0.029	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.6	1.1	ＮＤ	1.9	0.59	0.031	0.012	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成20年度	最小	7.6	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.17	0.024	0.004	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.0	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	4.5	0.32	0.047	0.026	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.8	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	2.5	0.25	0.035	0.015	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成19年度	最小	7.6	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.17	0.024	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.8	0.6	ＮＤ	2.0	0.81	0.052	0.014	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.7	0.5	ＮＤ	1.9	0.41	0.040	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成18年度	最小	7.6	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.27	0.037	0.012	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.0	1.3	ＮＤ	ＮＤ	0.47	0.096	0.028	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.8	0.8	ＮＤ	ＮＤ	0.37	0.068	0.021	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.003	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成17年度	最小	7.8	1.2	ＮＤ	ＮＤ	0.13	0.028	0.010	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.0	1.7	ＮＤ	2.0	0.43	0.057	0.021	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.9	1.5	ＮＤ	1.9	0.31	0.039	0.016	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	7.6	0.6	ＮＤ	ＮＤ	0.21	0.035	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.9	1.9	ＮＤ	2.0	0.44	0.043	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.8	1.4	ＮＤ	1.9	0.29	0.039	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	7.8	0.7	ＮＤ	ＮＤ	0.08	0.032	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.3	1.4	ＮＤ	ＮＤ	0.43	0.042	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	8.0	1.1	ＮＤ	ＮＤ	0.26	0.036	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成14年度		7.7～8.4	1.3～1.4	ＮＤ	ＮＤ	0.11～0.40	0.045～0.060	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成13年度		7.4～8.0	1.2～1.7	ＮＤ	ＮＤ	0.12～0.25	0.040～0.052	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成12年度		7.7	1.0	ＮＤ	ＮＤ	0.27	0.041	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		7.6～8.0 (7.8)	1.0～1.7 (1.3)	ＮＤ	—	0.16～0.40 (0.27)	0.026～0.065 (0.047)	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
北海岸　St-B	平成26年度	H27.1.26	7.7	5.4	ＮＤ	4.5	0.48	0.056	0.010	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H26.11.12	7.6	5.9	ＮＤ	11	0.8	0.18	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H26.8.7	7.6	3.4	ＮＤ	ＮＤ	1.0	0.15	0.050	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H26.5.26	7.4	5.9	ＮＤ	ＮＤ	0.65	0.069	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成25年度	最小	7.3	4.1	ＮＤ	ＮＤ	0.88	0.049	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.6	4.8	ＮＤ	ＮＤ	1.5	0.88	0.024	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.5	4.5	ＮＤ	ＮＤ	1.1	0.49	0.009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成24年度	最小	7.1	6.7	ＮＤ	ＮＤ	1.4	0.066	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.4	16	ＮＤ	ＮＤ	5.4	0.17	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.3	10	ＮＤ	ＮＤ	3.1	0.094	0.009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成23年度	最小	7.3	2.8	ＮＤ	ＮＤ	0.58	0.075	0.009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.7	50	0.9	7.8	4.1	0.17	0.047	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.4	17	0.5	3.4	2.5	0.11	0.023	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成22年度	最小	7.4	4.3	ＮＤ	ＮＤ	1.2	0.075	0.009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.5	50	0.9	7.8	7.7	0.15	0.017	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.3	22	0.7	3.3	3.6	0.11	0.012	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成21年度	最小	7.1	8.1	ＮＤ	ＮＤ	1.4	0.12	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.4	41	ＮＤ	7.8	6.1	0.19	0.021	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.3	24	ＮＤ	8.4	4.5	0.15	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成20年度	最小	7.1	4.8	ＮＤ	ＮＤ	1.5	0.061	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.5	21	0.5	49	7.0	0.41	0.028	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.2	16	0.5	15	4.9	0.18	0.018	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成19年度	最小	6.9	7.4	ＮＤ	ＮＤ	3.0	0.059	0.002	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.6	31	0.6	2.0	11	0.20	0.040	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.2	20	0.5	2.0	6.7	0.13	0.013	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.005	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成18年度	最小	6.8	8.9	ＮＤ	ＮＤ	3.2	0.13	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.4	52	1.4	4.5	23	0.50	0.022	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.0	39	0.7	2.8	12	0.23	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成17年度	最小	6.8	19	1.3	ＮＤ	12	0.15	0.010	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.0	110	2.9	2.8	20	0.24	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	6.9	70	2.1	19	15	0.19	0.015	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成16年度	最小	6.8	61	ＮＤ	ＮＤ	15	0.095	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.2	89	4.1	16,000	26	0.16	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.0	75	1.9	4,000	19	0.13	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成15年度	最小	6.8	75	ＮＤ	ＮＤ	13	0.11	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.0	92	1.8	45	19	0.23	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	6.9	80	1.3	15	16	0.16	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成14年度		6.8～6.9	100～140	2.4～6.0	ＮＤ～7.8	15～36	0.21～0.29	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成13年度		6.9～7.1	130～170	2.2～6.3	4.0～4.0	23～41	0.24～0.26	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ～0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成12年度		6.8	170	1.3	2.0	22	0.31	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値（平均値）		6.4～6.8 (6.7)	190～240 (210)	1.4～3.7 (2.4)	—	23～32 (29)	0.24～0.36 (0.31)	—	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ～0.007 (0.006)	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
北海岸　St-E	平成26年度	H27.1.26	7.4	4.5	ＮＤ	22	2.4	0.028	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H26.11.12	7.5	2.7	ＮＤ	2.0	1.1	0.037	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H26.8.7	7.6	2.1	ＮＤ	2.0	1.4	0.046	0.12	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		H26.5.26	7.4	5.1	ＮＤ	ＮＤ	3.0	0.023	0.010	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成25年度	最小	7.3	1.1	ＮＤ	ＮＤ	1.2	0.029	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.6	3.7	0.5	7.8	1.7	0.62	0.040	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.5	2.7	ＮＤ	3.5	1.6	0.33	0.015	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成24年度	最小	7.8	1.0	ＮＤ	ＮＤ	0.15	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	8.0	1.7	ＮＤ	ＮＤ	0.39	0.073	0.020	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.9	1.5	ＮＤ	ＮＤ	0.25	0.036	0.013	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成23年度	最小	7.4	2.9	ＮＤ	ＮＤ	1.8	0.040	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.7	3.7	ＮＤ	2.0	3.3	0.060	0.009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.6	3.2	ＮＤ	1.9	2.7	0.047	0.007	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成22年度	最小	7.1	2.2	ＮＤ	ＮＤ	2.2	0.020	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.5	12	ＮＤ	2.0	7.0	0.051	0.024	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.3	5.0	ＮＤ	ＮＤ	4.5	0.030	0.015	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成21年度	最小	7.3	3.9	ＮＤ	ＮＤ	4.1	0.014	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.3	7.5	ＮＤ	4.5	9.5	0.056	0.024	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.3	4.9	ＮＤ	2.5	6.1	0.036	0.016	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成20年度	最小	7.2	4.1	ＮＤ	ＮＤ	8.6	0.020	0.011	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.3	5.4	ＮＤ	ＮＤ	13	0.044	0.018	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.2	4.9	ＮＤ	ＮＤ	10	0.031	0.014	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成19年度	最小	7.1	4.9	ＮＤ	ＮＤ	7.7	0.006	0.004	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.3	6.2	ＮＤ	2.0	10	0.057	0.017	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.3	5.5	ＮＤ	1.9	9.0	0.033	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成18年度	最小	7.0	5.2	ＮＤ	ＮＤ	4.2	0.019	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.2	6.8	ＮＤ	2.0	9.9	0.10	0.033	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.008	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		平均	7.1	6.2	ＮＤ	ＮＤ	6.3	0.060	0.013	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
	平成17年度	最小	7.0	8.8	ＮＤ	ＮＤ	13	0.056	0.006	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ
		最大	7.2	16	0.5	2.0	24	0.10	0.009	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	ＮＤ	0.017	ＮＤ	ＮＤ

測定項目 / 測定場所	調査日		1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ベンゼン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ	セレン	有機リン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	1,4-ジオキサン	ニッケル	モリブデン	アンチモン	塩化物イオン	ダイオキシン類[2]
西海岸St-A	平成26年度	H27.1.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	—	—	—	17,900	—
		H26.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	ND	ND	0.013	ND	17,500	3.1
		H26.8.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	ND	ND	0.025	0.002	18,500	4.1
		H26.5.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.16	ND	—	—	—	18,600	—
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.016	ND	17,100	1.5
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.32	ND	ND	0.049	ND	18,700	2.3
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.23	ND	ND	0.033	ND	18,050	1.9
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	ND	ND	0.007	ND	17,500	1.0
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.005	ND	0.27	ND	ND	0.011	ND	18,000	1.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	ND	ND	0.009	ND	17,700	1.2
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.010	ND	16,100	0.43
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.31	ND	ND	0.015	0.003	18,100	0.52
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	ND	0.013	0.001	17,300	0.48
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	ND	ND	0.008	ND	15,400	1.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	ND	ND	0.010	0.002	18,900	1.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.009	0.002	17,500	1.8
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	0.002	16,500	0.49
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.38	—	ND	ND	0.002	19,400	0.50
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.17	—	ND	ND	0.002	18,500	0.50
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	18,800	0.12
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	0.009	ND	19,600	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	—	ND	0.008	ND	19,200	0.66
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	—	ND	ND	0.001	18,500	2.7
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.34	—	ND	ND	0.003	18,900	3.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	ND	0.002	18,700	3.3
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.07	—	ND	ND	0.001	16,700	1.1
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	—	ND	0.009	0.001	18,700	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.18	—	ND	0.005	0.001	17,925	1.8
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	0.007	ND	17,300	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	—	ND	0.014	0.005	18,700	7.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	0.011	0.003	18,300	4.6
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	—	ND	ND	0.001	16,000	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	—	ND	0.008	0.015	17,700	5.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.22	—	ND	0.008	0.008	16,700	3.9
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	14,100	2.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.36	—	ND	0.008	0.004	18,800	6.6
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.19	—	ND	0.007	0.001	16,700	4.8
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	18,000～18,200	5.3～9.6
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	0.001～0.001	17,500～18,700	3.6～15
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	0.008	0.001	17,900	9.4
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 (平均値)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND～0.011 (0.009)	ND～0.001 (0.001)	17,100～18,600 (17,900)	37
北海岸 St-B	平成26年度	H27.1.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	—	15,700	—
		H26.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	15,800	0.58
		H26.8.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	ND	ND	0.027	ND	17,200	0.43
		H26.5.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	—	—	—	17,500	—
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	14,200	0.34
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	ND	ND	ND	ND	17,800	0.53
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	16,700	0.44
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12,800	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.015	ND	0.008	ND	17,200	0.34
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.010	ND	0.0073	ND	15,500	0.27
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	12,800	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	0.015	ND	0.008	ND	17,200	0.34
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	0.010	ND	0.007	ND	15,500	0.27
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5,070	0.16
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.020	ND	0.012	0.002	17,500	0.54
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.011	ND	0.010	0.001	13,000	0.35
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.005	ND	ND	ND	2,800	0.66
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.035	ND	ND	ND	17,500	1.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	0.019	ND	ND	ND	12,900	1.0
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,000	0.32
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	16,800	0.47
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	12,200	0.40
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,400	0.23
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	0.008	ND	17,100	0.24
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	0.008	ND	11,900	0.24
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	8,000	0.47
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	ND	16,600	0.93
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.01	—	ND	ND	ND	11,900	0.70
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0	6,000	1.2
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.06	—	ND	ND	0.001	15,400	2.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.02	—	ND	ND	0.001	9,880	2.0
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	4,600	0.57
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.005	11,500	1.3
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.003	8,680	0.94
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	5,790	0.27
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	0.010	0.011	9,520	1.8
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	0.009	0.006	7,500	1.0
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	3,920	0.19
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	12,000	1.9
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	0.001	7,363	0.96
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	6,300～9,300	0.21～1.0
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND～0.002	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND～0.012	ND	6,800～11,100	0.56～0.97
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	11,100	0.43
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 (平均値)		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND～0.001 (0.001)	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND～0.041 (0.016)	ND	8,700～10,600 (9,800)	0.25
北海岸 St-E	平成26年度	H27.1.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.79	0.006	—	—	—	16,100	—
		H26.11.12	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.21	ND	ND	ND	ND	16,300	0.18
		H26.8.7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	ND	ND	0.021	ND	17,000	0.38
		H26.5.26	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.47	0.006	—	—	—	16,500	—
	平成25年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	ND	ND	0.011	ND	16,000	0.16
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.41	ND	ND	0.050	ND	17,400	0.39
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	ND	ND	0.031	ND	17,000	0.28
	平成24年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.29	ND	ND	ND	ND	16,200	0.14
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.64	ND	ND	0.008	ND	17,300	0.17
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.42	ND	ND	0.007	ND	16,600	0.16
	平成23年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	ND	ND	ND	15,400	0.069
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.39	0.008	ND	0.016	0.001	16,300	0.19
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.20	0.007	ND	0.010	0.001	15,900	0.13
	平成22年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.12	0.006	ND	ND	ND	14,700	0.62
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.48	0.014	ND	0.007	ND	17,500	0.75
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.27	0.009	ND	0.007	ND	16,600	0.69
	平成21年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.04	—	ND	ND	ND	16,500	0.092
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	ND	0.002	17,800	0.32
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	0.002	16,900	0.21
	平成20年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.05	—	ND	ND	ND	16,400	0.077
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.007	ND	0.78	—	ND	ND	0.001	17,300	0.083
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.006	ND	0.30	—	ND	ND	0.001	16,800	0.080
	平成19年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.03	—	ND	ND	ND	16,700	0.37
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.24	—	ND	ND	0.001	16,800	0.78
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	—	ND	ND	0.001	16,800	0.58
	平成18年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,700	1.9
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.44	—	ND	ND	ND	17,400	2.4
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	ND	16,125	2.2
	平成17年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,600	1.6
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.15	—	ND	0.007	ND	15,500	2.5
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	—	ND	0.007	ND	15,200	1.0
	平成16年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	13,600	0.24
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.25	—	ND	ND	0.008	15,100	1.2
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.13	—	ND	ND	0.005	14,500	0.72
	平成15年度	最小	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	ND	ND	ND	14,300	0.69
		最大	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.35	—	ND	ND	0.001	17,400	1.0
		平均	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.10	—	ND	ND	0.001	15,725	0.88
	平成14年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	15,800～18,200	0.39～0.88
	平成13年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	17,200～17,200	0.48～1.7
	平成12年度		ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	—	—	ND	ND	ND	7,900	1.1
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 (平均値)		ND～0.010 (0.0028)	ND	ND	ND	ND	ND	0.004～0.13 (0.037)	ND	ND	ND	ND	—	—	—	ND	ND	ND	6,300～12,800 (8,700)	0.096
管理基準値			≦0.04	≦1[4]	≦0.4	≦3	≦0.06	≦0.02	≦0.1	≦0.06	≦0.03	≦0.2	≦0.1	≦1	≦100	≦0.5	—	—	—	—	≦10
検出下限値 (ND)			<0.0004	<0.002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.0002	<0.001	<0.0006[3]	<0.0003	<0.002	<0.005	<0.1	<0.01	<0.005	<0.05	<0.007	<0.001	—	—

1)事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施　平成12年度：H12.7.27実施　平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施　平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.5.15、H15.7.14、H15.10.24、H16.2.10実施　平成16年度：H16.6.1、H16.7.29、H16.11.2、H17.1.14実施　平成17年度：H17.5.23、H17.7.21、H17.11.7、H18.1.18実施
平成18年度：H18.5.26、H18.8.8、H18.11.27、H19.1.24実施　平成19年度：H19.6.14、H19.8.27、H19.11.15、H20.1.25実施　平成20年度：H20.5.21、H20.8.27、H20.11.17、H21.1.28実施
平成21年度：H21.5.21、H21.8.19(H21.8.20)、H21.11.6、H22.1.20実施　平成22年度：H22.5.27、H22.8.30、H22.11.11、H23.1.25実施　平成23年度：H23.6.29、H23.8.26、H23.11.17 、H24.1.27実施
平成24年度：H24.5.16、H24.8.2、H24.11.19、H25.1.17実施　平成25年度：H25.5.22、H25.8.19、H25.11.8、H26.1.22実施

表４　豊島における周辺環境モニタリング（海岸感潮域底質）

（強熱減量　；%、ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類；pg-TEQ/g・dry、COD，硫化物，油分等；mg/g・dry、ｐＨを除く単位；　mg/kg・dry）

測定場所＼測定項目	調査日		COD	硫化物	強熱減量	油分等	総水銀	ｶﾄﾞﾐｳﾑ	鉛	ひ素	全ｼｱﾝ	PCB	ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	銅	亜鉛	ﾆｯｹﾙ	総ｸﾛﾑ	総鉄	総ﾏﾝｶﾞﾝ	有機リン	ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類
西海岸　St-A	平成26年度	H26.8.7	0.3	ND	0.7	ND	ND	ND	18	0.3	ND	ND	ND	ND	50	47	7.1	7	3,600	160	ND	73
	平成25年度	H25.8.19	0.1	ND	0.8	ND	ND	ND	1.5	0.4	ND	ND	ND	ND	37	50	3.5	6	3,800	130	ND	2.5
	平成24年度	H24.8.2	ND	ND	0.7	ND	ND	0.1	12	3.2	ND	ND	ND	ND	62	55	2.5	5	5,300	130	ND	13
	平成23年度	H23.8.26	ND	ND	0.6	ND	ND	ND	17	6.3	ND	ND	ND	ND	84	150	1.8	ND	5,300	95	ND	3.6
	平成22年度	H22.8.30	0.1	ND	0.7	ND	ND	ND	4.1	2.3	ND	ND	ND	ND	57	56	2.0	ND	4,300	130	ND	10
	平成21年度	H21.8.19	ND	ND	0.5	ND	ND	ND	3.9	1.6	ND	ND	ND	ND	14	27	2.2	ND	3,300	110	ND	29
	平成20年度	H20.8.27	ND	ND	0.5	ND	ND	ND	9.5	4.3	ND	ND	ND	ND	130	87	2.5	ND	4,800	120	ND	38
	平成19年度	H19.8.27	0.5	ND	0.4	ND	ND	ND	6.8	1.8	ND	ND	ND	ND	81	71	4.2	ND	5,700	125	ND	4.1
	平成18年度	H18.8.8	0.2	ND	0.7	ND	ND	0.1	27	1.9	ND	ND	ND	ND	95	85	5.5	8	5,800	150	ND	24
	平成17年度	H17.7.21	0.2	ND	0.4	ND	ND	0.1	14	5.9	ND	ND	ND	ND	110	97	5.3	ND	3,200	29	ND	50
	平成16年度	最小	0.1	ND	0.5	ND	ND	ND	8.6	2.1	ND	ND	ND	ND	10	11	0.6	ND	2,600	90	ND	30
		最大	0.1	ND	0.6	ND	ND	ND	21	4.9	ND	0.01	ND	ND	64	97	2.7	ND	3,000	130	ND	120
		平均	0.1	ND	0.6	ND	ND	ND	15	3.5	ND	0.01	ND	ND	37	54	1.7	ND	2,800	110	ND	75
	平成15年度	最小	0.31	ND	0.7	ND	ND	ND	12	4.2	ND	ND	ND	ND	89	85	1.3	3.1	3,600	100	ND	47
		最大	0.4	ND	0.8	ND	ND	ND	14	7.4	ND	ND	ND	ND	170	150	2.7	6.7	9,600	140	ND	120
		平均	0.36	ND	0.8	ND	ND	ND	13	5.8	ND	ND	ND	ND	130	118	2.0	4.9	6,600	120	ND	84
	平成14年度		0.16～0.43	ND	0.5～0.6	ND	ND	ND～0.12	5.2～29	2.1～6.6	ND	ND～0.01	ND	ND	31～170	55～150	1.2～6.1	2.6～7.6	3,800～8,000	80～130	ND	5.4～120
	平成13年度		0.35～0.63	ND	0.4～0.7	ND	ND	0.06～0.11	15～19	2.0～3.7	ND	ND～0.01	ND	ND	99～100	120～180	2.7～3.6	7.1～7.2	5,900～6,400	150～170	ND	38～74
	平成12年度		0.28	ND	0.5	ND	ND	0.06	28	3.4	ND	ND	ND	ND	160	110	6.9	6.8	6,400	180	ND	48
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 （平均値）		0.037～ 0.24 [0.18]	ND	0.51～ 0.79 [0.63]	ND	ND～ 0.03 [0.0079]	ND～ 0.11 [0.053]	10～ 21 [18]	1.7～ 4.2 [3.1]	ND	ND	ND	ND	29～ 130 [84]	54～ 180 [120]	2.1～ 2.7 [2.5]	4.5～ 9.0 [6.3]	4,400～ 7,000 [5,700]	87～ 130 [100]	ND	78
北海岸　St-B	平成26年度	H26.8.7	2.8	0.07	1.6	ND	ND	ND	9.4	ND	ND	ND	ND	ND	5.1	55	4.9	12	8,000	280	ND	2.4
	平成25年度	H25.8.19	ND	ND	1.7	ND	ND	ND	2.6	0.3	ND	ND	ND	ND	5.0	57	ND	10	8,200	290	ND	1.1
	平成24年度	H24.8.2	1.4	ND	1.9	ND	ND	ND	5.3	2.1	ND	ND	ND	ND	6.1	31	ND	12	8,200	290	ND	0.4
	平成23年度	H23.8.26	1.0	0.01	1.7	ND	ND	ND	4.7	2.0	ND	ND	ND	ND	2.8	60	1.8	ND	10,000	370	ND	2.7
	平成22年度	H22.8.30	2.4	0.05	2.4	ND	ND	ND	3.7	1.9	ND	ND	ND	ND	3.5	71	3.5	10	10,000	440	ND	3.6
	平成21年度	H21.8.20	1.9	ND	1.6	ND	ND	ND	5.1	2.2	ND	ND	ND	ND	3.7	68	2.5	ND	9,200	370	ND	4.1
	平成20年度	H20.8.27	2.1	ND	1.8	ND	ND	ND	4.4	2.5	ND	ND	ND	ND	9.5	62	2.5	13	11,000	360	ND	6
	平成19年度	H19.8.27	2.9	0.11	2.3	ND	ND	ND	3.8	1.5	ND	ND	ND	ND	6.7	72	4.3	ND	11,000	340	ND	12
	平成18年度	H18.8.8	2.2	0.01	1.8	ND	ND	ND	4.6	2.0	ND	ND	ND	ND	9.3	63	3.3	11	12,000	420	ND	5.2
	平成17年度	H17.7.21	2.5	0.02	1.3	ND	ND	0.1	6.2	2.2	ND	ND	ND	ND	7.7	53	5.8	ND	9,700	790	ND	6.3
	平成16年度	最小	1.7	0.03	1.0	ND	ND	ND	7.5	2.3	ND	ND	ND	ND	9.3	42	1.0	6	5,600	310	ND	1.6
		最大	4.4	0.16	2.1	ND	0.01	0.12	8.9	5.1	ND	ND	ND	ND	12	83	3.6	12.0	15,000	770	ND	13
		平均	3.1	0.10	1.6	ND	0.01	0.11	8.2	3.7	ND	ND	ND	ND	11	63	2.3	9.0	10,000	540	ND	7.3
	平成15年度	最小	2.1	0.03	1.2	ND	ND	ND	5.5	1.6	ND	ND	ND	ND	3.9	47	2.3	6.6	7,800	400	ND	1.3
		最大	2.3	0.06	1.8	ND	0.01	ND	6.6	3.0	ND	ND	ND	ND	5.5	74	3.2	14	13,000	1,010	ND	2.8
		平均	2.2	0.04	1.5	ND	0.01	ND	6.1	2.3	ND	ND	ND	ND	4.7	61	2.8	10	10,400	705	ND	2.1
	平成14年度		1.9～2.5	0.1～0.15	1.1～1.4	ND	ND	ND～0.06	5.8～7.7	1.6～2.0	ND	ND	ND	ND	5.0～7.0	46～81	1.6～1.7	7.6～11.0	7,500～11,000	270～660	ND	2.7～2.7
	平成13年度		2.7～3.8	0.021～0.12	1.2～2.2	ND～0.12	ND～0.01	0.05～0.12	5.9～10	1.9～3.2	ND	ND	ND	ND	5.1～13	52～100	3.1～4.4	7.3～12.0	6,700～8,300	630～1,200	ND	4.0～5.0
	平成12年度		2.4	0.057	1.5	ND	0.01	ND	10	2.0	ND	ND	ND	ND	9.4	67	2.6	14.0	11,000	350	ND	3.2
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 （平均値）		2.3～ 30 [2.7]	0.015～ 0.11 [0.065]	1.2～ 1.7 [1.6]	ND～ 0.12 [<0.1]	0.01～ 0.01 [0.01]	ND～ 0.05 [0.013]	6.4～ 9.8 [8.4]	2.0～ 2.6 [2.3]	ND	ND	ND	ND	6.2～ 9.4 [8.4]	59～ 76 [68]	1.8～ 4.0 [2.7]	12～ 28 [17]	6,200～ 13,000 [11,000]	340～ 680 [480]	ND	21
北海岸　St-E	平成26年度	H26.8.7	1.6	ND	0.2	ND	ND	ND	8.3	0.4	ND	ND	ND	ND	5.0	37	2.2	7	4,600	330	ND	3.5
	平成25年度	H25.8.19	ND	ND	1.0	ND	ND	ND	4.0	0.4	ND	ND	ND	ND	11	47	5.9	ND	4,900	380	ND	2.2
	平成24年度	H24.8.2	0.4	ND	0.6	ND	ND	ND	7.1	3.9	ND	ND	ND	ND	58	9.2	1.3	ND	3,700	340	ND	6.0
	平成23年度	H23.8.26	0.3	ND	1.1	ND	ND	ND	7.2	3.9	ND	ND	ND	ND	27	98	1.0	ND	7,000	380	ND	6.7
	平成22年度	H22.8.30	0.4	ND	0.9	ND	ND	ND	5.7	4.2	ND	ND	ND	ND	29	87	2.0	ND	5,700	740	ND	13
	平成21年度	H21.8.19	2.5	0.04	1.2	ND	ND	0.12	5.6	2.7	ND	ND	ND	ND	24	85	1.4	ND	7,100	290	ND	20
	平成20年度	H20.8.27	0.6	ND	0.7	ND	ND	0.13	7.6	4.1	ND	ND	ND	ND	88	130	1.0	ND	7,800	270	ND	21
	平成19年度	H19.8.27	1.0	ND	0.6	ND	ND	ND	14	3.3	ND	ND	ND	ND	110	92	3.8	ND	5,900	120	ND	79
	平成18年度	H18.8.8	2.2	0.12	1.2	ND	ND	ND	5.7	4.9	ND	ND	ND	ND	120	70	4.3	9	9,100	370	ND	54
	平成17年度	H17.7.21	1.0	0.01	0.6	ND	ND	ND	6.5	4.6	ND	ND	ND	ND	31	52	2.5	ND	4,700	130	ND	21
	平成16年度	最小	1.1	0.30	0.6	ND	ND	ND	4.0	1.9	ND	ND	ND	ND	6.3	31	ND	ND	4,200	150	ND	1.5
		最大	1.5	0.31	0.7	ND	ND	ND	7.0	4.9	ND	ND	ND	ND	13	52	1.1	5.2	5,500	260	ND	2.4
		平均	1.3	0.31	0.7	ND	ND	ND	5.5	3.4	ND	ND	ND	ND	9.7	42	0.8	5.1	4,900	210	ND	2.0
	平成15年度	最小	1.3	0.11	0.8	ND	ND	ND	5.0	2.6	ND	ND	ND	ND	5.0	37	1.1	2.5	5,700	190	ND	4.9
		最大	1.3	0.15	1.0	0.1	ND	ND	6.0	4.5	ND	ND	ND	ND	20	72	1.2	3.4	7,700	390	ND	7.4
		平均	1.3	0.13	0.9	0.1	ND	ND	5.5	3.6	ND	ND	ND	ND	13	55	1.2	3.0	6,700	290	ND	6.2
	平成14年度		1.9～2.9	0.23～0.73	0.9～1.5	0.17～0.19	ND	0.06～0.07	5.4～8.8	3.6～4.6	ND	ND	ND	ND	7.5～12	58～84	1.7～1.8	5.2～7.6	8,600～10,000	220～320	ND	2.3～5.2
	平成13年度		1.5～2.1	0.054～0.096	0.9～1.1	0.12～0.19	ND	ND～0.06	4.1～4.4	1.9～2.1	ND	ND	ND	ND	4.8～17	32～52	1.4～1.8	3.0～3.5	4,700～5,400	170～200	ND	2.2～2.9
	平成12年度		1.4	0.10	0.9	0.23	ND	ND	73	5.0	ND	ND	ND	ND	26	43	1.7	4.0	7,000	810	ND	1.3
	事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ 最小値～最大値 （平均値）		1.0～ 3.0 [1.7]	ND～ 0.31 [0.092]	0.58～ 0.8 [0.71]	ND～ 0.69 [0.36]	ND	ND	2.6～ 6.2 [4.5]	2.1～ 4.2 [2.8]	ND	ND	ND	ND	2.8～ 7.0 [5.0]	19～ 44 [29]	0.44～ 1.5 [0.8]	2.6～ 5.0 [4.2]	2,900～ 7,000 [4,800]	190～ 510 [330]	ND	1.8
県内底質[3]	平均値		6.6	0.17	3.7	0.38	0.44	0.19	25	5.3	ND	ND	－	－	－	－	－	32	－	－	ND	4.2
	最小～最大		0.32～ 23	ND～ 1.5	1.0～ 11	ND～ 1.4	0.01～ 5.1	ND～ 1.1	5.3～ 120	0.97～ 12	ND～ 0.2	ND	－	－	－	－	－	4.6～ 65	－	－	ND	0.52～ 9.4
環境基準、暫定除去基準			－	－	－	－	12	－	－	－	－	10	－	－	－	－	－	－	－	－	－	150
検出下限値(ND)			<0.1	<0.01	<0.1	<0.1	<0.01	<0.1	<0.5	<0.2	<0.1	<0.01	<0.02	<0.005	<0.5	<5	<0.5	<5	<5	<5	<0.1	－

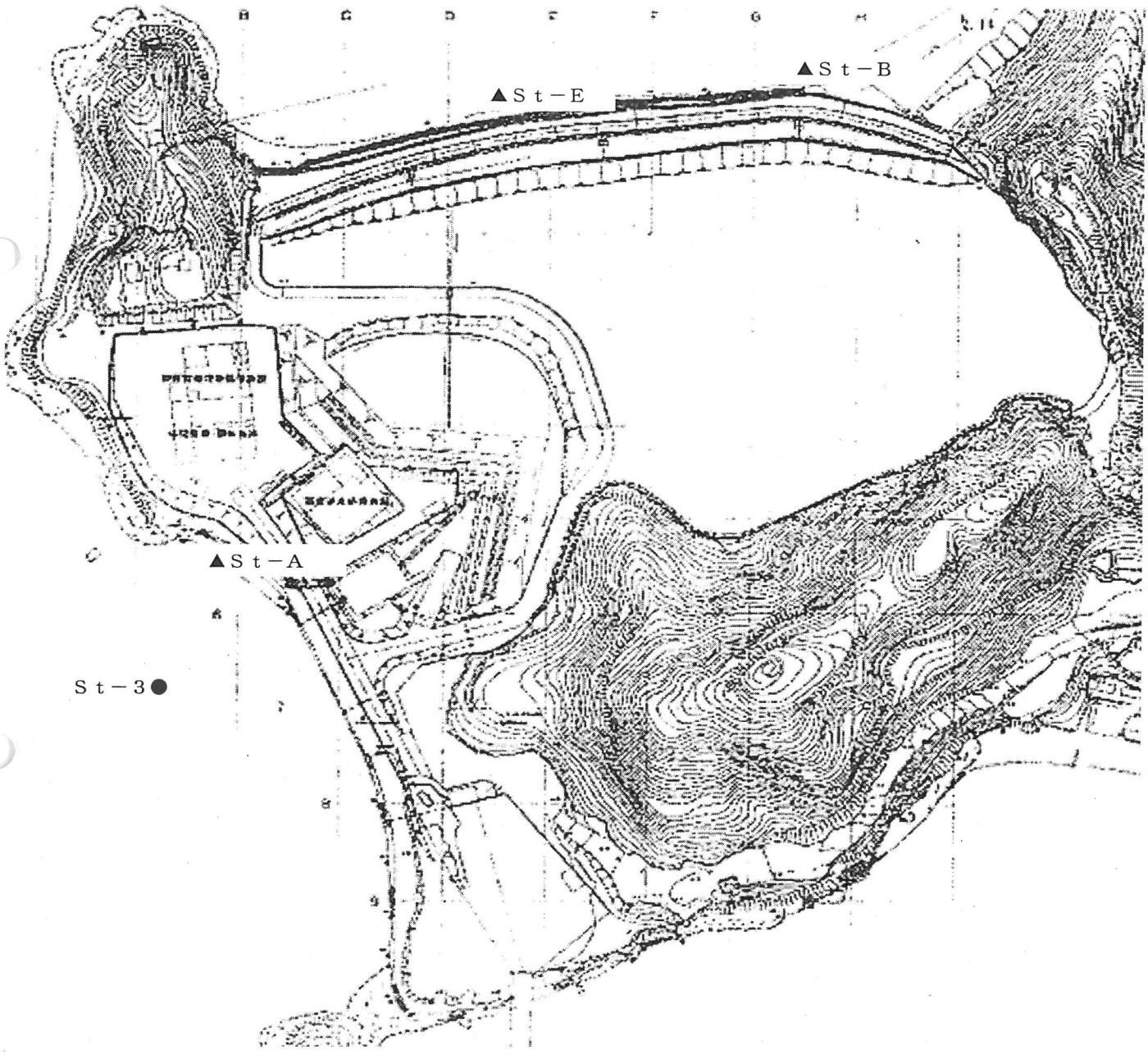
1)事前環境モニタリング：H11.1.21、H11.6.16、H11.9.9、H11.11.29実施　平成12年度：H12.7.27実施　平成13年度：H13.7.18、H14.2.1実施　平成14年度：H14.7.23、H15.2.6実施
平成15年度：H15.7.14、H15.10.24実施　平成16年度：H16.7.29、H16.11.2実施

2)ﾀﾞｲｵｷｼﾝ類（ｺﾌﾟﾗﾅｰPCBを含む）は、事前環境ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞについては1回分（H11.11.29）の測定ﾃﾞｰﾀである。

調　査　地　点　図

＜凡例＞
● 周辺地先海域
▲ 海岸感潮域

N



Ｓ＝１：３０００

廃棄物の掘削・移動に当たっての事前調査結果について

豊島掘削現場の掘削の進行に伴い原液状の VOCs ガス及びその高濃度汚染廃棄物の分布の可能性を把握するために、「Ⅱ－４廃棄物等の掘削･移動に当たっての事前調査マニュアル」に基づき VOCs ガス調査を実施した。

その結果、削孔を伴わない VOCs ガス調査を行った 35 地点全てで VOCs ガスは検知されなかった。

１．調査の概要

（１）調査日時及び調査場所

平成 26 年 12 月 9 日

（２）調査地点　削孔を伴わない VOCs ガス調査……計 35 地点

（調査対象範囲を 10ｍメッシュに区切り、メッシュの交点を調査地点に設定）

（３）調査機関　直島環境センター、環境保健研究センター、廃棄物対策課

２．測定方法及び測定項目

調査現場は土砂とシュレッダーダストが混在しており、削孔が困難であることから、「廃棄物等の掘削･移動に当たっての事前調査マニュアル：削孔を伴わない VOCs ガス調査」を実施した。

３．調査結果

表１　削孔を伴わない VOCs ガス調査結果

調査日	調査場所	VOCs ガス 調査地点数	VOCs ガス 検知箇所数
H26. 12. 9	第４工区約 3,500 ㎡	35	0

VOCs ガス測定項目：トリクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、ベンゼン

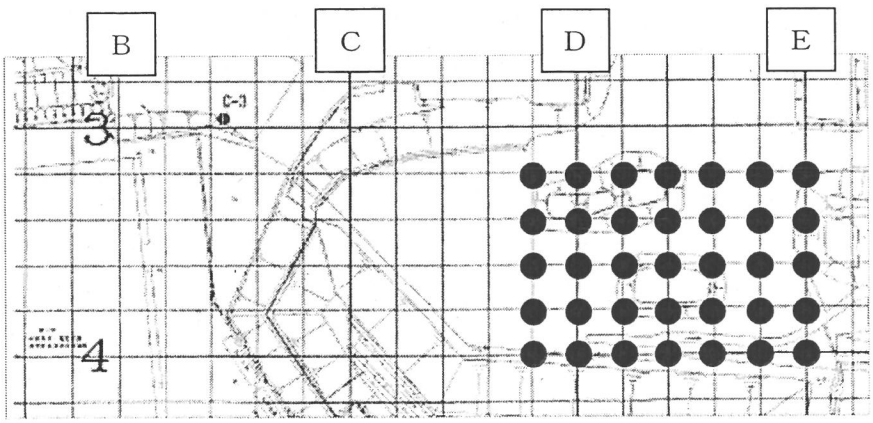


図１　削孔を伴わない VOCs ガス調査地点　35 地点

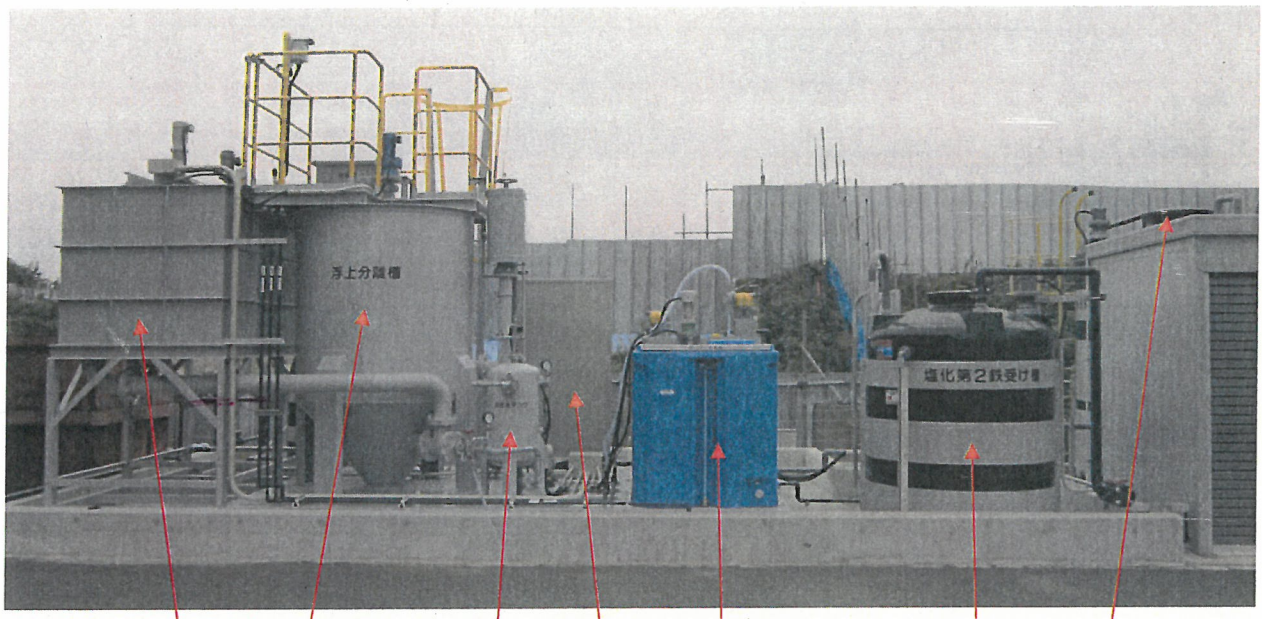
資料３７・Ⅱ／８－２
平成２７年３月２１日

高度排水処理施設での油水分離装置の運転について

１　概要

高度排水処理施設では、油分濃度が高い地下水や溜まり水を処理する場合、生物槽等の性能に影響を及ぼすことから、既設処理工程の前処理工程として油水分離装置（処理能力 6 ㎥／h）を新たに導入した。

今回、豊島廃棄物等管理委員会の河原委員、豊島住民会議の安岐事務局長にお立会いいただき、２月 10 日に試運転を実施し、適正に稼働することを確認したので、その状況を報告する。



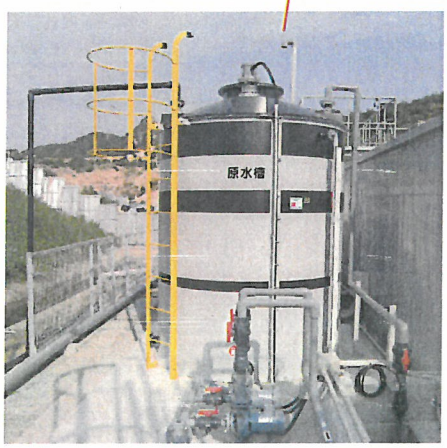
浮上分離槽　　加圧水タンク　　ポリマー溶解槽（奥側に塩化第２鉄槽）　　塩化第２鉄受入槽



スカム槽　　反応槽と凝集槽



制御盤



原水槽

写真　油水分離装置の設置状況

2　試運転の状況

平成27年2月10日に試運転を行い、約4.5㎥の汚染水を処理して、各設備が正常に稼働することを確認した。

また、処理前の原水と処理後の処理水について油分濃度を測定し、表1のとおり、油分濃度が十分に低減できていることを確認した。

表1　油水分離装置の原水と処理水の検査結果（H27.2.10採水）

項目	油水分離装置（原水）	油水分離装置（処理水）	管理基準値	定量下限値	検査機関
油分	20 mg/ℓ	0.6 mg/ℓ	5 mg/ℓ	0.5 mg/ℓ	直島環境センター





写真　試運転時の様子（河原委員、安岐事務局長が立会い）

今後、掘削等で油分濃度が高いと思われる水が出てきた場合は、第35回豊島廃棄物等管理委員会（H26.7.27開催）で油水分離装置の追加について修正した「Ⅱ－11　高度排水処理施設 運転・維持管理マニュアル」に従って適正に運転・維持管理を行った後、高度排水処理施設に送水する。

資料３７・Ⅱ／８－３
平成２７年３月２１日

各種マニュアルの見直しについて

豊島廃棄物等処理事業の各作業の基準となるマニュアルは、必要に応じて随時見直しを行い、修正案を管理委員会で図った上で、修正することとしている。修正後のマニュアルは、CD 等媒体に書き込み、各委員に送付する。今回の見直しの概要は次のとおりである。

1　見直しの概要

Ⅱ-6 廃棄物等の掘削・運搬マニュアル（2 次）

○地下水位測定箇所の変更

Ⅱ-24 豊島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル

○トリクロロエチレンの環境基準値の変更に伴う修正

Ⅱ-25 直島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル

○トリクロロエチレンの環境基準値の変更に伴う修正

Ⅱ-26 海上輸送に係る周辺環境モニタリングマニュアル

○トリクロロエチレンの環境基準値の変更に伴う修正

健康管理マニュアル

○安全衛生法令の改正に伴う修正

廃棄物等の掘削完了判定マニュアル

○掘削後調査を実施する場合の追加及び地下水面以下は地下水対応とする修正

2　修正を行うマニュアルと修正箇所

修正を行うマニュアルと修正項目・修正箇所は次のとおりである。

Ⅱ-6 廃棄物等の掘削・運搬マニュアル（2 次）

項目	修正内容	修正理由
第１０	別紙１	A3 及び B5 の井戸については、揚水していることから、水位測定を中止する。

Ⅱ-24 豊島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル

項目	修正内容	修正理由
表４－６及び表４－７	別紙２	トリクロロエチレンの環境基準値が変更となったことから修正する。

Ⅱ-25 直島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル

項目	修正内容	修正理由
表４－７	別紙３	トリクロロエチレンの環境基準値が変更となったことから修正する。

Ⅱ-26 海上輸送に係る周辺環境モニタリングマニュアル

項目	修正内容	修正理由
表３	別紙４	トリクロロエチレンの環境基準値が変更となったことから修正する。

健康管理マニュアル

項目	修正内容	修正理由
第４	別紙５	安全衛生法令の改正に伴い修正する。

廃棄物等の掘削完了判定マニュアル

項目	修正内容	修正理由
第５、第６	別紙６	起伏が激しいとき以外での掘削後調査について追記する。地下水面以下は地下水対応とする。

Ⅱ－6

廃棄物等の掘削・運搬マニュアル（２次）

別紙１

第１～９　略

第１０　モニタリング計画

1. 掘削・運搬期間中は、場内の地下水位を定期的に測定するものとする。

［解　説］

掘削・運搬期間中は、本件処分地において以下のモニタリングが継続して実施される予定である。

① 豊島における環境計測及び周辺環境のモニタリング

② 暫定的な環境保全措置の施設に関する維持管理モニタリング

各モニタリングの詳細については、それぞれ「豊島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル」、「暫定的な環境保全措置の施設に関する維持管理マニュアル」を参照されたい。

本項は、このモニタリング項目以外のモニタリング項目として、場内の地下水位測定を規定したものである。

これは、場内の地下水位は掘削の進行に応じて低下するものと想定されているが、この想定通りに地下水位が低下しない場合には、掘削中に地下水低下対策等を実施する必要が生じる等、掘削・運搬作業工程に大きな影響を及ぼすためである。

地下水測定は場内に残っている既往調査孔（観測井）を対象とし、測定箇所及び測定頻度は下表のとおりとする。

表 10-1　地下水位観測箇所及び観測頻度

測定項目	測定地点	測定頻度	測定方法
地下水位	15 地点 （Ｃ１北，Ｃ１南，ＤＥ１，Ｆ１東，Ｆ１西，Ｆ１，Ｃ３北、Ｃ３南，ＣＤ４－ＢＯ，Ｄ４－ＢＯ，ＤＥ４５－ＢＯ，Ｅ４－ＢＯ，Ｅ５－ＢＯ，~~Ａ３，Ｂ５，~~Ｋ６，ＨＩ１）	１回／２週 （冬季については１回／月）	手測り式水位計による （Ｆ１西については地下水位計による）

測定した地下水位は、一覧表及び経時変化図として整理するとともに、定期的に地下水賦存量を算出し、当初想定シミュレーション水量との比較を行っていくものとする。

Ⅱ－２４

豊島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル

別紙２

１．～３．　略

４．管理基準値及び関係環境法令等の基準

表４－１～表４－５　略

表４－６　地下水の水質汚濁に係る環境基準

項　　目	基　準　値
カドミウム	0.003mg/ℓ以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01mg/ℓ以下
六価クロム	0.05mg/ℓ以下
砒素	0.01mg/ℓ以下
総水銀	0.0005mg/ℓ以下
アルキル水銀化合物	検出されないこと
ＰＣＢ	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下
四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下
1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下
塩化ビニルモノマー	0.002mg/ℓ以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ以下
1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下
1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ以下
トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ以下
チウラム	0.006mg/ℓ以下
シマジン	0.003mg/ℓ以下
チオベンカルブ	0.02mg/ℓ以下
ベンゼン	0.01mg/ℓ以下
セレン	0.01mg/ℓ以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ以下
フッ素	0.8mg/ℓ以下
ホウ素	1mg/ℓ以下
1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下

表４－７　水質汚濁に係る環境基準（海域Ａ・Ⅱ類型）

項　　目	基　準　値
水素イオン濃度（ｐＨ）	7.8以上8.3以下
化学的酸素要求量（ＣＯＤ）	2mg/ℓ以下
溶存酸素量（ＤＯ）	7.5mg/ℓ以上
大腸菌群数	1,000MPN/100mℓ以下
ｎ－ﾍｷｻﾝ抽出物質（油分等）	検出されないこと
全窒素	0.3mg/ℓ以下
全燐	0.03mg/ℓ以下

区分	項　　目	環境基準
健康項目	カドミウム	0.003mg/ℓ以下
	全シアン	検出されないこと
	鉛	0.01mg/ℓ以下
	六価クロム	0.05mg/ℓ以下
	砒素	0.01mg/ℓ以下
	総水銀	0.0005mg/ℓ以下
	アルキル水銀	検出されないこと
	ＰＣＢ	検出されないこと
	トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ以下
	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ以下
	四塩化炭素	0.002mg/ℓ以下
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ以下
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ以下
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ以下
	チウラム	0.006mg/ℓ以下
	シマジン	0.003mg/ℓ以下
	チオベンカルブ	0.02mg/ℓ以下
	ベンゼン	0.01mg/ℓ以下
	セレン	0.01mg/ℓ以下
	ホウ素	1mg/ℓ以下
	フッ素	0.8mg/ℓ以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ以下
	1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ以下

以下略

Ⅱ－25

直島における環境計測及び周辺環境モニタリングマニュアル

別紙３

1．～3．略

4．管理基準値及び関係環境法令等の基準

表４－１～表４－６　略

表４－７　水質汚濁に係る環境基準

区分	項　　目	環境基準
健康項目	カドミウム	0.003mg/ℓ 以下
	全シアン	検出されないこと
	鉛	0.01mg/ℓ 以下
	六価クロム	0.05mg/ℓ 以下
	砒素	0.01mg/ℓ 以下
	総水銀	0.0005mg/ℓ 以下
	アルキル水銀	検出されないこと
	PCB	検出されないこと
	トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ 以下
	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ 以下
	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ 以下
	四塩化炭素	0.002mg/ℓ 以下
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ 以下
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ 以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ 以下
	チウラム	0.006mg/ℓ 以下
	シマジン	0.003mg/ℓ 以下
	チオベンカルブ	0.02mg/ℓ 以下
	ベンゼン	0.01mg/ℓ 以下
	セレン	0.01mg/ℓ 以下
	ホウ素	1mg/ℓ 以下
	フッ素	0.8mg/ℓ 以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ 以下
	1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ 以下
生活環境項目（海域A・Ⅱ類型）	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	2mg/ℓ 以下
	溶存酸素量（DO）	7.5mg/ℓ 以上
	大腸菌群数	1,000MPN/100mℓ 以下
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
	全窒素	0.3mg/ℓ 以下
	全燐	0.03mg/ℓ 以下

以下略

Ⅱ－２６

海上輸送に係る周辺環境モニタリングマニュアル

別紙４

1.　　略

2.　　調査方法について

表 2-1、表 2-2　略

表３　水質汚濁に係る環境基準

区分	項　　目	環境基準
健康項目	カドミウム	0.003mg/ℓ 以下
	全シアン	検出されないこと
	鉛	0.01mg/ℓ 以下
	六価クロム	0.05mg/ℓ 以下
	砒素	0.01mg/ℓ 以下
	総水銀	0.0005mg/ℓ 以下
	アルキル水銀	検出されないこと
	PCB	検出されないこと
	トリクロロエチレン	0.01mg/ℓ 以下
	テトラクロロエチレン	0.01mg/ℓ 以下
	ジクロロメタン	0.02mg/ℓ 以下
	四塩化炭素	0.002mg/ℓ 以下
	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/ℓ 以下
	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/ℓ 以下
	シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/ℓ 以下
	1,1,1-トリクロロエタン	1mg/ℓ 以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006mg/ℓ 以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.002mg/ℓ 以下
	チウラム	0.006mg/ℓ 以下
	シマジン	0.003mg/ℓ 以下
	チオベンカルブ	0.02mg/ℓ 以下
	ベンゼン	0.01mg/ℓ 以下
	セレン	0.01mg/ℓ 以下
	ホウ素	1mg/ℓ 以下
	フッ素	0.8mg/ℓ 以下
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/ℓ 以下
	1,4-ジオキサン	0.05mg/ℓ 以下
生活環境項目（海域A・Ⅱ類型）	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	2mg/ℓ 以下
	溶存酸素量（DO）	7.5mg/ℓ 以上
	大腸菌群数	1,000MPN/100mℓ 以下
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
	全窒素	0.3mg/ℓ 以下
	全燐	0.03mg/ℓ 以下

以下略

豊島廃棄物等処理事業健康管理マニュアルの見直し

１．見直しの経緯

労働安全衛生法令の改正（平成 26 年 11 月）に伴い、有機溶剤健康診断及び特化物健康診断における診断項目等を見直した。

２．変更箇所

第1　マニュアルの主旨　（省略）

第2　作業現場における作業環境　（省略）

第3　健康確保対策(作業内容及び安全対策)　資料４、資料５

第4　健康診断

１　健康診断の種類

(1) 一般健康診断　（省略）

(2) 有機溶剤健康診断

別表(有機則第 29 条関係)

有機溶剤等		項目
1	（省略）	
2	1　ｵﾙﾄｰｼﾞｸﾛﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ 2　ｸﾚｿﾞｰﾙ 3　ｸﾛﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ ~~4　ｸﾛﾛﾎﾙﾑ 1,2-ｼﾞｸﾛﾙｴﾁﾚﾝ(別名二塩化ｱｾﾁﾚﾝ)~~ ~~5　四塩化炭素 前各号に掲げる有機溶剤のいずれかをその重量の５％を超えて含有する物~~ ~~6　1,4-ｼﾞｵｷｻﾝ~~ ~~7　1,2-ｼﾞｸﾛﾙｴﾀﾝ(別名二塩化ｴﾁﾚﾝ)~~ ~~8　1,2-ｼﾞｸﾛﾙｴﾁﾚﾝ(別名二塩化ｱｾﾁﾚﾝ)~~ ~~9　1,1,2,2-ﾃﾄﾗｸﾛﾙｴﾀﾝ(別名四塩化ｱｾﾁﾚﾝ)~~ ~~10　前各号に掲げる有機溶剤のいずれかをその重量の５％を超えて含有する物~~	血清ｸﾞﾙﾀﾐｯｸｵｷｻﾛｱｾﾁｯｸﾄﾗﾝｽｱﾐﾅｰｾﾞ(GOT)、血清ｸﾞﾙﾀﾐｯｸﾋﾟﾙﾋﾞｯｸﾄﾗﾝｽｱﾐﾅｰｾﾞ(GPT)およびｶﾞﾝﾏｰｸﾞﾙﾀﾐﾙﾄﾗﾝｽﾍﾟﾌﾟﾁﾀﾞｰｾﾞ(γ-GTP)の検査（以下「肝機能検査」という。）
3 4	（省略）	
~~5~~	~~1　ｽﾁﾚﾝ~~ ~~2　前号に掲げる有機溶剤をその重量の５％を超えて含有する物~~	~~尿中のﾏﾝﾃﾞﾙ酸の量の検査~~
~~6~~	~~1　ﾃﾄﾗｸﾛﾙｴﾁﾚﾝ(別名ﾊﾟｰｸﾛﾙｴﾁﾚﾝ)~~ ~~2　ﾄﾘｸﾛﾙｴﾁﾚﾝ~~ ~~3　前２号に掲げる有機溶剤のいずれかをその重量の５％を超えて含有する物~~	~~1　肝機能検査~~ ~~2　尿中のﾄﾘｸﾛﾙ酢酸又は総三塩化物の量の検査~~
5 ～ 8	（省略）	

(3) 特化物健康診断

別表第3（第39条関係）

業務		期間	項目
（1） ～ （18）	（省略）		
（19）	次の物を製造し、又は取り扱う業務 1　クロロホルム 2　四塩化炭素 3　1,4-ジオキサン 4　1,2-ジクロロエタン 5　1,1,2,2-テトラクロロエタン 6　前各号に掲げる物をその重量の１パーセントを超えて含有する製剤その他の物	６月	1　業務の経歴の調査 2　作業条件の簡易な調査 3　クロロホルム、四塩化炭素、1,4-ジオキサン、1,2-ジクロロエタン又は1,1,2,2-テトラクロロエタンによる頭重、頭痛、めまい、食欲不振、悪心、嘔吐、腹痛等の他覚症状又は自覚症状の既往歴の有無の検査 4　頭重、頭痛、めまい、食欲不振、悪心、嘔吐、腹痛等の他覚症状又は自覚症状の有無の検査 5　尿中の蛋白の有無の検査 6　肝機能検査
（20） ～ （26）	（省略）		
（27）	ジクロロメタン（これをその重量の１パーセントを超えて含有する製剤その他の物を含む。）を製造し、又は取り扱う業務	６月	1　業務の経歴の調査（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 2　作業条件の簡易な調査（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 3　ジクロロメタンによる集中力の低下、頭重、頭痛、めまい、易疲労感、倦怠感、悪心、嘔吐、黄疸、体重減少、上腹部痛等の他覚症状又は自覚症状の既往歴の有無の検査（集中力の低下、頭重、頭痛等の急性の疾患に係る症状にあつては、当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 4　集中力の低下、頭重、頭痛、めまい、易疲労感、倦怠感、悪心、嘔吐、黄疸、体重減少、上腹部痛等の他覚症状又は自覚症状の有無の検査（集中力の低下、頭重、頭痛等の急性の疾患に係る症状にあつては、当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 5　血清総ビリルビン、血清グルタミツクオキサロアセチツクトランスアミナーゼ（GOT）、血清グルタミツクピルビツクトランスアミナーゼ（GPT）、血清ガンマーグルタミルトランスペプチダーゼ（γ-GTP）及びアルカリホスファターゼの検査
（28）	ジメチル-2,2-クロロビニルホスフェイト（これをその重量の１パーセントを超えて含有する製剤その他の物を含む。）を製造し、又は取り扱う業務	６月	1　業務の経歴の調査（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 2　作業条件の簡易な調査（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 3　ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイトによる皮膚炎、縮瞳、流涙、唾液分泌過多、めまい，筋線維束れん縮、悪心、下痢等の他覚症状又は自覚症状の既往歴の有無の検査（皮膚

別紙５

			炎、縮瞳、流涙等の急性の疾患に係る症状にあつては、当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 4　皮膚炎、縮瞳、流涙、唾液分泌過多、めまい、筋線維束れん縮、悪心、下痢等の他覚症状又は自覚症状の有無の検査（皮膚炎、縮瞳、流涙等の急性の疾患に係る症状にあつては、当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 5　血清コリンエステラーゼ活性値の測定（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。）
（29） ～ （31）	（省略）		
（32）	スチレン（これをその重量の1パーセントを超えて含有する製剤その他の物を含む。）を製造し、又は取り扱う業務	6月	1　業務の経歴の調査 2　作業条件の簡易な調査 3　スチレンによる頭重、頭痛、めまい、食欲不振、悪心、嘔吐、腹痛等の他覚症状又は自覚症状の既往歴の有無の検査 4　頭重、頭痛、めまい、食欲不振、悪心、嘔吐、腹痛等の他覚症状又は自覚症状の有無の検査 5　尿中の蛋白の有無の検査及びマンデル酸の量の測定
（33）	次の物を製造し、又は取り扱う業務 1　テトラクロロエチレン 2　トリクロロエチレン 3　前各号に掲げる物をその重量の1パーセントを超えて含有する製剤その他の物	6月	1　業務の経歴の調査 2　作業条件の簡易な調査 3　テトラクロロエチレン又はトリクロロエチレンによる頭重、頭痛、めまい、食欲不振、悪心、嘔吐、腹痛等の他覚症状又は自覚症状の既往歴の有無の検査 4　頭重、頭痛、めまい、食欲不振、悪心、嘔吐、腹痛等の他覚症状又は自覚症状の有無の検査 5　尿中の蛋白の有無の検査及びトリクロル酢酸又は総三塩化物の量の測定 6　肝機能検査
（34） ～ （44）	（省略）		
（45）	メチルイソブチルケトン（これをその重量の1パーセントを超えて含有する製剤その他の物を含む。）を製造し、又は取り扱う業務	6月	1　業務の経歴の調査 2　作業条件の簡易な調査 3　メチルイソブチルケトンによる頭重、頭痛、めまい、食欲不振、悪心、嘔吐、腹痛等の他覚症状又は自覚症状の既往歴の有無の検査 4　頭重、頭痛、めまい、食欲不振、悪心、嘔吐、腹痛等の他覚症状又は自覚症状の有無の検査 5　尿中の蛋白の有無の検査
（46） ～ （49）	（省略）		

イ　前項の健康診断の（ｼｱﾝ化ｶﾘｳﾑ（これをその重量の５パーセントを超えて含有する製剤その他の物を含む。）、ｼｱﾝ化水素（これをその重量の１パーセントを超えて含有する製剤その他の物を含む。）及びｼｱﾝ化ﾅﾄﾘｳﾑ（これをその重量の５パーセントを超えて含有する製剤その他の物を含む。）を製造し、又は取扱う業務に従事する労働者に対し行われた特化則第39条第１項の健康診断を除く。）の結果、他覚症状が認められる者、自覚症状を訴える者その他異常の疑いがある者で、医師が必要と認めるものについては、下表（特化則 39 条第３項に定める別表第４）の左欄に掲げる業務の区分に応じそれぞれ同表の右欄に掲げる項目について医師による健康診断を行わなければならない。

別表第4（第39条関係）

業　　務		項　　目
（1） ～ （18）	（省略）	
（19）	次の物を製造し、又は取り扱う業務 1　クロロホルム 2　四塩化炭素 3　1,4-ジオキサン 4　1,2-ジクロロエタン 5　スチレン 6　1,1,2,2-テトラクロロエタン 7　テトラクロロエチレン 8　トリクロロエチレン 9　メチルイソブチルケトン 10　前各号に掲げる物をその重量の1パーセントを超えて含有する製剤その他の物	1　作業条件の調査 2　医師が必要と認める場合は、神経学的検査、貧血検査、肝機能検査又は腎機能検査（尿中の蛋白の有無の検査を除く。）
（20） ～ （26）	（省略）	
（27）	ジクロロメタン（これをその重量の1パーセントを超えて含有する製剤その他の物を含む。）を製造し、又は取り扱う業務	1　作業条件の調査（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 2　医師が必要と認める場合は、腹部の超音波検査等の画像検査、CA19-9等の腫瘍マーカーの検査、血液中のカルボキシヘモグロビンの量の測定又は呼気中の一酸化炭素の量の測定（血液中のカルボキシヘモグロビンの量の測定及び呼気中の一酸化炭素の量の測定にあつては、当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。）
（28）	ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイト（これをその重量の1パーセントを超えて含有する製剤その他の物を含む。）を製造し、又は取り扱う業務	1　作業条件の調査（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。） 2　赤血球コリンエステラーゼ活性値の測定（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。 3　肝機能検査（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。）

		4　白血球数及び白血球分画の検査 5　神経学的検査（当該業務に常時従事する労働者に対して行う健康診断におけるものに限る。）
（29） ～ （46）	（省略）	

(4)「ダイオキシン類ばく露防止対策要綱」に基づく健康管理～　(8) 石綿健康診断　（省略）

2 健康診断実施後の措置　（省略）

第5 連絡調整等　（省略）

廃棄物等の掘削完了判定マニュアル

別紙６

第１～第４　略

第５　調査対象地の起伏が激しい場合等の完了判定調査

１．調査対象地の起伏が激しく、10ｍメッシュの区画設定や土壌のサンプリング作業等が難しい場合は、予めこれらの作業が可能になる一定の高さまで重機で土壌を掘削・除去する。それより下の土壌を対象に「第４　完了判定調査」に従い、10ｍメッシュの区画を設定し、図－４に示すフローに従い完了判定調査を実施する。

２．掘削・除去した土壌については、混合後、100 ㎥毎に分け、完了判定調査を実施する。（以下、「掘削後調査」とする。）

３．土壌のサンプリングは、５地点混合方式により実施する。

４．各ロットにおいて、揮発性有機化合物、ダイオキシン類、PCB、1,4-ジオキサン及び重金属の分析検体を作成し、ダイオキシン類については含有量試験を、揮発性有機化合物、PCB及び1,4-ジオキサンについては溶出量試験を、重金属については溶出量試験及び含有量試験を実施する。

５．ダイオキシン類の含有量試験は、ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアルに準拠して実施する。また、PCBの溶出量試験、重金属の溶出量試験及び含有量試験、並びに揮発性有機化合物の溶出量試験は、土壌汚染対策法に基づくそれぞれの試験方法に準拠して実施する。1,4-ジオキサンの溶出試験については、産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法を準拠し、廃棄物を土壌に置き換えて実施する。

６．調査対象土壌が薄い場合や、調査対象土壌を早急に移動する必要が生じた場合等、掘削後調査を実施した方が適切であると考えられる場合についても同様に調査を実施する。

［解　　説］

調査対象地の起伏が激しく、10ｍメッシュの区画設定や土壌のサンプリング作業等が難しい場合は、予めこれらの作業が可能になる一定の高さまで重機で土壌を掘削・除去し、それより下の土壌を対象に「第４　完了判定調査」を実施する。この時、掘削・除去した土壌は、積替施設等に運搬し、混合後、100 ㎥ごとに分け、それぞれ５地点混合法で土壌を採取し、溶出量試験・含有量試験（掘削後調査）を実施する。なお、試験結果が確定するまでの間は、飛散・揮散を防止するためにシートをかけて保管する。

掘削後調査でのサンプリングは、以下に示す方法で実施する。

◇ ~~調査対象地の起伏が激しいため、一定の高さまで~~掘削・除去した土壌は、積替施設等に移動させて混合した後、100 ㎥ごとに分ける。

◇ 揮発性有機化合物の溶出量試験の分析検体用の試料及び 1,4-ジオキサンの溶出試験用の試料は、地表から 25 cm 下の土壌を 200 g 採取する。試料は、容器になるべく空間ができないように詰め、0～4℃の冷暗所で保管することを基本とし、保冷箱や保冷剤を利用して試料の運搬や保管を行う。溶出量試験は「土壌溶出量調査に係る測定方法を定める件」（平成 15 年 3

月 6 日、環境省告示第 18 号）に掲げる方法に準拠して実施する。1,4-ジオキサンの溶出量試験は「産業廃棄物に含まれる金属等の検定方法」（昭和 48 年環境庁告示第 13 号）に掲げる方法に準拠し、廃棄物を土壌に置き換えて実施する。

◇ ダイオキシン類、PCB 及び重金属分析検体用の試料は、上記のロット中央 1 点及び周辺 4 方位の約 2m 地点の 5 地点の表層から 5 地点混合方式で実施し、各地点について乾量で 200g 以上確保する。採取した試料を風乾し、中小礫、木片等を除き、土塊、団粒を粗砕した後、2 mm の目のふるいを通過させる。

ダイオキシン類の含有量試験は「ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル」に準拠して実施する。PCB 及び重金属の溶出量試験は「土壌溶出量調査に係る測定方法を定める件」（平成 15 年 3 月 6 日、環境省告示第 18 号）に掲げる方法に、また、含有量試験は「土壌含有量調査に係る測定方法を定める件」（平成 15 年 3 月 6 日、環境省告示第 19 号）に掲げる方法に準拠して実施する。

◇ 調査対象土壌が薄い場合や、調査対象土壌を早急に移動する必要がある場合等、掘削後調査を実施した方が適切であると考えられる場合についても上記のとおり調査を実施する。

第 6　完了判定調査の評価

1．ダイオキシン類の含有量値、PCB の溶出量値、重金属の溶出量値及び含有量値、揮発性有機化合物の溶出量値が完了判定基準以下の場合、廃棄物等の掘削を完了する。また、完了判定基準以下であった掘削後調査対象土壌については埋め戻しする。

2．いずれかの項目が完了判定基準を超過した場合には、掘削面を 0.5 m 掘削し、地表となった土壌について再度完了判定調査を実施する。

3．~~揮発性有機化合物については、~~掘削深度が地下水面に達した場合、掘削を完了し、地下水処理と併せ、高度排水処理施設を利用した地下水揚水処理で対応する。

4．土壌ガス調査において、地下水位が高く土壌ガスの代わりに地下水を採取し、地下水における揮発性有機化合物の量が完了判定基準を超過した場合についても、地下水処理と併せ、高度排水処理施設を利用した地下水揚水処理で対応する。

［解　　説］

完了判定調査の結果が完了判定基準を超過している場合には、基準を超過した物質に応じて、次に示す対策を実施する。

(1) ダイオキシン類または PCB が完了判定基準を超過した場合

ダイオキシン類または PCB が完了判定基準を超過した場合には、重金属、揮発性有機化合物の完了判定基準の超過状況に関わらず、ダイオキシン類及び PCB の除去対策として GL -0.5 m まで掘削・除去し、汚染土壌は、中間処理施設において焼却・溶融処理を行う。

掘削後に地表となった土壌については、再度、完了判定調査を実施する。

掘削・除去する範囲は、完了判定基準を超過した地点を含む 10 m メッシュで区切られた区画とする。

(2)　揮発性有機化合物が完了判定基準を超過した場合

ダイオキシン類、PCB が完了判定基準以下であり、揮発性有機化合物の溶出量値が完了判定基準を超過している場合には、重金属の完了判定基準の超過状況に関わらず、揮発性有機化合物の除去対策として掘削・除去を行う。掘削・除去する深さについては、溶出量試験のサンプリングを、地表から 25 cm 下の土壌で行ったときは地表から 50 cm までとし、地表から 75 cm 下の土壌で行ったときは地表下 50 cm から 100 cm までとする。汚染土壌は、中間処理施設において焼却・溶融処理を行う。

掘削後に地表となった土壌については、再度、完了判定調査を実施し、完了判定基準以下となったときは、掘削を完了する。

掘削・除去する範囲は、完了判定基準を超過した地点を含む 10 m メッシュで区切られた区画とする。

~~なお、掘削深度が地下水面に達した時点で掘削を完了し、それより深い層の汚染については、地下水処理と併せ、高度排水処理施設を利用した地下水揚水処理で対応する。また、土壌ガス調査の際に地下水位が高く土壌ガスの代わりに地下水を採取したときに、水質試験の結果が完了判~~

~~定基準を超過すれば、同様に、高度排水処理施設を利用した地下水揚水処理で対応する。さらに、完了判定基準以下の揮発性有機化合物についても、高度排水処理施設を利用した地下水揚水処理で対応する。~~

(3) 重金属が完了判定基準を超過した場合

ダイオキシン類、PCB 及び揮発性有機化合物が完了判定基準以下であり、重金属が完了判定基準を超過した場合には、重金属の除去対策として掘削面を GL -0.5 m まで掘削・除去し、汚染土壌は、島外においてセメント原料化処理を行う。

掘削後に地表となった土壌については、再度、完了判定調査を実施する。

掘削・除去する範囲は、完了判定基準を超過した地点を含む 10 m メッシュで区切られた区画とする。

重金属が完了判定基準を超過した区画については、土壌ガス調査の際に、揮発性有機化合物が検出されなかった場合及び揮発性有機化合物が定量下限値の 10 倍を超過して溶出量試験を実施した場合を除き、揮発性有機化合物の汚染状況の確認検査として、地表から 25 cm 下の土壌の溶出量試験を行う。溶出量試験の結果、揮発性有機化合物が土壌溶出量基準を超過した複合汚染土壌については、GL -0.5 m まで掘削した後、汚染区画の隣接地の敷き鉄板にシートを敷設した上で土壌をシートで覆い、土壌ガス吸引等により揮発性有機化合物を除去する。揮発性有機化合物が土壌溶出量基準以下になったことを確認した後、島外でセメント原料化処理を行う。

なお、掘削深度が地下水面に達した時点で掘削を完了し、それより深い層の汚染については、地下水処理と併せ、高度排水処理施設を利用した地下水揚水処理で対応する。また、土壌ガス調査の際に地下水位が高く土壌ガスの代わりに地下水を採取したときに、水質試験の結果が完了判定基準を超過すれば、同様に、高度排水処理施設を利用した地下水揚水処理で対応する。さらに、完了判定基準以下の揮発性有機化合物についても、高度排水処理施設を利用した地下水揚水処理で対応する。

~~調査対象地の起伏が激しく、~~掘削後調査を行った土壌については、その結果により以下のように取扱う。

(1) 重金属以外の項目のうち、いずれか 1 項目でも完了判定基準を超過した場合

ダイオキシン類、PCB、1,4-ジオキサン又は揮発性有機化合物のいずれかが完了判定基準を超過している場合はその 100 m^3について、中間処理施設において焼却・溶融処理を行う。

1,4-ジオキサンについては、法律等で土壌についての基準が定められていないため、地下水の環境基準の 10 倍である、0.5 mg/l を掘削後調査においての完了判定基準とする。

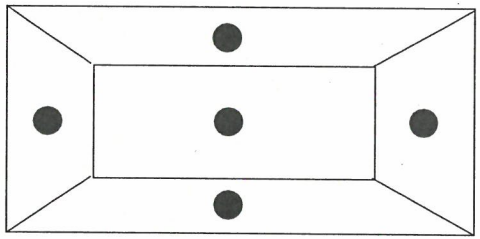
(2) 重金属が完了判定基準を超過した場合

ダイオキシン類、PCB、1,4-ジオキサン及び揮発性有機化合物が完了判定基準以下であり、重金属が完了判定基準を超過した場合は島外でセメント原料化処理を行う。

なお、当該土壌において、揮発性有機化合物の溶出量値が完了判定基準以下であるが、土壌溶出量基準を超過している場合は、土壌ガス吸引等により揮発性有機化合物を除去後、島外でセメント原料化処理を行う。揮発性有機化合物の除去確認は 5 地点混合法でサンプリングし、溶出量試験で行う。

(3) すべての項目が完了判定基準以下の場合

ダイオキシン類の含有量値、PCB の溶出量値、重金属の溶出量値及び含有量値、揮発性有機化合物の溶出量値が完了判定基準以下の場合、埋め戻すこととする。



図－5　完了判定調査（掘削後調査）の調査地点

資料３７・Ⅱ／８－４
平成２７年３月２１日

緊急時等の報告（正式評価）について

『緊急時等の評価（分類）基準と関係者へのレベル表示』（平成１８年３月２９日第８回管理委員会及び平成２２年３月２７日第２１回管理委員会審議済）の運用方針に従い、第３６回管理委員会（平成２６年１１月１５日開催）からこれまでに関係者に通報した５件について、緊急時等への対応が終了しましたので正式評価（分類）を実施し、次のとおり報告します。

なお、今回の報告する５件については暫定評価と同じ評価結果でした。

<table>
<tr><td>①２号溶融炉の立下げについて</td><td>評価レベル</td></tr>
<tr><td>＜異常時緊急時等の通報内容＞
平成２６年１１月１７日４時３９分頃、２号溶融炉のボイラーダスト排出装置にダストが落下したことから、炉を停止してダストの除去作業が必要となりました。
煙道を閉塞していないことから、ダストの除去作業の安全を確保するため処理を行っておりましたが、１１月１７日１４時頃から立下げを行う予定です。
なお、このことによる周辺環境への影響はありません。
（第２報）
２号溶融炉については、１１月１７日１４時から立下げを行い、ボイラーダスト排出装置のダスト除去作業を行っていましたが、作業が完了したので、施設の安全点検を行った後、１１月１８日１８時から昇温を開始します。
処理再開は、１１月１９日正午頃の予定です。</td><td>＜暫定評価（分類）＞
<table><tr><td>人身への影響</td><td>基準の逸脱等</td><td>事業進捗への影響</td></tr><tr><td>１．問題なし</td><td>１．問題なし</td><td>２．軽度</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>＜修復作業の内容＞
ボイラーダスト排出装置の点検口を開けてダスを除去し、安全点検後に立上げを開始しました。</td><td rowspan="2">＜正式評価（分類）＞
<table><tr><td>人身への影響</td><td>基準の逸脱等</td><td>事業進捗への影響</td></tr><tr><td>１．問題なし</td><td>１．問題なし</td><td>２．軽度</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>＜処理事業への影響＞
このことによる処理の停止期間は平成２６年１１月１７日１５時から１１月１９日１０時までのおよそ１日と１９時間でした。</td></tr>
</table>

②２号溶融炉の一酸化炭素濃度が要監視レベルを超えた件について	評価レベル
＜異常時緊急時等の通報内容＞ ２号溶融炉については、定期整備が終了したため、施設の安全点検を行った後、平成２７年１月２１日２２時３０分から昇温を開始しています。 １月２２日１０時３７分、昇温中に一酸化炭素濃度が要監視レベル（中間処理施設の運転状況の監視を強化しながら本来の性能を発揮させる改善対策を実施するレベル）を超えました。 この原因については、燃料、空気量の調整が十分でなかったことによるものと思われます。１１時２９分には、一酸化炭素濃度の瞬時値は正常に回復し、１６時には４時間平均値も正常に回復する見込みです。 なお、このことによる周辺環境への影響はありません。	＜暫定評価（分類）＞ 人身への影響：１．問題なし 基準の逸脱等：２．軽度 事業進捗への影響：１．問題なし
＜修復作業の内容＞ 押込送風機入口ダンパの開度を増やし、燃焼空気量を増やすとともに重油量を調整しました。	＜正式評価（分類）＞ 人身への影響：１．問題なし 基準の逸脱等：２．軽度 事業進捗への影響：１．問題なし
＜処理事業への影響＞ このことによる処理の停止はありません。	

③ロータリーキルン炉の残渣搬送コンベアの故障について	評価レベル
＜異常時緊急時等の通報内容＞ 平成２７年２月６日１０時５０分頃、ロータリーキルン炉の残渣搬送コンベアに故障が見つかりました。運転中の修復は困難と判断し、炉を停止しての修復作業を行うため、１６時からロータリーキルン炉の立下げを行っています。 なお、このことによる周辺環境への影響はありません。 （第２報） ロータリーキルン炉については、２月６日１６時から立下げを行い、残渣搬送コンベアの修理を行っていましたが、修理が完了したので、施設の安全点検を行ったのち、２月７日１５時１０分から炉の昇温を再開しました。	＜暫定評価（分類）＞ 人身への影響：１．問題なし 基準の逸脱等：１．問題なし 事業進捗への影響：２．軽度

なお、処理再開は、２月８日８時３０分頃の予定です。	
＜修復作業の内容＞ テール側プーリーシャフトが折損していたため工事業者による復旧工事を実施し、安全確認後に立上げを開始しました。	＜正式評価（分類）＞ 人身への影響：１．問題なし／基準の逸脱等：１．問題なし／事業進捗への影響：２．軽度
＜処理事業への影響＞ このことによるロータリーキルン炉の停止期間は平成２７年２月６日１６時から２月８日５時２０分までのおよそ１日と１３時間２０分でした。	

④1 号溶融炉の硫黄酸化物濃度及び 2 号溶融炉の一酸化炭素濃度が要監視レベルを超えた件について	評価レベル
＜異常時緊急時等の通報内容＞ 平成２７年３月２日１２時３０分、１号溶融炉の硫黄酸化物濃度が、要監視レベル（中間処理施設の運転状況の監視を強化しながら本来の性能を発揮させる改善対策を実施するレベル）を超えました。 また、３月２日１３時３０分、２号溶融炉の一酸化炭素濃度が要監視レベルを超えました。 この原因については、計画停電に伴う一時的な処理停止から処理再開の際に廃棄物の投入量、燃料、空気量の調整が十分でなかったことによるものと思われます。 なお、硫黄酸化物濃度は、１３時５３分から正常に回復しています。一酸化炭素濃度の瞬時値は１３時４２分に正常に回復し、１８時には４時間平均値も正常に回復する見込みです。 なお、このことによる周辺環境への影響はありません。	＜暫定評価（分類）＞ 人身への影響：１．問題なし／基準の逸脱等：２．軽度／事業進捗への影響：１．問題なし
＜修復作業の内容＞ 消石灰及び苛性ソーダの噴霧量を調整しました。	＜正式評価（分類）＞ 人身への影響：１．問題なし／基準の逸脱等：２．軽度／事業進捗への影響：１．問題なし
＜処理事業への影響＞ このことによる処理の停止はありません。	

<table>
<tr><td>⑤2 号溶融炉の一酸化炭素濃度が要監視レベルを超えた件について</td><td>評価レベル</td></tr>
<tr><td>＜異常時緊急時等の通報内容＞
平成２６年３月２０日７時３２分、２号溶融炉の一酸化炭素濃度が要監視レベル（中間処理施設の運転状況の監視を強化しながら本来の性能を発揮させる改善対策を実施するレベル）を超えました。
この原因については、濃霧により廃棄物の海上輸送ができなかったため、３月１９日１０時から炉のキープ運転(廃棄物の投入を停止し、1000℃で温度維持)を行っていましたが、処理再開する際に燃焼が不安定となり、一酸化炭素濃度が一時的に上昇したものと思われます。
なお、一酸化炭素濃度の瞬時値は７時３８分に正常に回復し、１２時には４時間平均値も正常に回復する見込みです。
なお、このことによる周辺環境への影響はありません。</td><td>＜暫定評価（分類）＞
<table><tr><td>人身への影響</td><td>基準の逸脱等</td><td>事業進捗への影響</td></tr><tr><td>１．問題なし</td><td>２．軽度</td><td>１．問題なし</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>＜修復作業の内容＞
今後は炉回転開始時に回転速度を落とし、重油量を一時的に減少させ、廃棄物の崩れ等がないことを確認した上で重油量を上昇させることとする。</td><td>＜正式評価（分類）＞
<table><tr><td>人身への影響</td><td>基準の逸脱等</td><td>事業進捗への影響</td></tr><tr><td>１．問題なし</td><td>２．軽度</td><td>１．問題なし</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>＜処理事業への影響＞
このことによる処理の停止はありません。</td><td></td></tr>
</table>

（参考）

運用方針（評価（分類）の流れ）

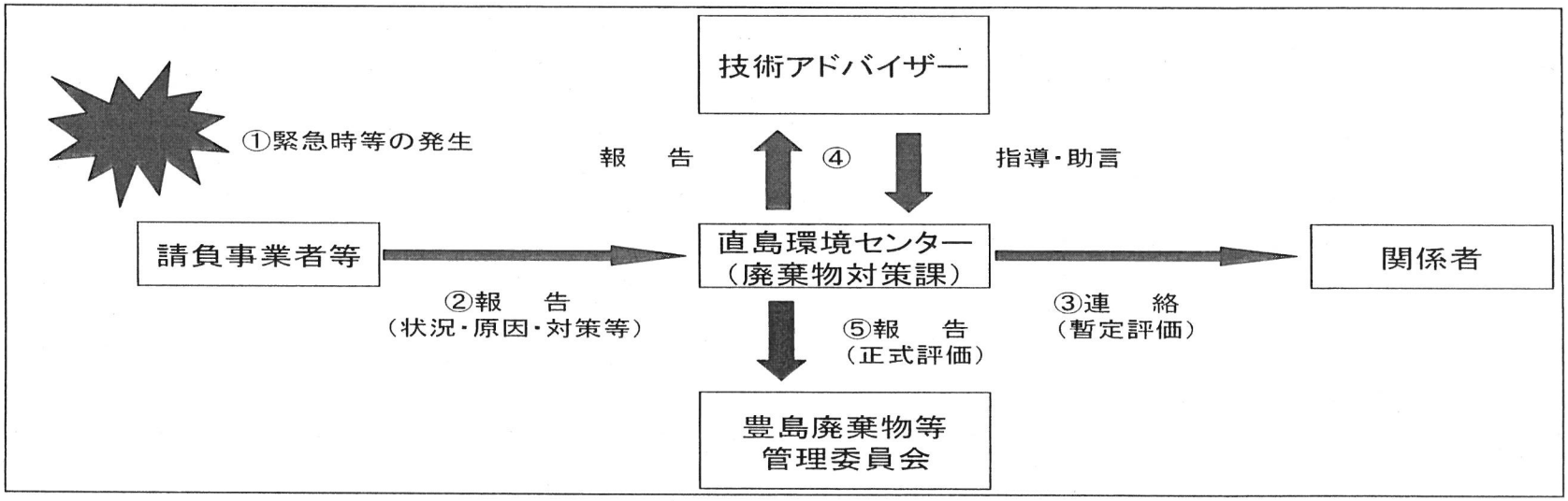
① 緊急時等の発生

② 請負事業者等は、直島環境センターに報告する。

③ 請負事業者等からの報告などに基づき、直島環境センターは、次の評価（分類）基準表により、速やかに緊急時等の暫定評価（分類）を行い、その結果を付して関係者に連絡する。

④ また、技術アドバイザーに状況を報告し、指導・助言を得る。

⑤ 直島環境センターは緊急時等への対応が終了した時点で、必要に応じ暫定評価（分類）を見直し、正式評価（分類）を行い、豊島廃棄物等管理委員会に報告する。



評価（分類）基準表

【豊島】

評価レベル	人身への影響		基準の逸脱等	事業への影響
	暫定評価	正式評価		
3	緊急搬送したもの	入院加療を要したもの以上	管理基準値を超過したものが豊島処分地外への流出	中間処理施設での溶融処理又は高温熱処理が３日（７２時間）を超えて停止
2	緊急搬送等の対応を要しないもの	通院加療等を要したもの	• 設備の破損等 • 管理基準値の超過を確認（場外への流出なし）	中間処理施設での溶融処理又は高温熱処理が３日（７２時間）以内の範囲で停止
1	影響がないもの	影響がなかったもの	基準を満足	影響がないもの及び中間処理施設での溶融処理又は高温熱処理に影響しないもの

【直島】

評価レベル	人身への影響		基準の逸脱等	事業への影響
	暫定評価	正式評価		
3	緊急搬送したもの	入院加療を要したもの以上	• 即時停止レベル超過 • 雨水排水が管理基準を超過	溶融処理又は高温熱処理が３日（７２時間）を超えて停止
2	緊急搬送等の対応を要しないもの	通院加療等を要したもの	要監視レベル	• 溶融処理又は高温熱処理が３日（７２時間）以内の範囲で停止 • スラグ品質低下によるスラグ再溶融の実施
1	影響がないもの	影響がなかったもの	基準を満足	影響がないもの及び中間処理施設での溶融処理又は高温熱処理に影響しないもの

【輸送（海上、陸上）】

評価レベル	人身への影響		基準の逸脱等	事業への影響
	暫定評価	正式評価		
3	緊急搬送したもの	入院加療を要したもの以上	海域への廃棄物、油の流出	中間処理施設での溶融処理又は高温熱処理が３日（７２時間）を超えて停止
2	緊急搬送等の対応を要しないもの	通院加療等を要したもの	• 海域への廃棄物、油以外（洗剤、物品等）の流出 • 陸上での廃棄物等の飛散	中間処理施設での溶融処理又は高温熱処理が３日（７２時間）以内の範囲で停止
1	影響がないもの	影響がなかったもの	影響がないもの	影響がないもの及び中間処理施設での溶融処理又は高温熱処理に影響しないもの

資料３７・Ⅱ／　８－５
平成２７年３月２１日

健康管理委員会の審議概要について

第２７回豊島廃棄物等処理事業健康管理委員会(以下「健康管理委員会」という。)を平成２７年２月１３日に開催したので、その審議概要を報告する。

１　作業環境測定結果について

第２６回健康管理委員会（平成２６年９月１日）以後の作業環境測定の結果について報告した。

常時監視、定期監視、個人暴露調査、石綿及び粉じんの調査について、いずれも管理基準又は許容濃度を満足し、若しくは第１管理区分と評価された。

２　健康診断結果について

健診結果を踏まえて、生活習慣に気をつけること、治療が必要な人は医療機関を受診するようご意見をいただいた。

３　事故の報告について

事故４件について、概要や対策を報告した。

委員からは、作業場・作業内容の特性や過去に起こった事例を踏まえて、現場作業者が安全対策を適切に認識できるよう、元請業者は下請業者に、現場責任者は作業者に十分に安全指導を行うようご意見をいただいた。

４　作業現場巡視の実施状況について

（直島側）平成２６年１２月５日　実施
（豊島側）平成２６年１２月５日　実施

各施設内で抽出されたひやり・ハット等の現場を巡回し、その対策・改善状況を確認いただいた。

５　健康管理マニュアルの一部改正について

安全衛生法令の改正（平成２６年１１月）に伴い、有機溶剤健康診断及び特化物健康診断における診断項目等を見直した。